

# 1 Part

## 図面管理

# 1 新規図面を作成する


ここでは、図形を新規作成または読み込む方法について説明します。

## ファイル(F) ・ 新規作成(N)

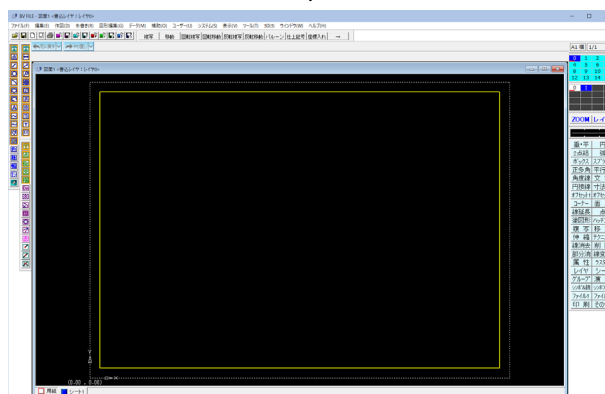
### 図面を新規に作成する

新しい図面を作成します。

その他のコマンド起動方法

- 「起動設定」ダイアログボックスで[新規作成]をクリック
- ツールバーメニュー → 
- ツールボックス（サブメニュー） → [その他]（―[新規]）
- ツールボックス（ポップアップメニュー） → [その他]（―[新規作成]）

- 1 本コマンドを起動すると、新しい図面ウィンドウが開きます。  
起動時の設定を行っていた場合は、その設定に基づき、新しい図面が開きます。




## 2 保存してある図面を開く (BV Finder)

新しい図面を作成し、その図面に指定した各種ファイルを読み込みます。

また、「BV Finder」ダイアログボックス内で、開くファイルの種類を選択することもできます。

「BV Finder」ダイアログボックスでは、コンピュータの中のフォルダーの階層構造と、選択したフォルダーの中のファイルやフォルダーの一覧を同時に表示できます。

### コマンド起動方法

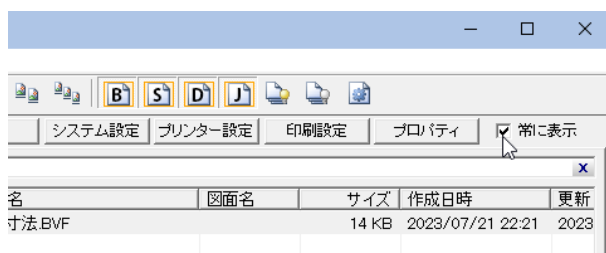
- プルダウンメニュー→[ファイル]ー[開く]
- ツールバーメニュー（サブメニュー）→ 
- ツールボックス（サブメニュー）→ [ファイル1]（ー[図面読み込]）
- ツールボックス（ポップアップメニュー）→ [ファイル1]ー[図面読み込]

- ・「BV Finder」ダイアログボックス内に、隠しファイル、隠しフォルダーは表示されません。
- ・カラーラスタ付きの BVF ファイルを開くと、システムにより表示結果が次のように異なります。  
 BV FILE + ラスタオプション → カラーラスタを表示します。  
 BV FILE ラスタオプションなし → カラーラスタを枠線のみ表示しますが、上書き保存してもカラーラスタの情報は保持されます。
- ・属性を解除して読み込む  
 [ファイル]ー[外部入出力設定]ー[BVF]を選択し、「BVF 変換テーブル設定」ダイアログボックスで「寸法・ハッチ以外の属性解除」チェックマークをオンにすると、属性（ユーザー属性、グループ属性）を解除して互換 BVF、BVS 読み込時（BV-6 以降）データが読み込まれます。
- ・ユーザーファンクションウィザードが設定されている図面を読み込む際に、図面ごとにその設定内容を反映することが可能です。「ユーザー設定情報」ダイアログボックスが表示されますので、いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。「システムに反映します。」を選択した場合、図面ごとに設定されたユーザーファンクションの設定内容は読み込まず、システムの設定内容を読み込みます。  
 マルチ図面に対応するには、「ユーザーファンクションを読み込みません。」をクリックします。

### ● 「BV Finder」を常に表示

「BV Finder」ダイアログボックスを製図作業中も常に表示したままにすることができます。

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、「常に表示」チェックマークをオンにします。
- 2 読み込むファイルを選択した後も、「BV Finder」ダイアログボックスは表示され続けます。



**ファイル(F) → 開く(O)**

## BV Finder から図面を開く

BV Finder を開き、図面を読み込みます。

1. 本コマンドを起動すると「BV Finder」ダイアログボックスが表示されますので、「選択」タブをクリックします。
2. 「パス」には現在開いているフォルダーのパスが表示されます。「選択」ダイアログボックスは、左側のディレクトリツリー表示と、右側の開いているフォルダー内の表示に分かれています。左側のディレクトリツリー内のフォルダーをクリックすると、右側にそのフォルダー内のフォルダー／ファイルが表示されます。フォルダーを開き、同時に下の階層のフォルダーを表示するには、ウィンドウの左側のボックスのフォルダーをダブルクリックします。Tab キーを押すことにより、フォーカスがディレクトリツリー表示 ↔ フォルダー一覧表示間で移動します。「ショートカット」欄には、ポップアップメニュー（マウス右クリック）の[ショートカットの作成]機能により作成したショートカットが表示されます。ショートカット名をダブルクリックするだけで、指定したフォルダー内の表示に切り替わります。
3. ブルダウンメニューの「表示」内の各メニューを選択することによって、各種ファイルの表示を切り替えることができます。いずれかの表示種類をクリックし、チェックマークを表示させて選択します。

## ■表示の種類

表示の種類には、大きいアイコン／小さいアイコン／一覧／詳細／イメージアイコン(特大)／イメージアイコン(大)／イメージアイコン(中)／イメージアイコン(小)があります。アイコンは、ファイル名とアイコンが表示され、一覧では、ファイル名が表示されます。

表示メニューの「イメージアイコン(特大)」、「イメージアイコン(大)」、「イメージアイコン(中)」、「イメージアイコン(小)」は図面ファイルおよび各種ファイルが、特大、大、中、小さいいずれかの大きさでイメージ表示されます。右側のスクロールバーを操作してファイルの表示をスクロールして選択することができます。

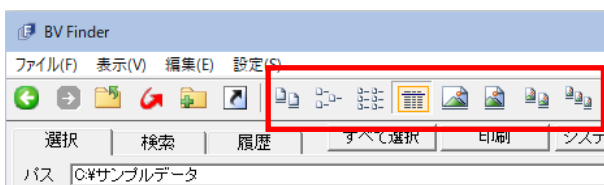
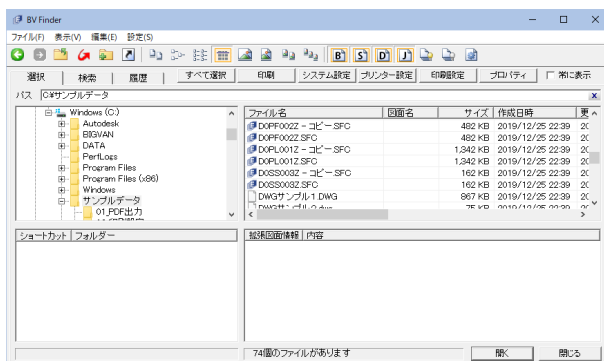
図面登録時にイメージをカラー・モノクロに設定してある場合は、イメージデータを使用しますが、イメージなしに設定してある場合はその場でイメージを作成しますので、処理に時間がかかることがあります。

<一覽表示>

各種ファイルがファイル名で一覧表示されます。

[＜詳細表示＞](#)

ファイルの各情報(ファイル名、図面名、サイズ、作成日時、更新日時、タイプ、タイトル、タイトル(ワリガナ)、サブタイトル、サブタイトル(ワリガナ)、作成者、作成者(ワリガナ))が表示されます。なお、シンボル図形(BVS)はタイトルにシンボル図形名が表示されます。図面名は、同一フォルダー内または1つ上のフォルダーに D\_DRAWF.XML、DRAWING.XML、DRAWINGS.XML、DRAWINGF.XML のいずれかのファイルが存在する場合に表示します。この時、当該XMLの対象ファイルに対応する“図面ファイル名”タブがある場合は“図面名”タブより図面名を取得します。



■イメージアイコン(特大)・(大)・(中)・(小)の表示は、図面ファイル(.BVF)の場合、保存時に「イメージ」を「カラー」または「モノクロ」に設定しておくことで高速に表示されます。

ファイル名	回線名	サイズ	作成日時	更新日時	タイプ	タイトル	タグ(カテゴリ)
cartoon balloon-LBVS	3 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		carto	
cartoon balloon-RBVS	3 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		carto	
checkmark-BVS	3 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		chec	
cloud leader-LBVS	3 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		cloud	
cloud leader-RBVS	3 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		cloud	
cloud-LBVS	2 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		cloud	
cloud-RBVS	3 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		cloud	
cloud-RBVS	5 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		cloud	
explosion leader-LBVS	5 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		explo	
explosion leader-RBVS	5 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		explo	
explosion-BVS	5 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		explo	
explosion-RBVS	5 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		explo	
SAMPLE.BVF	806 KB	2006/06/29 16:51	2013/08/28 11:13	Ver-0.0		図面	
SAMPLE.DXF	456 KB	2006/06/29 16:51	2008/06/28 13:14	AutoCAD-DXF			
SAMPLE.TIF	104 KB	2006/06/29 16:51	2013/08/28 11:13	TIF			
SAMPLE01.BVF	1.96 MB	2006/06/29 16:51	2013/08/28 11:13	BVF		B/V用	
SAMPLE01.SFC	1.88 MB	2006/06/29 16:51	2010/05/11 13:12	SFC-SFC			
SAMPLE02.BVF	2.217 KB	2006/06/29 16:51	2013/08/28 11:13	Ver-0.0		排障	ハニモスライ
SAMPLE03.BVF	666 KB	2006/06/29 16:51	2013/08/28 11:13	BVF-Ver0.0		排障	
SAMPLE03.SFC	113 KB	2006/06/29 16:51	2010/05/11 13:13	SFC-SFC			
キナシ.BVF	48 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		kitch	
7600.BVS	18 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		door	
5100.BVS	17 KB	2006/06/29 16:51	2006/10/10 00:00	BVS-Type1		hale	

対応となる“図面名”タブが無い場合は空白となります。  
キーボードの矢印キーや、**Tab** または **Shift+Tab** キーを押すことによりカーソルを項目間に移動させることができます。  
OSのバージョンによっては、[ツール]－[システム設定]－[起動・フォルダー・ログ]の処理で「簡易排他制御」の指定を行った図面ファイルは、異なる色で表示されます。  
右側のフォルダー内の表示から読み込むファイルをマウスでクリックします。

4 [開く]をマウスでクリック、またはファイルをダブルクリックします。製図画面上に指定した図面が読み込まれます。

- 参 照** → 「保存してある図面を検索する」  
「BV Finder でファイル操作を行う」  
「設定を行ったデータを指定し、実行する」  
「起動・フォルダー・ログの設定を行う」  
「OSのバージョンと「BV Finder」の表示」

＜詳細表示で＞

- ソート  
ファイル名、図面名、サイズ、作成日時、更新日時、タイプ、タイトル、タイトル(7桁)、サブタイトル、サブタイトル(7桁)、作成者、作成者(7桁)のいずれかの項目名をクリックすると、その項目名によってファイルのソート(並べ替え)が行われます。同じ項目名を再度クリックすると、昇順／降順が切り替わります。
- 文字列の入力・修正  
タイトル／サブタイトル／作成者などの項目の内容表示欄内でマウスをクリックすると、文字列の入力・修正を行えるようになります。

- 読み取り専用属性のファイルを開くと「読み込み専用で開きます」のメッセージが表示されます。そのため書き込みできないCD-ROM等からデータを読み込むと読み込み専用で開きます。ただし、簡易排他制御オンのときにネットワーク共有フォルダーなどに書きこみの権限がない場合は「制御ファイルの作成に失敗しました」のメッセージの後に、「読み込み専用で開きます」のメッセージが表示されます。
- BVF ファイルの読み込みに失敗した場合は、BVF 読み込みエラーダイアログボックス内に以下の情報が表示されます。
  - ファイル形式
  - エラー番号
  - エラー内容

解 説：読み込めるファイルの種類

■読み込めるファイルの種類

. BVF	(本 CAD システムの図面ファイル)
. BVFZ	(本 CAD システムの ZIP 形式で圧縮した図面ファイル)
. BVR	(本 CAD システムの朱書き図面ファイル)
. BVS	(本 CAD システムのシンボルファイル)
. BVP	(本 CAD システムのパラメトリックファイル)
. STRECH	(本 CAD システムの伸縮図形ファイル)
. JWC	(JW_CAD の図面ファイル)
. JWW	(JW_CAD Windows 版の図面ファイル)
. JWK	(JW_CAD のシンボルファイル)
. DAT	(JW_CAD の線記号変形ファイル)
. DWG	(AutoCAD の図面ファイル)
. DXF	(AutoCAD の図面ファイル)
. SFC	(SXF SFC ファイル※1)
. P21	(SXF P21 ファイル※1)
. SFZ	(SXF SFC 圧縮形式ファイル※1)
. P2Z	(SXF P21 圧縮形式ファイル※1)
. BMP	(Windows ビットマップファイル)
. JPG/JPEG	(JPEG 形式のグラフィックファイル)
. PNG	(PNG 形式のグラフィックファイル)
. TIF/TIFF	(TIFF 形式のグラフィックファイル)
. BVI	(本 CAD システムのラスターファイル)
. CG4	(CCITT G4 FAX 規格のデータファイル)
. DOC※2	(MicrosoftWord のデータファイル)
. XLS/XLSX※2	(MicrosoftExcel のデータファイル)
. PPT※2	(MicrosoftPowerPoint のデータファイル)
. PDF※2	(PortableDocumentFormat のデータファイル)
. LNK※3	(MicrosoftWindows のショートカットファイル)
. LZH	(圧縮ファイル)
※1 ……	SFC(SFZ)ファイル、P21(P2Z)ファイルは、CAD データ交換標準 SXF Ver3.1 (Scadec dataeXchange Format の略で CAD データ交換仕様全体を指す) 基盤ソフトウェア(sfc 共通ライブラリ Ver3.1、P21 共通ライブラリ Ver3.1) を利用しています。

※2…… .DOC、.XLS/XLSX、.PPT、.PDF は、オブジェクトとして図面に挿入されます。  
.DOC は Microsoft Word、.XLS/XLSX は Microsoft Excel、.PPT は Microsoft Power Point、.PDF は Adobe Acrobat がインストールされていることが必要です。

※3…… BV Finder におけるショートカットの表示のオン・オフを切り替えます。初期状態はオフです。

#### ■各種ファイルの表示について

各種ファイルの表示では、アイコン、ファイル名、ファイルの詳細な情報表示、イメージ表示等を行うことができます。

各種の項目やファイル名によって、検索を実行することもできます。

また詳細表示時、ファイル名やファイルサイズによって各種ファイルのソートを行うこともできます。

なお、図面読み直後は、マクロ属性実行メニューが自動的に起動します。

#### ■BVR(朱書き)ファイルを開くとき


BVR(朱書き)を選択した場合には、図面本体の BVF ファイルに合成して1つのファイルとして開きます。

### 解 説：非常登録されたファイルを読み込むには

[ツール]ー[システム設定]ー[起動・フォルダー・ログ]の設定で、「非常登録の時間」を設定してある場合、非常登録ファイルが作成されます。非常登録ファイルは、BV Finder から読み込むことができます。

#### コマンドの起動方法

■プルダウンメニュー→[ファイル]ー[開く]

■ツールバーメニュー→

■ツールボックス(サブメニュー)→[ファイル1]ー[図面読み]

■ツールボックス(ポップアップメニュー)→[ファイル1]ー[図面読み]

1 本コマンドを起動します。

2 「図面読み」または「BV Finder」ダイアログボックスより、読み込む非常登録ファイルを指定します。

非常登録ファイルは、[ツール]ー[システム設定]ー[起動・フォルダー・ログ]で設定したフォルダーの下に格納された図面ファイルで、次のファイル名となります。

Bvtmp0.bvf、Bvtmp1.bvf、Bvtmp2.bvf ……など

3 「ファイル一覧」などから、読み込む図面ファイルをマウスでクリックします。

4 [OK]をマウスでクリックします。

製図画面上に指定した図面が読み込まれます。

- ・ 非常登録の時間以外でも、Shift キーを押しながらメニューを切り替えると、非常登録されます。ファイル名だけではいつのファイルか分からないので、ファイルの更新日時を参考にデータをお選び下さい。

## 解 説 : XLS/XLSX ファイルを開く場合

BV Finder で XLS/XLSX ファイル (Excel データ) を開くと、設定した内容で表が貼り付けられます。

ただし、BV Finder の[設定]メニュー内「ファイルの種類」ダイアログボックスで、「XLS, XLSX」チェックマークをオンにし、「XLS, XLSX を文字要素として開く」チェックマークをオンにする必要があります。また、「XLS, XLSX を文字要素として開く」チェックマークがオフの場合はオブジェクトとして挿入されます。エクセルアプリケーションがインストールされていないと表示されません。

- 1 本コマンドを起動します。
- 2 「BV Finder」ダイアログボックスより、XLS/XLSX ファイルを指定し、[開く]をマウスでクリックします。
- 3 「配置する位置を指示してください」のメッセージが表示されます。

サブメニュー欄の[2 点指示]をクリックすると[1 点指示]に切り替わりますので、いずれかをクリックして選択します。

### [2 点指示]の場合

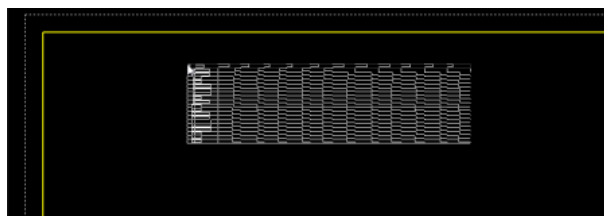
基準点をマウスでクリックします。

取り込む表が仮想線で表示され、マウスを動かすと大きさが変化します。

大きさを決定すると、表が作成されます。

### [1 点指示]の場合

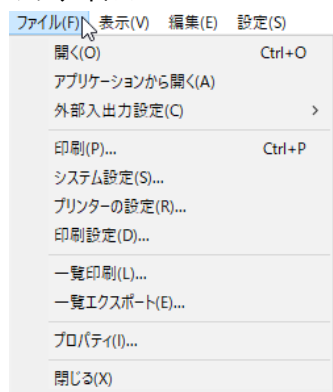
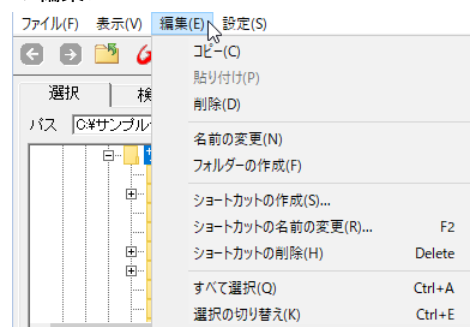
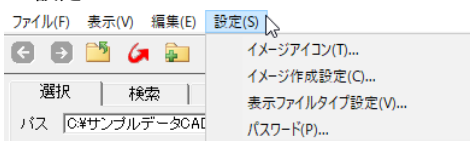
配置位置をクリックすると、表が作成されます。



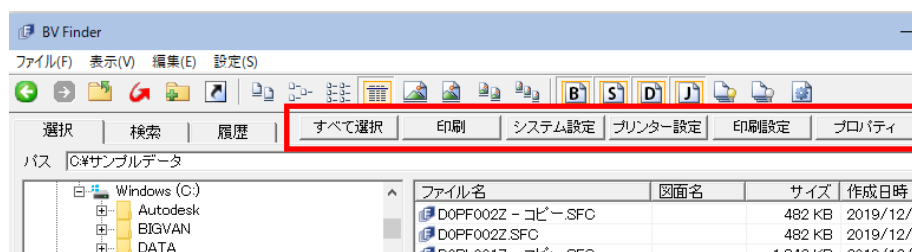
- ・ 貼り付ける図面に CAD 製図基準の標準横断図及び横断図における材料表に関するレイヤ (MTR、MTR-FRAM、MTR-TXT) が存在するときは、表のタイトル、図枠と文字列をそれぞれのレイヤに自動で振り分けます。その際に、CAD 製図基準の仕様により枠線は実線の白色、文字は白色で振り分けます。
- ・ 取り込む表は始点と終点を指示することで、任意の大きさと貼り付けることができます。文字要素は用紙上 0.5 mm 単位の任意の高さとし、また、画面上の大きさの 1/10 以下の時は表示しません。
- ・ 自動で折り返すセル及び複数行のセルは未対応です。
- ・ 罫線の線種と線幅 (1:2:4 を意識) は次の種類になります。  
実線、破線、一点短鎖線、二点短鎖線、点線  
0.13 mm、0.25 mm、0.5 mm
- ・ 本機能は、エクセルアプリケーションがインストールされている場合のみ利用可能です。

**ファイル(F)→ 開く(O)****BV Finder のプルダウンメニュー**

「BV Finder」ダイアログボックス内のプルダウンメニューには、以下の各種メニューがあり、それぞれ各種の処理を実行することができます。

**▼ファイルメニュー****▼表示メニュー****▼編集メニュー****▼設定メニュー****●[すべて選択] [印刷] [システム設定] [プリンター設定] [プロパティ]ボタン**

よく使用する各種のコマンドをボタンから実行することができます。



以下、[ファイル]、[表示]、[編集]の各メニュー内のコマンドを説明します。

**ファイル(F)→ 開く(O)****BV Finder のファイルメニュー**

プルダウンメニュー[ファイル]内の機能は以下の通りです。

**●開く**

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[開く]をクリックします。
- 2 現在選択中のファイルが開き、製図画面上に読み込まれます。

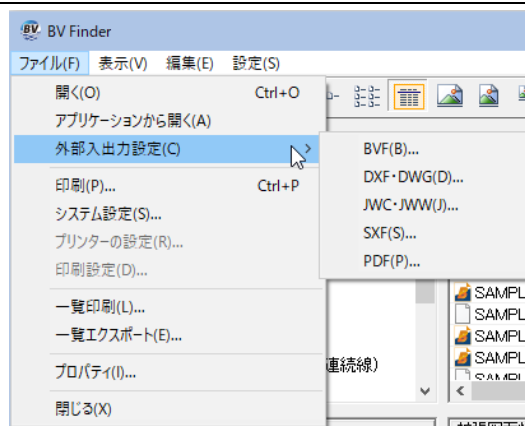
**●アプリケーションから開く**

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[アプリケーションから開く]をクリックします。
- 2 選択中のファイルにエクスプローラで関連付けされているソフトウェアからファイルが開きます。  
ただし、BVF および BVS を選択した場合は、そのまま本CADシステムで開きます。



## ●外部入出力設定

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[外部入出力設定]をクリックし、サブメニューからいずれかのファイルをクリックします。
- 2 選択したファイルの外部入出力設定用のダイアログボックスが表示されますので、各種の設定を行います。ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「BV Finder」ダイアログボックスに戻ります。  
詳しい操作は、本マニュアル[ファイル]ー[外部入出力設定]内の、[BVF 変換テーブル設定]、[DXF・DWG 変換テーブル設定]、[JWC・JWW 変換テーブル設定]、[SXF 変換テーブル設定]、[PDF 変換テーブル設定]の各説明を参照ください。



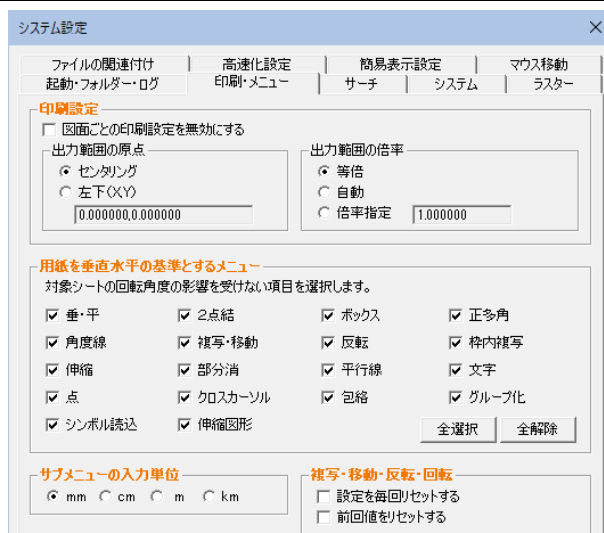
## ●印刷

- 1 印刷を行う図面ファイルを選択し(複数可)、「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[印刷]をクリックします。
- 2 確認用のダイアログボックスが表示されます。「×図面の印刷を行いますか?」とメッセージが表示されます。  
×は、現在選択されている図面ファイル(BVF)、SFC ファイル、JWC ファイル、DXF・DWG ファイルの数です。  
複数選択されたファイルの中に図面ファイル以外の BMP ファイルその他が入っていても無視されます。
- 3 [OK]をクリックすると、現在設定中の各種印刷設定・印刷範囲で、システムの通常使うプリンターに設定されているプリンターで印刷処理を行います。

- ・ BV Finder でファイルを選択して印刷する場合、全ての選択図面の印刷が終わった後で、傾き印刷ONで異縮尺の表示シートがある図面がある場合、以下のメッセージが表示されます。  
「下記の図面は印刷で傾きを指定している為 縦横異縮尺のシートは正しく印刷されなかった可能性があります  
図面パス1  
図面パス2」
- ・ 「BV Finder」ダイアログボックスで複数のファイルを選択し、印刷を実行した場合は、それぞれのファイルごとにパスワード入力用のダイアログボックスが表示されます。
- ・ BVF ファイル保存の際、読み込み・印刷のいずれかのパスワードが設定されていると、通常、図面を読み込む際と同様のパスワード入力用のダイアログボックスが表示されます。  
 <1：読み込みパスワードが設定されている場合>  
 印刷メニュー実行後、読み込みパスワード入力用のダイアログボックスが表示されます。正しく入力した場合は、続いて印刷が実行されます。パスワードの入力をキャンセルすると、印刷は実行されません。  
 <2：印刷パスワードが設定されている場合>  
 印刷メニュー実行後、印刷パスワード入力用のダイアログボックスが表示されます。正しく入力した場合は、続いて印刷が実行されます。パスワードの入力をキャンセルすると、印刷は実行されません。
- ・ 読み込み・印刷のパスワードのうち複数指定されていた場合は、1：～2：の順にパスワード入力用のダイアログボックスが表示され、判定で印刷できるかできないかが決まります。

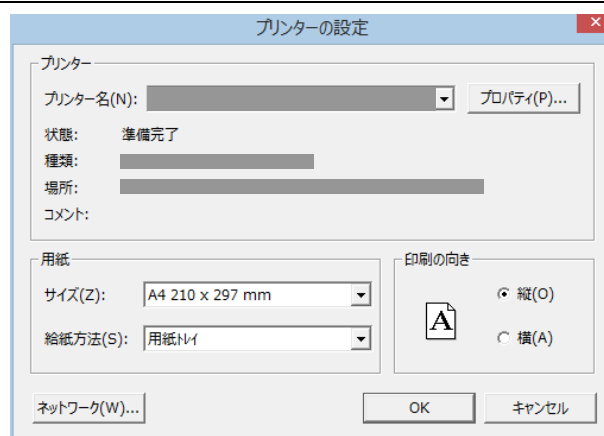
## ●システム設定

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[システム設定]をクリックすると、「システム設定」ダイアログボックスの[印刷・メニュー]が表示されます。
- 2 詳しい操作は、本マニュアル[ツール]ー[システム設定]内の、各機能の説明を参照ください。



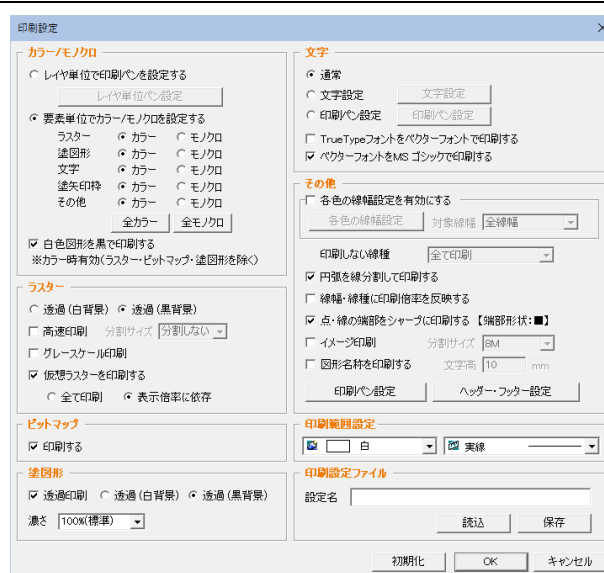
## ●プリンターの設定

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[プリンターの設定]をクリックすると、「プリンターの設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 詳しい操作は、本マニュアル[ファイル]ー[プリンターの設定]内の、各機能の説明を参照ください。



## ●印刷設定

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[印刷設定]をクリックすると、「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 詳しい操作は、本マニュアル[ファイル]ー[印刷設定]内の、各機能の説明を参照ください。



## ●一覧印刷

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[一覧印刷]をクリックします。

- ・ 通常、複数のファイルを選択します。  
ファイルを1つも選択せず、ファイル以外の場所で右クリックした場合は、そのフォルダー内のすべてのファイルが  
一覧印刷の対象となります。

- 2 「一覧印刷」ダイアログボックスが表示されます。

### プレビュー

印刷結果を表示します。グレーの点線はプリンターの印字可能範囲を示しています。ブルーの線は現在選択されている余白を示しています。

### スタイル

ドロップダウンリストボックスから、「一覧」「イメージアイコン」「詳細」のいずれかを選択します。スタイルが「詳細」の場合、ファイル/フォルダーの一覧で設定された項目順序で印刷が行われます。[詳細設定]をクリックして設定用ダイアログボックスで各種の設定を行うこともできます。

### 用紙サイズ

現在選択されている用紙サイズが表示されます。

### ページ

印刷の開始ページと終了ページを設定します。

「現在」を変更すると、そのページのプレビューが表示されます。

### 余白

印刷範囲を設定します。余白の値は、プリンターの物理的な印字範囲より内側になるように入力チェックします。▲または▼をクリックすると、1 mm単位で調整することができます。

### 【プリンター設定】ボタン

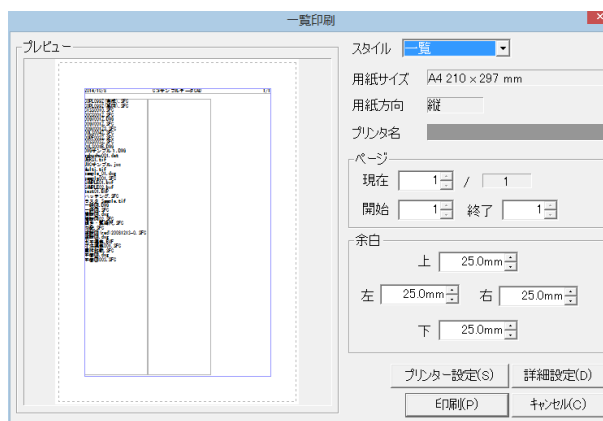
インストールされているプリンターを選択します。プリンターのプロパティも設定可能です。

### 【詳細設定】ボタン

【詳細設定】ボタンをクリックすると、「詳細設定」ダイアログが開き、「ヘッダー」「フッター」「詳細」「イメージアイコン」「フォント」を設定することができます。

「詳細設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「一覧印刷」ダイアログボックスに戻ります。

**参 照** → 「解説：「詳細設定」ダイアログボックスの各種設定」



- 3 [印刷]をクリックすると、ファイル・フォルダーの一覧でファイルを選択している場合は、選択されているファイルの一覧を設定された各種パラメータに従って印刷します。  
ファイルが選択されていない場合は、そのフォルダーにあるファイルすべての一覧を印刷します。

## 解 説 : 「詳細設定」ダイアログボックスの各種設定

### ヘッダー

用紙の上側に印刷するヘッダーの文字列を用紙の「左」「中央」「右」の3つにわけて入力します。

1 「詳細設定」ダイアログボックスで[ヘッダー]タブをクリックすると、ヘッダー設定用のダイアログボックスに表示が切り替わります。

#### 2 ヘッダーを印刷します

「ヘッダーを印刷します」チェックマークをオンにすると、ここで設定した内容を有効にし、一覧印刷時にヘッダーを印刷します。

##### 左、中央、右

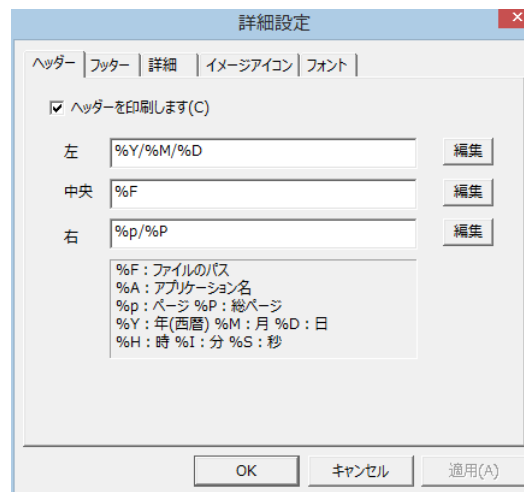
ヘッダー「左」、「中央」、「右」の各入力欄内に文字列を入力します。

ヘッダーの文字列には、通常の文字以外に、「日付」、「時刻」、「ページ数」などに印刷時に置き換える書式文字列を入力することができます。

書式文字列には、次のような種類があります。

%f	フォルダー名
%F	フォルダーパス名
%p	ページ数
%P	総ページ数
%Y	年(西暦)
%M	月
%D	日
%H	時
%I	分
%S	秒

3 「詳細設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「一覧印刷」ダイアログボックスに戻ります。



#### <書式文字列設定例>

■例) 「2000 / 06 / 16 18 : 30 : 00 1 / 6 ページ」  
と印刷したい場合

%Y / %M / %D %H : %I : %S %p / %P ページ と入力

### フッター

用紙の下側に印刷するフッターの文字列を用紙の「左」「中央」「右」の3つにわけて入力します。

1 「詳細設定」ダイアログボックスで[フッター]タブをクリックすると、フッター設定用のダイアログボックスに表示が切り替わります。

#### 2 フッターを印刷します

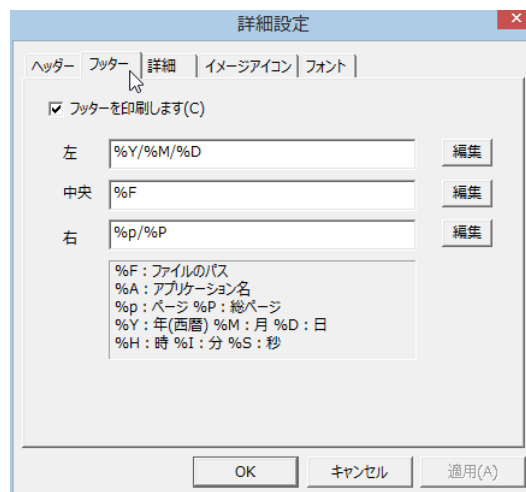
「フッターを印刷します」チェックマークをオンにすると、ここで設定した内容を有効にし、一覧印刷時にフッターを印刷します。

##### 左、中央、右

フッター「左」、「中央」、「右」の各入力欄内に文字列を入力します。

ヘッダーと同様、フッターの文字列には、通常の文字以外に、「日付」、「時刻」、「ページ数」などに印刷時に置き換える書式文字列を入力することができます。ヘッダーの説明を参照してください。

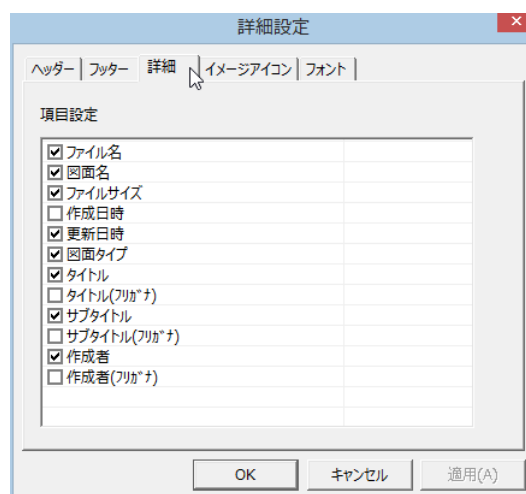
3 「詳細設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「一覧印刷」ダイアログボックスに戻ります。



## 詳細

一覧印刷のダイアログでスタイルを「詳細」に設定した場合の印刷項目を設定します。  
各項目の順番は、BV Finder の「詳細」表示で設定した順番に従います。

- 1 「詳細設定」ダイアログボックスで[詳細]タブをクリックすると項目設定用のダイアログボックスが表示が切り替わります。  
印刷項目の横にある、チェックボックスをチェックすると、その項目を印刷します。
- 2 「詳細設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「一覧印刷」ダイアログボックスに戻ります。



## イメージアイコン

一覧印刷のダイアログでスタイルを「イメージアイコン」に設定した場合のイメージアイコンのサイズを設定します。

- 1 「詳細設定」ダイアログボックスで[イメージアイコン]タブをクリックすると、イメージアイコンのサイズ設定用のダイアログボックスが表示が切り替わります。

### 横幅、縦幅

イメージアイコンのサイズをmm単位で設定します。

### 間隔

イメージアイコン間の間隔をmm単位で設定します。

### DP I

イメージアイコンを印刷する際のDP I（1インチのピクセル数）を設定します、この値がプリンターのDP Iに近くなるほど印刷結果はきれいになります。



## <情報の印刷>

### ファイル名

「ファイル名」のチェックマークをオンにすると、イメージアイコンの下に、ファイル名を印刷します。

### タイトル

「タイトル」のチェックマークをオンにすると、イメージアイコンの下に、その図面データのタイトル文字を印刷します。

### サイズ

「サイズ」のチェックマークをオンにすると、イメージアイコンの下に、ファイルのサイズ、および用紙サイズ（イメージの場合はピクセル数）を印刷します。

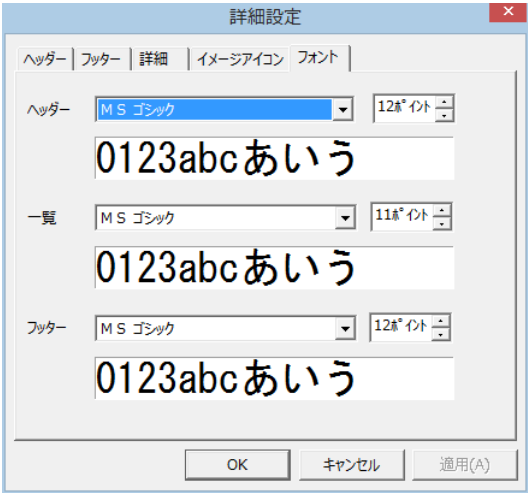
■ ・ タイトルを印刷できるファイル形式は、BVF, BVS, TIFF に限ります。

- 2 「詳細設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「一覧印刷」ダイアログボックスに戻ります。

フォント

「ヘッダー」、「一覧」、「フッター」のフォントをそれぞれ設定します。

- 1
- 「詳細設定」ダイアログボックスで[フォント]タブをクリックすると、フォント設定用のダイアログボックスに表示が切り替わります。  
 ヘッダー、一覧、フッターのフォント種別  
 ドロップダウンリストボックスからいずれかのフォントの種別を選択します。  
 ヘッダー、一覧、フッターのフォントのサイズ  
 ▲、▼をクリックし、いずれかのフォントのサイズを選択します。  
 プレビュー  
 それぞれのフォントのプレビューがフォント種別の下に表示されます。
- 2
- 「詳細設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「一覧印刷」ダイアログボックスに戻ります。



印刷のスタイル

<一覧>

ヘッダー左			ヘッダー中央			ヘッダー右		
ファイル名1 ファイル名2 ファイル名3 ファイル名4 ・ ・ ・ ・ ファイル名n								
フッター左			フッター中央			フッター左		

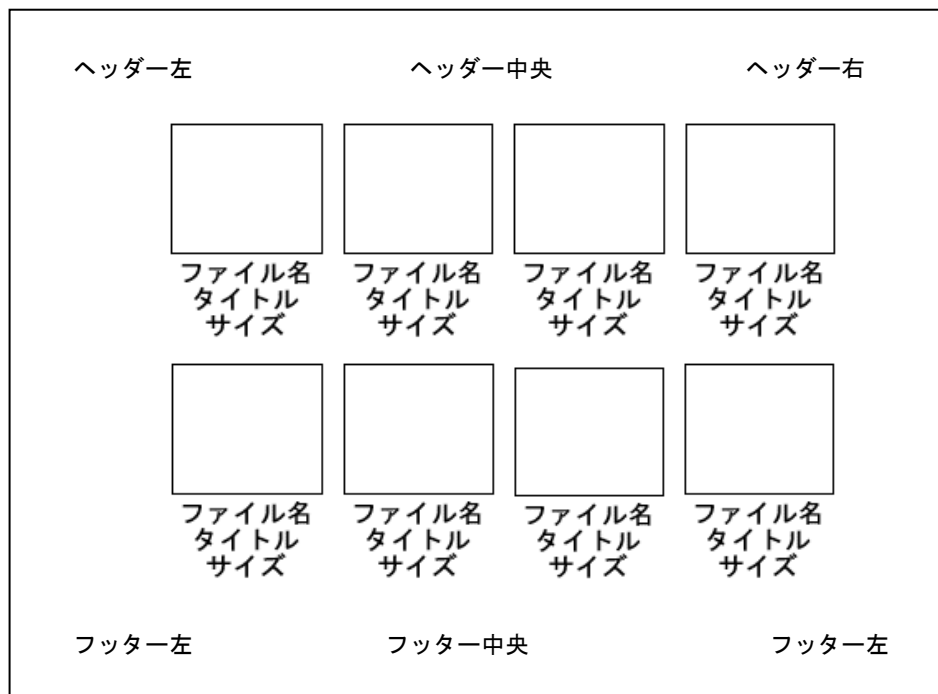
ヘッダー左、中央、右は、設定された文字列、日時、ページ数を印字します。

<詳細>

ヘッダー左			ヘッダー中央			ヘッダー右		
ファイル名	サイズ	タイトル	サブタイトル					
ファイル名1	xxxx	タイトル1	サブタイトル1					
ファイル名2	xxxx	タイトル2	サブタイトル2					
ファイル名3	xxxx	タイトル3	サブタイトル3					
・								
・								
・								
ファイル名n	xxxx	タイトルn	サブタイトルn					
フッター左			フッター中央			フッター右		

各列「ファイル名」「サイズ」「更新日時」「タイトル」「サブタイトル」「作成者」は、詳細表示で設定された順に並びます。

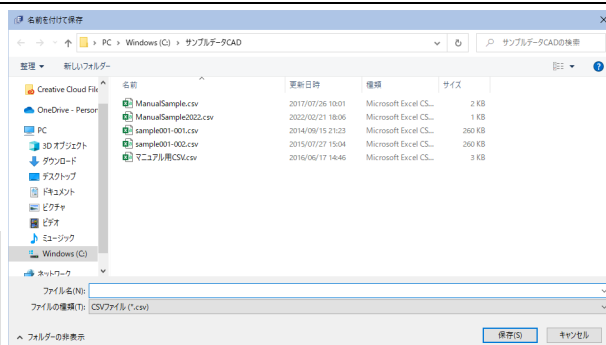
## <イメージアイコン>



## ●一覧エクスポート

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[一覧エクスポート]をクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 ファイル名を入力し、[保存]をクリックすると、マウスで選択されたフォルダーまたはファイルのデータをすべてCSVファイルに出力します。

- ・フォルダー内でファイル名が表示されていない場所で右クリックし、ポップアップメニューから[一覧エクスポート]をクリックすると、フォルダー名の上で右クリックした時と同様にフォルダー内のデータ全てをCSVファイルに出力します。
- ・CSVファイルに出力される内容は図面ファイルの場合(.BVF)、以下の通りです。  
ファイル名、図面名、ファイルサイズ、作成日時、更新日時、図面タイプ、タイトル、タイトル(フリガナ)、サブタイトル、サブタイトル(フリガナ)、作成者、作成者(フリガナ)。ただし、タイトル～作成者(フリガナ)は入力されている場合のみ出力されます。

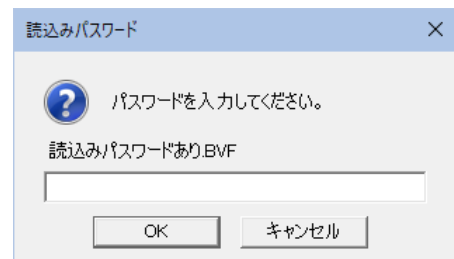


## ●プロパティ

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[プロパティ]をクリックすると、選択中のファイルの「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



ファイルにパスワードが設定されている場合、[パスワード]をクリックします。「読み込みパスワード入力」ダイアログボックスが表示されますので、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。



- 2 「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。  
[閉じる]をクリックすると、「BV Finder」ダイアログボックスに戻ります。

## ●閉じる

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[ファイル]内の[閉じる]をクリックします。
- 2 「BV Finder」ダイアログボックスを閉じます。

## ファイル(F)→ 開く(O)

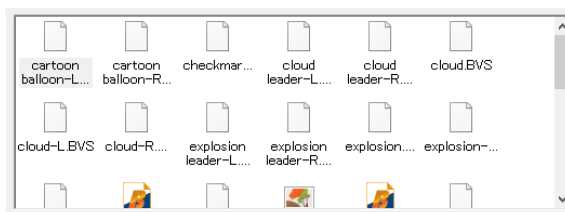
### BV Finder の表示メニュー

プルダウンメニュー[表示]内の機能は以下の通りです。

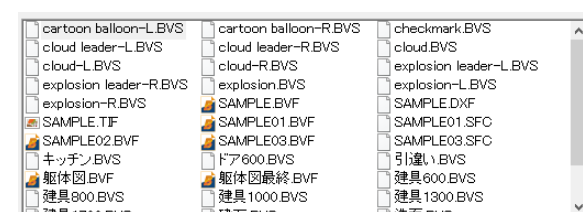
## ●大きいアイコン・小さいアイコン・一覧・詳細

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[表示]内の[大きいアイコン]・[小さいアイコン]・[一覧]・[詳細]のいずれかをクリックすると、選択中のフォルダー内のファイルの表示が切り替わります。

### ▼大きいアイコン

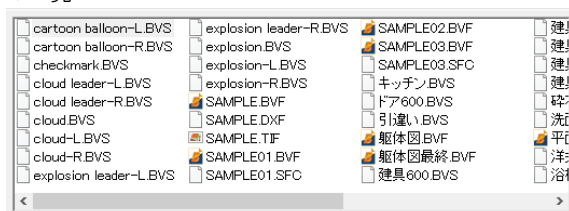


### ▼小さいアイコン





## ▼一覧



## ▼詳細

ファイル名	図面名	サイズ	作
<input type="checkbox"/> cartoon balloon-L.BVS		3 KB	20
<input type="checkbox"/> cartoon balloon-R.BVS		3 KB	20
<input type="checkbox"/> checkmark.BVS		3 KB	20
<input type="checkbox"/> cloud leader-L.BVS		3 KB	20
<input type="checkbox"/> cloud leader-R.BVS		3 KB	20
<input type="checkbox"/> cloud.BVS		2 KB	20
<input type="checkbox"/> cloud-L.BVS		3 KB	20
<input type="checkbox"/> cloud-R.BVS		3 KB	20
<input type="checkbox"/> explosion leader-L.BVS			
<input type="checkbox"/> explosion leader-R.BVS			
<input type="checkbox"/> explosion.BVS			
<input type="checkbox"/> explosion-L.BVS			
<input type="checkbox"/> explosion-R.BVS			
<input type="checkbox"/> SAMPLE.BVF			
<input type="checkbox"/> SAMPLE.DXF			
<input type="checkbox"/> SAMPLE.TIF			
<input type="checkbox"/> SAMPLE01.BVF			
<input type="checkbox"/> SAMPLE01.SFC			
<input type="checkbox"/> SAMPLE02.BVF			
<input type="checkbox"/> SAMPLE03.BVF			
<input type="checkbox"/> SAMPLE03.SFC			
<input type="checkbox"/> キッチン.BVS			
<input type="checkbox"/> ドア600.BVS			
<input type="checkbox"/> 引違い.BVS			
<input type="checkbox"/> 躯体図.BVF			
<input type="checkbox"/> 躯体図最終.BVF			
<input type="checkbox"/> 建具600.BVS			

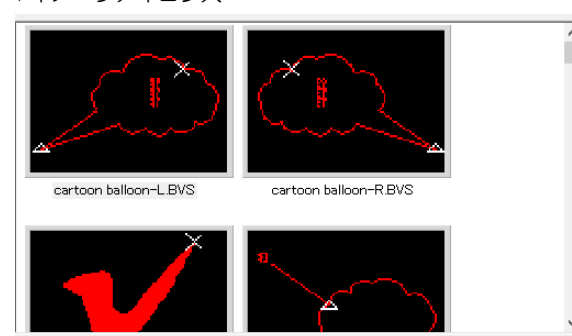
## ●イメージアイコン特大・イメージアイコン大・イメージアイコン中・イメージアイコン小

- 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[表示]内の[イメージアイコン特大]・[イメージアイコン大]・[イメージアイコン中]・[イメージアイコン小]のいずれかをクリックすると、選択中のフォルダー内のファイルの表示が切り替わります。

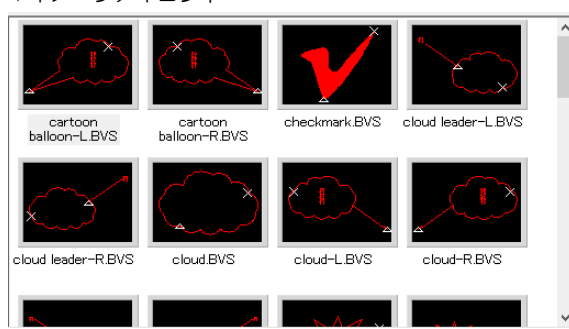
## ▼イメージアイコン特大



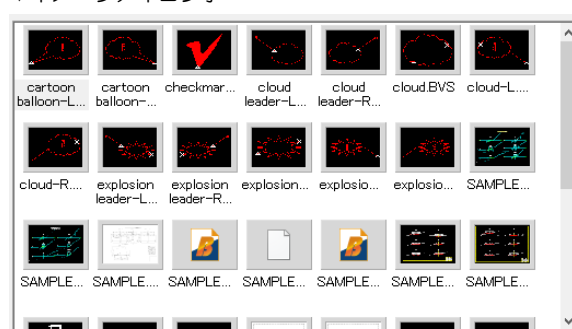
## ▼イメージアイコン大



## ▼イメージアイコン中



## ▼イメージアイコン小



## ●イメージアイコン再作成

- 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[設定]ー[イメージアイコン]でイメージアイコンの各種設定を変更した場合は、[表示]メニュー内の[イメージアイコン再作成]をクリックします。  
設定に基づき、イメージアイコンの表示が行われます。

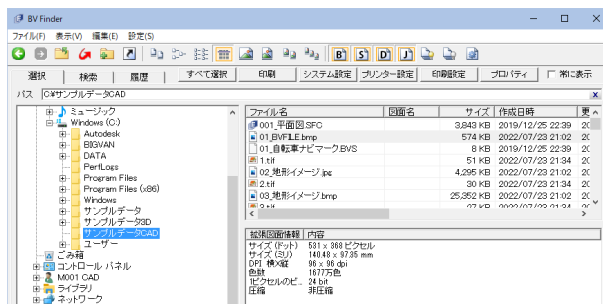
## ●最新の情報に更新

- 「BV Finder」ダイアログボックスで、[表示]メニュー内の[最新情報に更新]をクリックします。  
フォルダー内の情報を、最新のものに更新します。また、F5 キーを押しても、同様の処理が行えます。

●ショートカット欄、拡張図面情報の表示オン・オフ

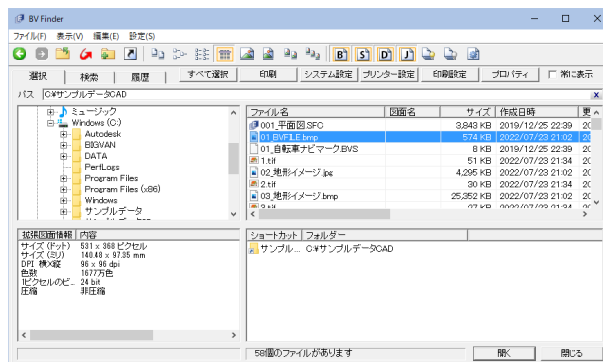
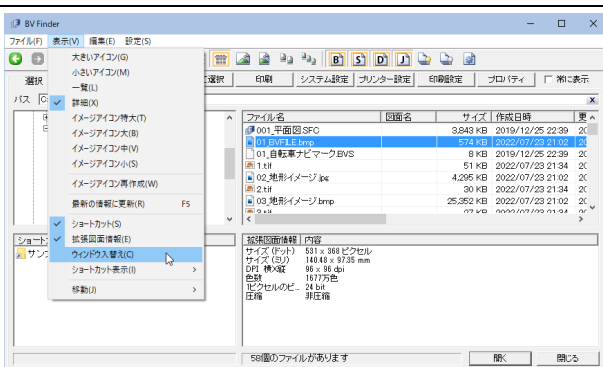
- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー「表示」内の「ショートカット」、**「拡張図面情報」**をクリックします。ショートカット欄、拡張図面情報の表示オン・オフの切り替えが行われます。

## ▼ショートカット欄オフ、拡張図面情報オン



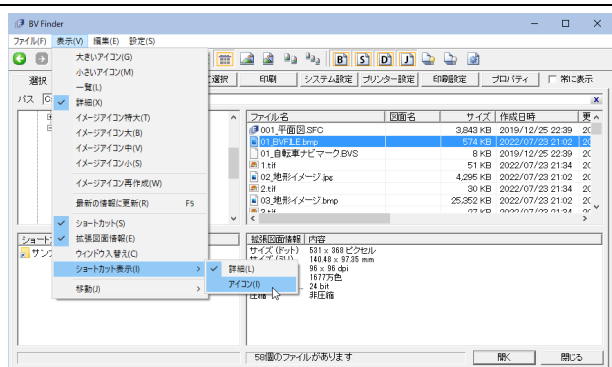
## ●ショートカット欄、拡張図面情報欄の表示の入替え

- 1** 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[表示]内の[ウィンドウ入替え]をクリックします。ショートカット欄、拡張図面情報の表示位置の切り替えが行われます。

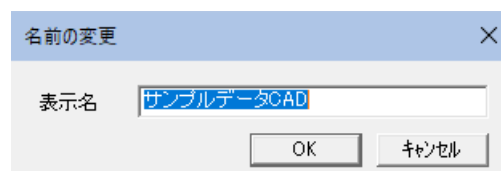
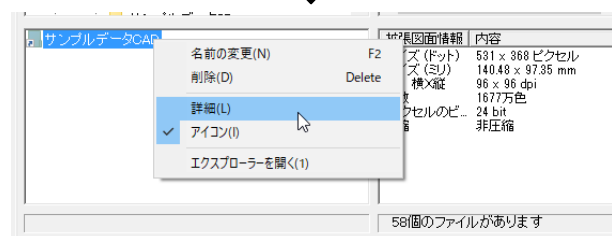


## ●ショートカット欄の表示状態の変更

- 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[表示]内の[ショートカット表示]をクリックし、「詳細」または「アイコン」のいずれかを選択します。ショートカット欄表示が変更されます。

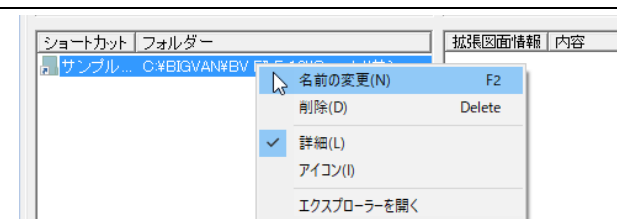


また、ショートカット欄内で右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューからも表示状態を変更することもできます。



## ●ショートカットの名前の変更

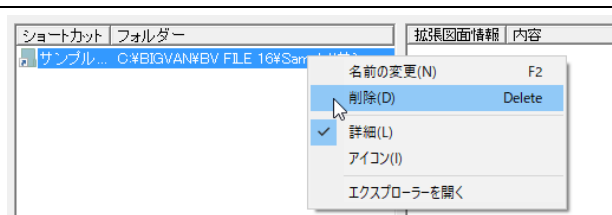
- 「BV Finder」ダイアログボックスで、ショートカット欄内で右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューから「名前の変更」を選択します。



- 「名前の変更」ダイアログボックスが表示されます。変更後の名前を入力し、[OK]をクリックすると、ショートカットの名前の変更が行われます。

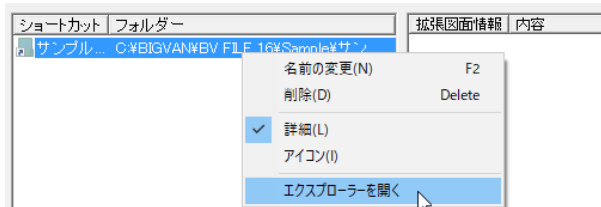
## ●ショートカットの削除

- 「BV Finder」ダイアログボックスで、ショートカット欄内で右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューから「削除」を選択します。ショートカットが削除されます。



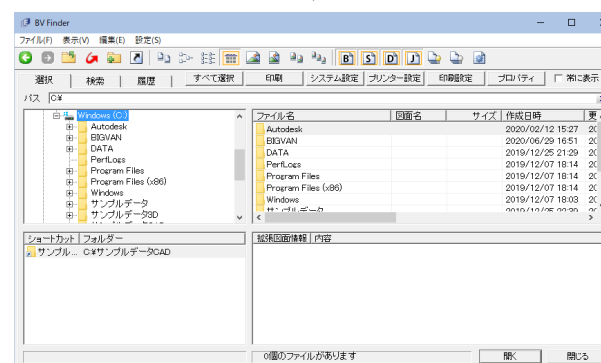
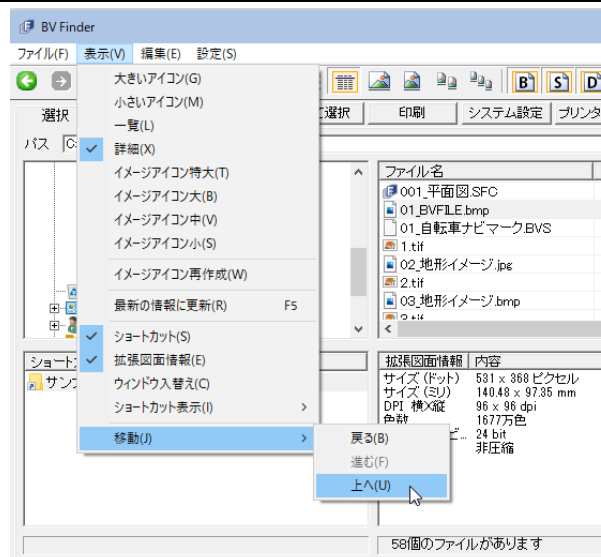
## ●エクスプローラーを開く

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、ショートカット欄内で右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューから「エクスプローラーを開く」を選択します。現在表示中のフォルダーのエクスプローラー画面が表示されます。



## ●フォルダーの移動

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[表示]内の[移動]をクリックし、[戻る]、[進む]、[上へ]のいずれかをクリックします。表示するフォルダーの移動が行われます。



**ファイル(F) → 開く(O)****BV Finder の編集メニュー**

プルダウンメニュー[編集]内の機能は以下の通りです。

**●コピー**

- 1 マウスの右ボタンでコピーするフォルダーまたはファイルをクリックし、プルダウンメニュー[編集]内の[コピー]をクリックします。
- 2 フォルダーまたはファイルがコピーされます。

**●貼り付け**

- 1 コピー先のフォルダーやドライブを開きます。  
コピー先でマウスの右ボタンを押し、プルダウンメニュー[編集]内の[貼り付け]をクリックします。
- 2 選択したフォルダーまたはファイルが貼り付けされます。

**●削除**

- 1 マウスの右ボタンで削除するファイルをクリックします。
- 2 プルダウンメニュー[編集]内の[削除]をクリックすると、削除が行われます。  
また、**Del** キーを押しても同様の処理が行われます。

・ 簡易排他制御を設定した図面ファイルを選択している場合は、この機能は選択できません。

**●名前の変更**

- 1 マウスの右ボタンでファイルをクリックし、プルダウンメニュー[編集]内の[名前の変更]をクリックします。
- 2 新しい名前を入力し、**Enter** キーを押すと、名前の変更が行われます。

・ 簡易排他制御を設定した図面ファイルを選択している場合は、この機能は選択できません。

**●フォルダーの作成**

- 1 マウスの右ボタンで新しいフォルダーを作成する位置をクリックし、プルダウンメニュー[編集]内の[フォルダーの作成]をクリックします。
- 2 一時的な名前が付いた新しいフォルダーが表示されます。フォルダーの名前を入力し、**Enter** キーを押します。

**●ショートカットの作成**

- 1 フォルダーツリー表示内の対象フォルダー上でマウスを右クリックし、プルダウンメニュー[編集]内の[ショートカットの作成]をクリックします。  
「ショートカットの作成」ダイアログボックス内にショートカット名を入力し、[OK]をクリックします。
- 2 「BV Finder」ダイアログボックスの「ショートカット」欄内に選択したフォルダーへのショートカットが作成されます。  
「ショートカット」欄内のショートカットをダブルクリックするだけで、指定したフォルダー内の表示に切り替わります。

**●ショートカットの名前の変更**

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、ショートカット欄内で右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューから「名前の変更」を選択します。
- 2 「名前の変更」ダイアログボックスが表示されます。変更後の名前を入力し、[OK]をクリックすると、ショートカットの名前の変更が行われます。

**●ショートカットの削除**

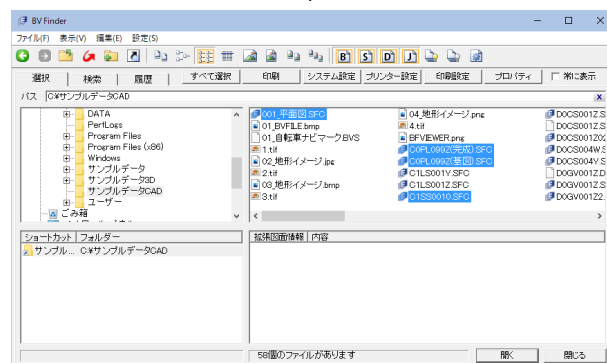
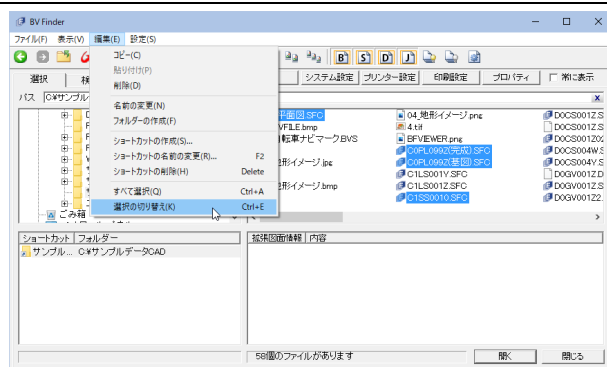
- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、ショートカット欄内で右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューから「削除」を選択します。ショートカットが削除されます。

**●すべて選択**

- 1 プルダウンメニュー[編集]内の[すべて選択]をクリックします。
- 2 現在表示中のフォルダー内のすべてのファイルが選択されます。

## ● 選択の切り替え

- 1 プルダウンメニュー[編集]内の[選択の切り替え]をクリックします。
- 2 現在選択中のファイル以外のフォルダー内のファイルが選択されます。



## ファイル(F) → 開く(O)

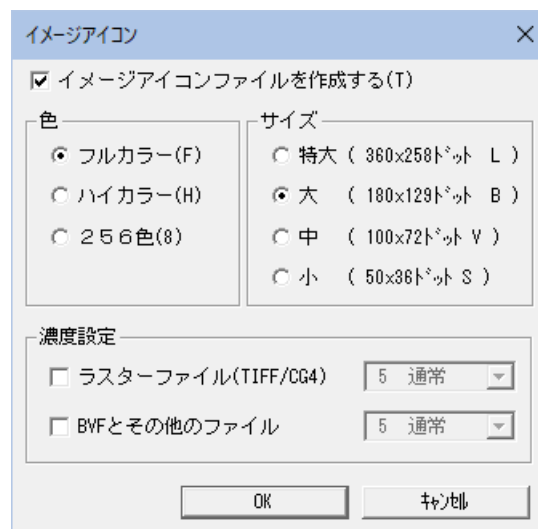
### BV Finder の設定メニュー

プルダウンメニュー[設定]内の機能は以下の通りです。

## ● イメージアイコンの設定を行う

「BV Finder」ダイアログボックス上で、表示するイメージアイコンの各種設定を行います。

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[設定]内の[イメージアイコン]をクリックします。  
「イメージアイコン」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 各種の設定を行います。  
「イメージアイコンファイルを作成する」チェックマークをオンにすると、イメージアイコンを表示する際にファイルを作成し、表示の高速化を行います。初期状態はオンです。  
「色」、「サイズ」は、いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。初期状態は、色＝フルカラー、サイズ＝大です。  
「ラスター(TIFF/CG4)ファイル」、「BVF とその他のファイル」のチェックマークをオンにすると、イメージアイコンの濃度の設定を行うことができます。  
ドロップダウンリストの中から「5」を選択すると通常の値で、「5」より大きい値を設定するとイメージアイコンは薄く(明るく)、「5」より大きい値を設定すると濃く表示されます。
- 3 [OK]をクリックすると、「イメージアイコン」ダイアログボックスが閉じます。  
イメージアイコンの各種設定を変更した場合は、メニューバー[表示]内の[イメージアイコン再作成]を必ずクリックします。設定に基づき、イメージアイコンの再表示が行われます。



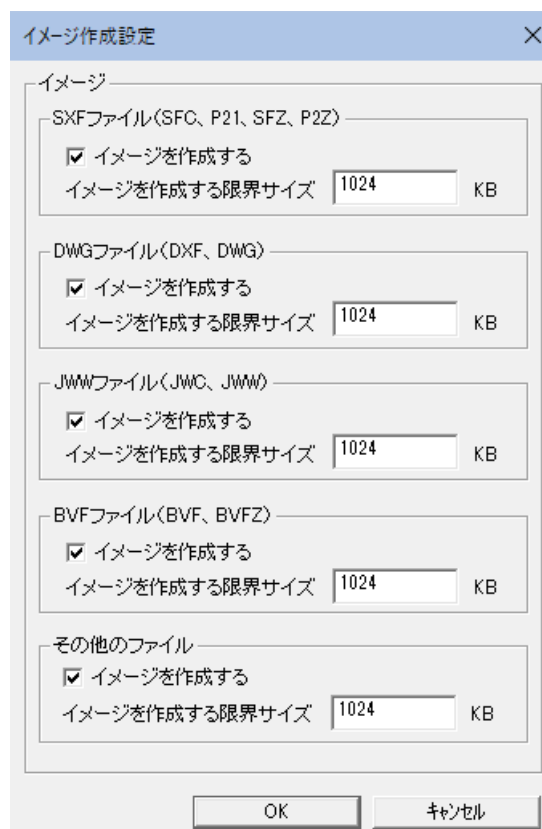
### ＜イメージアイコン・ファイルについて＞

- イメージアイコン・ファイルは、各図面やファイルのイメージアイコンを1つのファイルに保存しておくもので、次回表示する際にこのファイルを読み込むことで、イメージアイコンの表示を高速化することができます。  
特に DXF、DWG、BMP、JPG、TIF、CG4、SFC、SFZ、P21、P22 など読み込みに時間のかかるファイルでも、一度作成すれば次回からイメージアイコン・ファイルを読み込むため、高速に表示されます。
- イメージアイコン・ファイルは、各フォルダーごとに「!BVThumbNail.BVX」というファイル名で作成されます。  
「BV Finder」ダイアログボックス内のメニュー[設定]－[イメージアイコン]を選択し、ダイアログボックスで「イメージアイコンファイルを作成する」チェックマークがオンの場合、イメージアイコン・ファイルが作成されます。初期状態では、チェックマークはオンです。  
チェックマークをオフにすると、それ以降、イメージアイコン・ファイルを作成しなくなります。  
すでに作成したイメージアイコン・ファイルが存在しても無視されます。
- イメージアイコン作成中に表示されるダイアログボックス内の[中止]ボタンをクリックすると、イメージアイコンの作成処理を中止します。同じフォルダーを再度開くと、中止したイメージアイコンのファイルから表示を再開します。  
この[中止]ボタンは、そのとき処理中のファイルが表示を終えない限り、中止できません。  
極端にデータ容量が大きいDWG、DXF、JPG、BMP、TIF、CG4、SFC、P21 などがある場合は、そのファイルの処理が終了するまでは、中止、スクロール、プロパティの処理は実行されません。

## ● イメージ作成時の上限値を設定する

「BV Finder」ダイアログボックス上で、イメージ作成時のファイルサイズ上限値を設定することができます。

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー[設定]内の[イメージ作成設定]をクリックします。  
「イメージ作成設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 各種ファイルの「イメージを作成する」チェックマークをオンにすると、イメージを表示する際にファイルを作成し、表示の高速化を行います。初期状態はオンです。  
「その他のファイル」は、SXF、DWG、JWW、BVF 以外のファイルが対象となります。  
「イメージを作成する限界サイズ」の入力欄内には、イメージを作成する際の限界のサイズを KB 単位で入力します。  
初期値は 1024KB です。



## ● 開くファイルのタイプを選択する

「BV Finder」ダイアログボックス上で、読み込むファイルの種類を選択することができます。

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニュー「設定」内の「表示ファイルタイプ設定」をクリックします。「表示ファイルタイプ設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 いずれかのチェックマークをオンにすると読み込むファイルが選択されます。

### TIFF をラスタースとして開く

「TIFF をラスタースとして開く」チェックマークをオンにすると、カラーラスタースはカラーラスタースで読み込みます。

オフの場合は BMP 形式で読み込みます。カラーラスタースオプションのインストールされている BV FILE でのみ、行えます。

### BMP・JPG・PNG をラスタースとして開く

「BMP・JPG・PNG をラスタースとして開く」チェックマークをオンにすると、BMP、JPG、PNG をカラーラスタースで読み込みます。オフの場合は BMP、JPG、PNG 形式で読み込みます。カラーラスタースオプションのインストールされている BV FILE でのみ、行えます。

### XLS・XLSX を文字要素として開く

「XLS・XLSX を文字要素として開く」チェックマークをオンにすると、エクセルデータを CAD データの直線・文字などの要素として読み込みます。オフの場合は、OLE として貼りこまれます。

### 全選択／全解除

表示中の項目すべてのチェックマークをオン、またはオフにします。

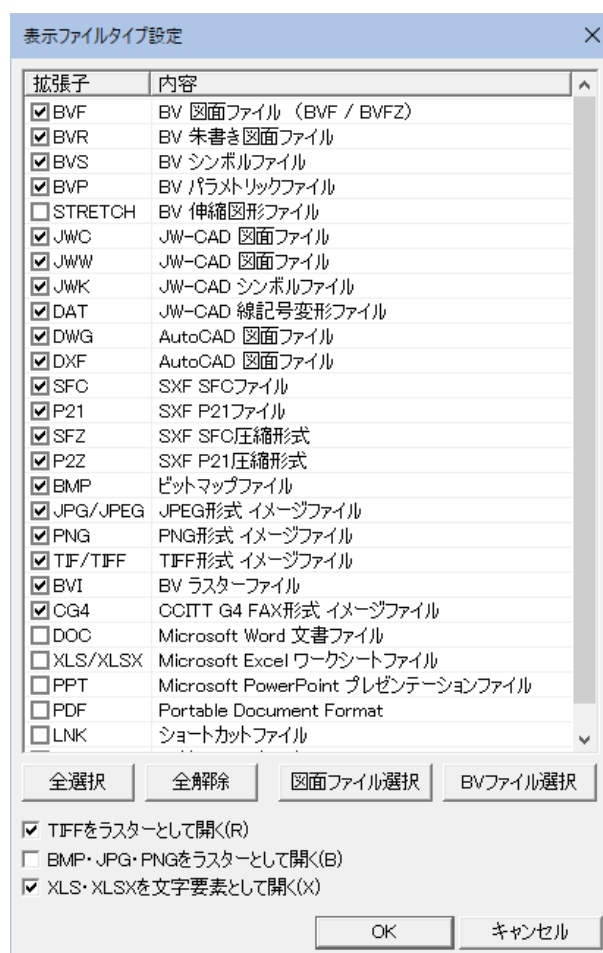
### 図面ファイル選択

図面ファイルのみ選択します。

### BV ファイル選択

BV ファイルのみ選択します。

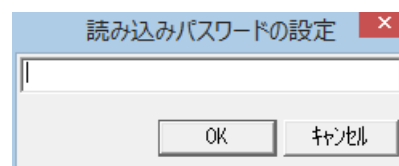
- 3 [OK]をクリックすると、選択した種類のファイルのみが、「BV Finder」ダイアログボックス内に表示されます。



## ● 読み込みパスワードを設定する

「BV Finder」ダイアログボックス上で、読み込むファイルにパスワードを設定することができます。

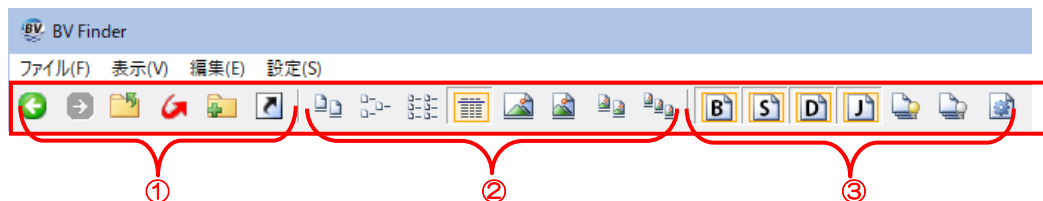
- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、プルダウンメニューの「設定」をクリックし、[パスワード]をクリックします。「読み込みパスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 パスワードを入力し、[OK]をクリックします。





## BV Finder のツールバーメニュー

「BV Finder」ダイアログボックス内のツールバーメニューには、以下の各種メニューがあり、それぞれ各種の処理を実行することができます。



### ① 戻る・進む・上へ・最新の情報に更新・フォルダーの作成・ショートカットの作成

	戻る	1 つ前に表示していたフォルダーに戻ります。
	進む	戻る前のフォルダーに進みます。
	上へ	一つ上のフォルダーに進みます。
	最新の情報に更新	フォルダー内の情報を、最新のものに更新します（[表示]－[最新の情報に更新]）。また、F5 キーを押しても、同様の処理が行えます。
	フォルダーの作成	新しいフォルダーを作成します（[編集]－[フォルダーの作成]）。
	ショートカットの作成	ショートカットを作成します（[編集]－[ショートカットの作成]）。

### ② 大きいアイコン/小さいアイコン/一覧/詳細/イメージアイコン(大)/イメージアイコン(中)/イメージアイコン(小)

	大きいアイコン	ファイル名と大きいアイコンが表示されます（[表示]－[大きいアイコン]）。
	小さいアイコン	ファイル名と小さいアイコンが表示されます（[表示]－[小さいアイコン]）。
	一覧	ファイル名が表示されます（[表示]－[一覧]）。
	詳細	ファイルの各情報（ファイル名、図面名、サイズ、作成日時、更新日時、タイプ、タイトル、タイトル(7桁 カ)、サブタイトル、サブタイトル(7桁 カ)、作成者、作成者(7桁 カ)）が表示されます（[表示]－[詳細]）。
	イメージアイコン(特大)	図面ファイルおよび各種ファイルが、一番大きいサイズでイメージ表示されます（[表示]－[イメージアイコン特大]）。
	イメージアイコン(大)	図面ファイルおよび各種ファイルが、大きいサイズでイメージ表示されます（[表示]－[イメージアイコン大]）。
	イメージアイコン(中)	図面ファイルおよび各種ファイルが、中くらいのサイズでイメージ表示されます（[表示]－[イメージアイコン中]）。
	イメージアイコン(小)	図面ファイルおよび各種ファイルが、一番小さいサイズでイメージ表示されます（[表示]－[イメージアイコン小]）。

### ③ 表示ファイルタイプの表示切り替えと設定

	表示ファイルタイプ(BVF・BVFZ)	BVF、BVFZ ファイルの表示/非表示を切り替えます。
	表示ファイルタイプ(SXF)	SFC、P21、SFZ、P2Z ファイルの表示/非表示を切り替えます。
	表示ファイルタイプ(DXF・DWG)	DXF、DWG ファイルの表示/非表示を切り替えます。
	表示ファイルタイプ(JWC・JWW)	JWC、JWW ファイルの表示/非表示を切り替えます。
	表示ファイルタイプ(全選択)	全ての表示ファイルタイプボタンを選択します。
	表示ファイルタイプ(全解除)	全ての表示ファイルタイプボタンを解除します。
	表示ファイルタイプ設定	開くファイルのタイプを選択します（[設定]－[表示ファイルタイプ設定]）。

## ファイル(F) → 開く(O)

## BV Finder 上でポップアップメニューから各種の操作を行う

「BV Finder」ダイアログボックス内の、フォルダーの階層構造や、選択したフォルダー内のファイルやフォルダーの一覧表示内でマウスの右ボタンをクリックすることにより、ファイル操作を行うためのポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニュー内には、クリックした項目に対してよく使う機能が登録されています。マウスを右クリックした位置により、次のように表示されるポップアップメニューは異なります。

## ▼[選択]タブ

## ■フォルダーの階層構造内フォルダー名の上で右クリック

ショートカットの作成(T)  
一覧印刷(L)  
一覧エクスポート(E)  
コピー(C)  
貼り付け(H)  
削除(D)  
エクスプローラーを開く

## ■ファイル・フォルダーの一覧表示図面ファイル／フォルダー名の表示されていないところで右クリック

戻る(Z)  
進む(Y)  
上へ(U)  
すべて選択(Q) Ctrl+A  
一覧印刷(L)...  
一覧エクスポート(E)...  
貼り付け(H)  
フォルダーの作成(F)  
最新の情報に更新(R) F5  
大きいアイコン(G)  
小さいアイコン(M)  
一覧(J)  
詳細(X)  
イメージアイコン特大(T)  
イメージアイコン大(B)  
イメージアイコン中(V)  
イメージアイコン小(S)  
イメージアイコン再作成(W)

## ■ファイル・フォルダーの一覧表示 図面ファイル／フォルダー名の上で右クリック

開く(O) Ctrl+O  
アプリケーションから開く(A)  
戻る(Z)  
進む(Y)  
上へ(U)  
すべて選択(Q) Ctrl+A  
選択の切り替え(K) Ctrl+E  
印刷(P)... Ctrl+P  
一覧印刷(L)...  
一覧エクスポート(E)...  
コピー(C)  
貼り付け(H)  
削除(D)  
名前の変更(N)  
フォルダーの作成(F)  
最新の情報に更新(R) F5  
大きいアイコン(G)  
小さいアイコン(M)  
一覧(J)  
詳細(X)  
イメージアイコン特大(T)  
イメージアイコン大(B)  
イメージアイコン中(V)  
イメージアイコン小(S)  
イメージアイコン再作成(W)  
プロパティ(I)...  
エクスプローラーを開く

## ▼[検索]タブ

## ■検索ファイル・フォルダーの一覧表示 図面ファイル／フォルダー名の上で右クリック

開く(O) Ctrl+O  
アプリケーションから開く(A)  
戻る(Z)  
進む(Y)  
上へ(U)  
すべて選択(Q) Ctrl+A  
選択の切り替え(K) Ctrl+E  
印刷(P)... Ctrl+P  
一覧印刷(L)...  
一覧エクスポート(E)...  
コピー(C)  
削除(D)  
最新の情報に更新(R) F5  
大きいアイコン(G)  
小さいアイコン(M)  
一覧(J)  
詳細(X)  
イメージアイコン特大(T)  
イメージアイコン大(B)  
イメージアイコン中(V)  
イメージアイコン小(S)  
プロパティ(I)...  
エクスプローラーを開く

## ■検索ファイル・フォルダーの一覧表示 図面ファイル／フォルダー名の表示されていないところで右クリック

戻る(Z)  
進む(Y)  
上へ(U)  
すべて選択(Q) Ctrl+A  
選択の切り替え(K) Ctrl+E  
一覧印刷(L)...  
一覧エクスポート(E)...  
最新の情報に更新(R) F5  
大きいアイコン(G)  
小さいアイコン(M)  
一覧(J)  
詳細(X)  
イメージアイコン特大(T)  
イメージアイコン大(B)  
イメージアイコン中(V)  
イメージアイコン小(S)

## ▼[履歴]タブ

## ■履歴ファイル・フォルダーの一覧表示図面ファイル／フォルダー名の上で右クリック

開く(O) Ctrl+O  
アプリケーションから開く(A)  
すべて選択(Q) Ctrl+A  
選択の切り替え(K) Ctrl+E  
印刷(P)... Ctrl+P  
一覧印刷(L)...  
一覧エクスポート(E)...  
コピー(C)  
削除(D)  
最新の情報に更新(R) F5  
大きいアイコン(G)  
小さいアイコン(M)  
一覧(J)  
詳細(X)  
イメージアイコン特大(T)  
イメージアイコン大(B)  
イメージアイコン中(V)  
イメージアイコン小(S)  
プロパティ(I)...  
エクスプローラーを開く

## ■履歴ファイル・フォルダーの一覧表示図面ファイル／フォルダー名の表示されていないところで右クリック

すべて選択(Q) Ctrl+A  
選択の切り替え(K) Ctrl+E  
一覧印刷(L)...  
一覧エクスポート(E)...  
最新の情報に更新(R) F5  
大きいアイコン(G)  
小さいアイコン(M)  
一覧(J)  
詳細(X)  
イメージアイコン特大(T)  
イメージアイコン大(B)  
イメージアイコン中(V)  
イメージアイコン小(S)

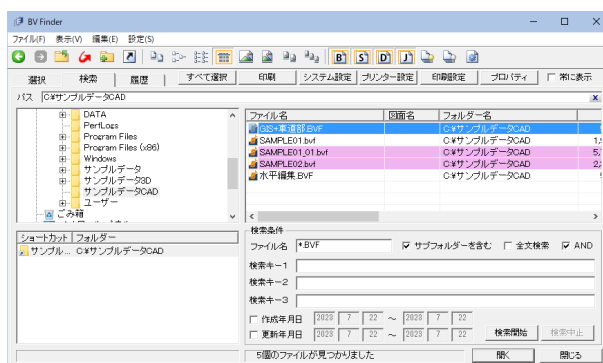
## ファイル(F) → 開く(O)

## BV Finder 上で保存してあるファイルを検索する

「BV Finder」ダイアログボックスで、保存してある各種ファイル(BVF、BVFZ、BVR、BVS、BVP、JWC、JWW、JWK、DAT、DWG、DXF、SFC、SFZ、P21、P2Z、BMP、JPG、PNG、TIF、CG4、DOC、XLS、PPT、PDF、P21、BVX、Stretch)を検索します。BVX はイメージアイコンファイルで、検索して削除することにより、ディスクの容量を確保することができます。

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで[検索]タブをクリックします。ファイル検索用のダイアログボックスが表示されます。
- 2 「パス名」には、現在開いているフォルダーのパスが表示されます。  
「検索」ダイアログボックスは、左側のディレクトリツリー表示と、右側の検索結果の一覧表示に分かれています。
- 3 検索するファイル名、検索文字列などを入力します。
- 4 [検索開始]をクリックすると、入力した検索条件で検索処理が行われます。  
検索条件に合致するファイルが右側の一覧表示内に表示されます。
- 5 いずれかのファイルをクリックし、[開く]をクリックします。  
図面ファイル登録時に読込パスワードおよび書込パスワードを設定してある場合は、パスワード入力用のダイアログボックスが表示されます。  
正しいパスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。

また、同じファイルをネットワーク上で複数のユーザーが編集しようとした場合、他のコンピュータで編集集中であるメッセージが表示されます。読み込み専用で開いてよければ、[OK]をクリックします。製図画面上に指定した図面が読み込まれます。



## &lt;検索条件の入力&gt;

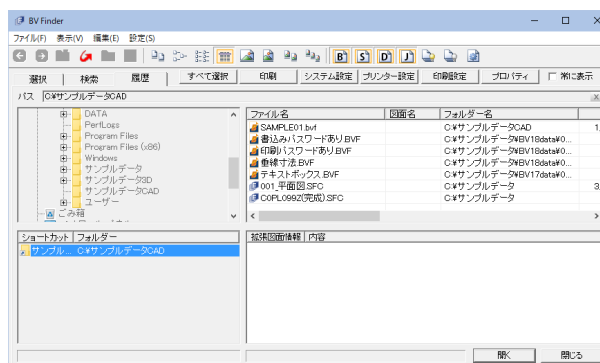
- 「ファイル名」には、検索するファイル名を入力し、「検索キー」には、検索する図面ファイル(BVF)の項目文字列を入力します。  
また、シンボルファイルの場合は、「検索キー」にシンボル名を入力して検索することもできます。  
「ファイル名」には、\*、? のワイルドカードが使用できます。  
「検索キー」は、図面情報に含む文字列を検索します。
- 「\*、\*」と入力した場合には、保存してあるファイルが、すべて検索されます。
- 「作成年月日」には、検索するファイルを作成した日付を入力します。「更新年月日」には、検索するファイルを更新した日付を入力します。どちらの日付もチェックマークをオンにすると、検索条件として有効となります。
- 「サブフォルダーを含む」チェックマークをオンにすると、現在開いているフォルダーの下すべてのサブフォルダーも検索対象となります。
- 「AND」チェックマークをオンにすると、すべての「検索キー」が含まれる文字列を検索します。
- 「全文検索」チェックマークをオンにすると、図面データの文字要素を検索します。

## ファイル(F) → 開く(O)

## 最近開いたファイルを表示する

「BV Finder」ダイアログボックスで、最近使ったファイルの一覧を表示します。最近開いたファイルは、[ファイル]プルダウンメニュー内にも表示されます。

- 1 「BV Finder」ダイアログボックスで、[履歴]タブをクリックします。  
ファイルの最大表示数は 10 ファイルです。  
最近開いたファイルが一覧表示されます。
- 2 [開く]をマウスでクリック、またはファイルをダブルクリックします。製図画面上に指定した図面が読み込まれます。



# 3 図面を閉じる、保存する

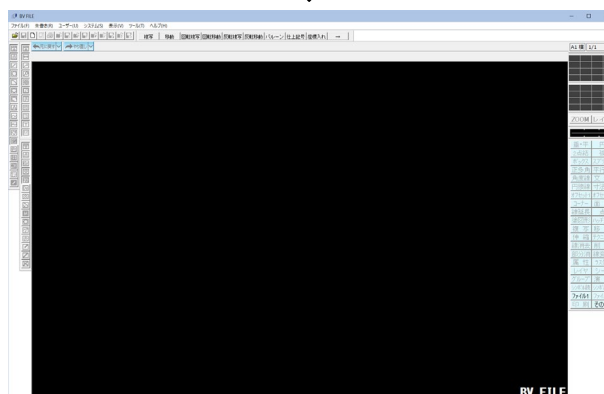
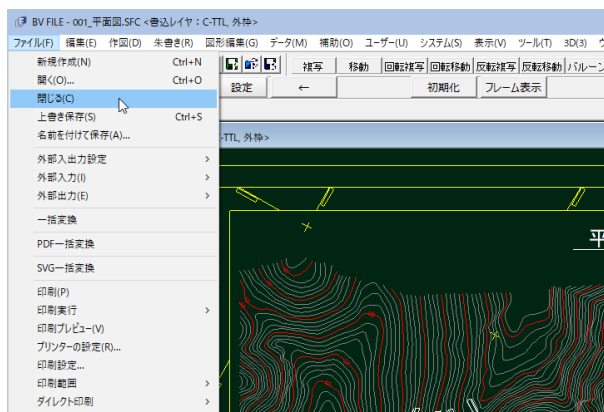
ここでは、図面を保存する方法、CADシステムの終了方法などについて説明します。

## ファイル(F) → 閉じる(C)

### 図面を閉じる

CADシステムを終了せずに作図中の図面を閉じます。

**1** 本コマンドを起動すると、作図中の図面を閉じます。



## ファイル(F) → 上書き保存(S)

### 同じ名前で保存する

作図中の図面を、設定されているファイル名、保存場所、およびファイル形式で保存します。

**1** 本コマンドを起動すると、保存が実行されます。


- ・ ファイル名、保存場所等が設定されていない図面は、ファイル名等の設定を要求してきます。
- ・ 圧縮ファイルを読み込んで上書き保存する場合、そのまま圧縮して保存します。
- ・ 下位バージョンのファイルを開いて上書き保存する際に、レイヤ依存と複数印刷範囲 (BV9 以前)、Z 座標 (BV12 以前) が設定されている場合には、メッセージが表示されます。

## ファイル(F) → 名前を付けて保存(A)

### 作成した図面に名前を付けて保存する


作図中の図面を、指定したファイル名、保存場所、ファイル形式、および図面情報で保存します。

その他のコマンド起動方法


- ツールバーメニュー → 
- ツールボックス (サブメニュー) → [ファイル1] (←[図面登録])
- ツールボックス (ポップアップメニュー) → [ファイル1] (←[図面登録])

- 1 本コマンドを起動すると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

#### ショートカットボタン

「名前を付けて保存」ダイアログボックス左側のショートカットボタン(  )をクリックすると、「ショートカット選択」ダイアログボックスが表示され、一覧内からいずれかのショートカット名を選択して[OK]をクリックすると、選択したショートカットへ表示が切り替わります。

#### 設定ボタン

「名前を付けて保存」ダイアログボックス左側の設定ボタン(  )をクリックすると、「BVF 変換テーブル設定」ダイアログボックスが表示されます。詳しい操作は、本マニュアル[ファイル]→[外部入出力設定]内の、「BVF 変換テーブル設定」の説明を参照ください。

- 2 ファイル名、ファイルの種類、保存先、ファイル形式を指定します。

「保存する場所」ボックスの下向き矢印ボタンをマウスでクリックし、ドロップダウンリストからドライブをマウスでクリックします。

フォルダー（ディレクトリ）とファイル名の一覧表示されたボックスより、保存するフォルダー（ディレクトリ）をマウスでダブルクリックします。

「ファイル名」ボックスにファイル名を入力します。

#### ファイルの種類

ドロップダウンリストよりいずれかのファイル種類を選択します。「BVFZ」を選択すると、BVF ファイルを ZIP 形式で圧縮して保存します (BV14 以降)。

#### ファイル形式

ドロップダウンリストよりいずれかのファイル形式 (BVF) を選択します。以前のバージョンのファイル形式を選択すると赤い文字で注意事項が表示されます。各ファイル形式の制限については「●ファイル形式について」を参照ください。

#### 圧縮

「圧縮」チェックマークをオンにすると、各ファイルを圧縮形式で保存します。

#### イメージ表示

いずれかをドロップダウンリストより選択します。

(「●イメージ表示用の情報の表示カラー指定について」参照)

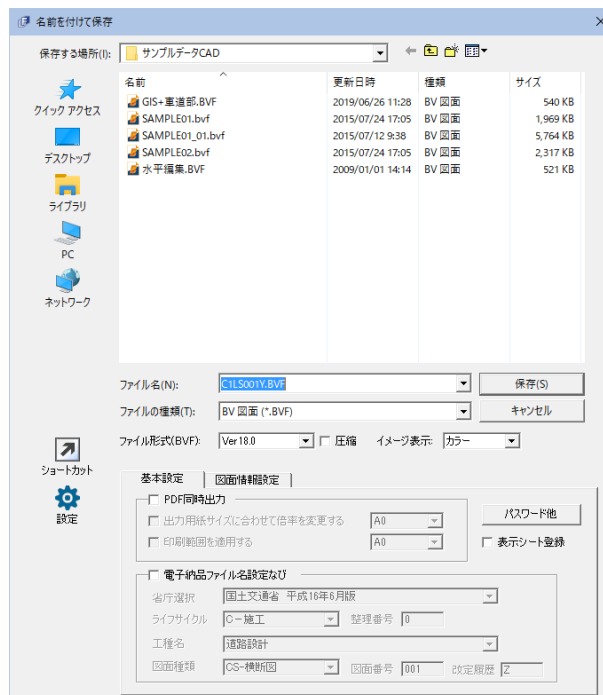
- 3 [基本設定] タブ

「名前を付けて保存」ダイアログボックス下部の「基本設定」タブをクリックして、各種の設定を行います。

#### PDF 同時出力 (オプション)

図面を PDF ファイルに変換して出力します。

「PDF 同時出力」チェックマークをクリックすると、同時出力が実行されるようになります (初期値はオフ)。



### 出力用紙サイズに合わせて倍率を変更する

「出力用紙サイズに合わせて倍率を変更する」チェックマークをオンにすると、ドロップダウンリストより選択した用紙サイズに合わせて倍率を変更して出力します。

### 印刷範囲を適用する

「印刷範囲を適用する」チェックマークをオンにすると、設定された印刷範囲を適用して指定した用紙サイズへ出力が行われます。この設定を有効にすると、「出力用紙サイズに合わせて倍率を変更する」の設定は無効になります。

### パスワード他

「パスワード他」をクリックすると、「パスワード他」ダイアログボックスが表示されます。

読み込みパスワードの[入力]にパスワードを入力します。

次に[確認]にもう一度パスワードを入力します。

同様に[書き込みパスワード]、[印刷パスワード]を入力することができます。

### 表示シート登録

「表示シート登録」チェックマークをオンにすると、表示シート全体の図面データを保存します。ただし、属性の親子関係が表示シート／非表示シートにまたがって設定されている場合、表示シート登録を実行することによって、親子関係は解除されますので、ご注意ください。

### 電子納品ファイル名設定なび

「電子納品ファイル名設定なび」チェックマークをオンにすると、電子納品用のファイル名を補助するようになります。省庁選択、ライフサイクル、整理番号、工種名、図面種類をドロップダウンリストから選択し、図面番号、改訂履歴は入力欄内に入力します。

## 4 [図面情報設定]タブ

「名前を付けて保存」ダイアログボックス下部の「図面情報設定」タブをクリックして、各種の設定を行います。

「タイトル」～「作成者(リカカ)」ボックスには、各種情報を入力します。必要なければ入力を行わなくても結構です。また、各項目名欄をクリックし項目名を修正・変更することもできます。

### 追加数

「追加数」入力欄内に追加する項目の数を入力します。初期値は3です。

### 項目の追加

「追加」をクリックすると、「項目の追加」ダイアログボックスが表示されます。

「項目名」、「内容」入力欄内にそれぞれ入力し、[OK]をクリックすると、項目を追加し「図面情報設定」ダイアログボックスに戻ります。

### 項目の編集

「編集」をクリックすると、「項目の編集」ダイアログボックスが表示されます。

「項目名」、「内容」入力欄内にそれぞれ入力し、[OK]をクリックすると、項目を追加し「図面情報設定」ダイアログボックスに戻ります。

### 項目の削除／全て削除

削除したい項目を選択し、[削除]をクリックすると、削除されます。

[全て削除]をクリックすると、追加した項目すべてを一括削除します。

## 5 [保存]をマウスでクリックすると、保存が実行されます。

- ・圧縮形式を選択した場合、正常に圧縮処理ができない場合には次のメッセージが表示されます。『図面登録時、ファイルの圧縮に失敗しました もう一度保存するか、非圧縮で保存しなおしてください ( 501 ) 』
- ・点群要素は、Ver. 18 以前の BVF 保存の対象外となります。  
Ver. 19 の BVF ファイルを保存すると、点群の内容は拡張子 npd の別ファイルとして保存されます。

## 解 説：図面保存の各種設定について

「名前を付けて保存」ダイアログボックスの各種設定内容について説明します。

### ● ファイル形式について

- Ver 19.0 : 本CADシステム(Ver19.0)のファイル形式です。  
 Ver 19.0 (圧縮) : 本CADシステム(Ver19.0)のファイル形式を圧縮して登録します。  
 Ver 18.0 ~ Ver 8.5 : 本CADシステム旧バージョン(Ver18.0~Ver8.5)のファイル形式です。  
 Ver 18.0 (圧縮) ~ Ver 8.5 (圧縮) : 本CADシステム旧バージョン(Ver18.0~Ver8.5)のファイル形式を圧縮して登録します。  
 BV-X : 本CADシステムの旧バージョン(Ver8.0)ファイル形式です。  
 BV-X (圧縮) : 本CADシステムの旧バージョン(Ver8.0)ファイル形式を圧縮して登録します。  
 BV-O : 本CADシステムの旧バージョン(Ver7.X)のファイル形式です。  
 BV-O (圧縮) : 本CADシステムの旧バージョン(Ver7.X)のファイル形式を圧縮して登録します。  
 BV-L : 本CADシステムの旧バージョン(Ver6)ファイル形式です。  
 BV-L (圧縮) : 本CADシステムの旧バージョン(Ver6)ファイル形式を圧縮して登録します。  
 BV-J : 本CADシステムの旧バージョン(Ver5.5)ファイル形式です。  
 BV-J (圧縮) : 本CADシステムの旧バージョン(Ver5.5)ファイル形式を圧縮して登録します。  
 BV-G : 本CADシステムの旧バージョン(Ver5)ファイル形式です。  
 BV-G (圧縮) : 本CADシステムの旧バージョン(Ver5)ファイル形式を圧縮して登録します。  
 BV-E : 本CADシステムの旧バージョン(Ver4)のファイル形式です。  
 BV-E (圧縮) : 本CADシステムの旧バージョン(Ver4)のファイル形式を圧縮して登録します。  
 BV-C : 旧CADシステム(Ver3)の互換用ファイル形式です。  
 BV-C (圧縮) : 旧CADシステム(Ver3)の互換用ファイル形式を圧縮して登録します。

### ● イメージ表示用の情報の表示カラー指定について

#### カラー

保存した図面を読み込む際の「BV Finder」ダイアログボックスで表示を[イメージアイコン]で行った場合、カラーでイメージが表示されます。

モノクロ指定で保存したファイルよりサイズが大きくなります。

#### モノクロ

保存した図面を読み込む際の「BV Finder」ダイアログボックスで表示を[イメージアイコン]で行った場合、モノクロでイメージが表示されます。

カラー指定で保存したファイルよりサイズが小さくなります。

#### なし

保存した図面を読み込む際の「BV Finder」ダイアログボックスで表示を[イメージアイコン]で行った場合、なにもイメージを表示しません。モノクロ指定で保存したファイルよりサイズが小さくなります。

- ・ Ver. 5.5 のアシスト図面を利用して図面を作成すると、「名前を付けて保存」ダイアログボックスのイメージの設定は必ず「カラー」になります。
- ・ 上書き保存時  
開いている図面のイメージ設定がカラーになっている場合は「名前を付けて保存」ダイアログボックスではイメージは必ずカラーになります。
- ・ 名前を付けて保存時  
イメージがモノクロ・なしの設定であっても初期値のカラーになります。



### ● Ver18.0 として登録する時の制限

点群要素が破棄されます。  
印刷設定の印刷しないレイヤが破棄されます。

### ● Ver17.0 として登録する時の制限

3D メッシュ要素が TIN 要素に変換されます。  
垂線寸法が直線寸法に変換されます。各シートの目盛設定が破棄されます。

### ● Ver16.0 として登録する時の制限

テキストボックス要素が文字・折れ線・塗図形に分解されます。

### ● Ver15.0 として登録する時の制限

「寸法設定」ダイアログボックスの「寸法値」タブにある表示桁「整数十の位」「整数百の位」「整数千の位」が「少数 0 桁」に変換されます。  
図面表題欄のその他 4～10 の値が破棄されます。図面表題欄のその他 1～10 の項目名が破棄されます。  
TIN 要素がグループ図形に変換されます。

### ● Ver14.0 として登録する時の制限

印刷設定のレイヤ単位の線種、線幅設定が破棄されます。  
ラスター、表要素、伸縮図形に設定したマクロ属性が破棄されます。  
塗図形、BMP、JPG に設定したマクロ属性のデータ種類「URL」が「未設定」に変換されます。

### ● Ver13.0 として登録する時の制限

印刷のページ指定が破棄されます。

### ● Ver12.0 として登録する時の制限

要素の Z 座標が破棄されます。寸法線設定の表示桁丸め設定が破棄されます。  
文字設定のフリー文字幅が破棄されます。

### ● Ver11.0 として登録する時の制限

印刷設定の印刷範囲設定が破棄されます。演算設定の表示桁丸め設定が破棄されます。

### ● Ver10.0 として登録する時の制限

対象シートと縮尺・回転角度が異なるサーチシートが表示シートに変換されます。

### ● Ver9.5 として登録する時の制限

印刷設定のレイヤ単位色設定が破棄されます。

### ● Ver9.0 として登録する時の制限

表、伸縮図形は属性図形に変換されます。レイヤ依存情報は個別の線情報に変換されます。  
レイヤ設定は破棄されます。印刷範囲の追加情報は破棄されます。

### ● Ver8.5 として登録する時の制限

「寸法設定」ダイアログボックスの[寸法 1]タブにある、角度記号の設定内容が破棄されます。  
「寸法設定」ダイアログボックスの[寸法 2]タブにある、線幅の設定内容が破棄されます。  
塗図形の塗色を設定するペンコントロールパネルのカレントペンを使用する項目のチェックボックスの内容が破棄されます。面積の単位を「h a」に設定していた場合、破棄されます。



## ● BV-Xとして登録する時の制限

Ver 9. 0に最適化された情報が破棄されます。

## ● BV-Oとして登録する時の制限

印刷ペン設定ダイアログにある適用対象指定ボタンを押して表示されたダイアログにあるチェックボックスの内容が破棄されます。

## ● BV-Lとして登録する時の制限

ターゲット属性にグループが設定されていると属性セット直下のターゲットになります。文字属性も同様です。既定義シンボル要素およびラスター要素の図形名は登録されません。

## ● BV-Jとして登録する時の制限

BV-J のファイルに書き出すときは、表示順の情報が破棄されます。

## ● BV-Gとして登録する時の制限

BV-G のファイルに書き出すときは、属性情報は BV-G 版の属性情報として書き込みます。表示順の情報が破棄されます。

### 要素別の分類

直線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、塗図形、bmp、OLE、ラスター、ダミー点はそのままとします。

<b>Ver19.0</b>	→	<b>BV-G</b>
新属性情報	→	BV-G 版旧属性情報
イメージデータ	→	傾きは 0 度固定になる
グラデーションイメージデータ	→	イメージデータ

## ● BV-Eとして登録する時の制限

BV-E のファイルに書き出すときは新しく追加した要素を直線、円、文字などに分解したものを書き込みます。グループ図形はユーザー属性として、各寸法は各寸法属性として書き込みます。表示順(素示順)の情報が破棄されます。

### 要素別の分類

直線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、塗図形、bmp、OLE はそのままとします。

<b>Ver19.0</b>	→	<b>BV-E</b>
塗りハッチングの透過モード	→	ベタ塗り
表題欄情報	→	情報なし
レイヤコメント	→	レイヤコメントは削除される
参照図面	→	参照図面は削除される
新属性情報	→	BV-E 版旧属性情報

## ● BV-Cとして登録する時の制限

BV-C のファイルに書き出すときは新しく追加した要素を直線、円、文字などに分解したものを書き込みます。グループ図形はユーザー属性として、各寸法は各寸法属性として書き込みます。表示順(素示順)の情報が破棄されます。

### 要素別の分類

直線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、塗図形、bmp、OLE、ラスター、ダミー点はそのままとします。

<b>Ver19.0</b>	→	<b>BV-C</b>
新属性図形	→	旧属性図形
新グループ図形	→	旧属性図形の属性値なし
新寸法線	→	旧寸法線
新ハッチンググループ図形	→	旧属性図形グループ
新グループ図形	→	旧属性図形グループ

新ハッチング	→	旧属性図形グループ
新実点	→	ダミー点
折線	→	直線
スプライン	→	旧スプライン
円弧上配置文字	→	文字
塗りハッチングの透過モード	→	ベタ塗り
表題欄情報	→	情報なし
レイヤコメント	→	レイヤコメントは削除される
参照図面	→	参照図面は削除される

#### 保存時の警告

既存図面を変更後にファイルタイプを変更すると、注意のメッセージが表示されます。  
B V - C 以前の旧データ形式の既存図面を変更した場合も同様です。

**ファイル(F) → <アプリケーション名の>終了(X)**

### CADシステムを終了する

CADシステムを終了します。

#### その他のコマンド起動方法

■ ツールボックス（サブメニュー） → [ファイル1] (←[CAD 終了])

■ ツールボックス（ポップアップメニュー） → [ファイル1] (←[CAD 終了])

**1** 本コマンドを起動すると、ログインしたユーザー名で、現在のメニュー表示状態、ウィンドウのサイズ等を保存し、CADシステムを終了します。

**2** 次回、同じユーザー名でログインすると、保存された環境でCADシステムを起動します。

# 4 システム設定を行う

ツール(T) → システム設定 ▶ 起動・フォルダー・ログ

## 起動・フォルダー・ログの設定を行う

図面管理

万が一、電源が落ちた場合などのために、図面データを保護するために定期的に非常登録します。その時間を分単位で設定し、保存するフォルダーを指定します。時間を「なし」に設定すると、非常登録は行われません。また、各種処理を行う際、一時的にデータを保存する作業用フォルダーの指定を行うことができます。さらに、BVF (BV-C)、BVS (BV-C)、BVP (BV-C)を読み込んだ際のログファイル(線種・線色・線幅の各名称が自動変更されたもの)の出力設定や、バックアップファイル設定を行うことができます。

- 1 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「起動・フォルダー・ログ」タブをクリックすると、「システム設定(起動・フォルダー・ログ)」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

### 起動時の設定

「簡易排他制御」チェックマークをクリックすると、簡易排他制御が設定されます。その図面ファイルをネットワーク上で複数のユーザーが編集しようとした場合、他のコンピュータで編集中等であるメッセージが表示されます。読み込み専用で開いてよければ、[OK]をクリックします。

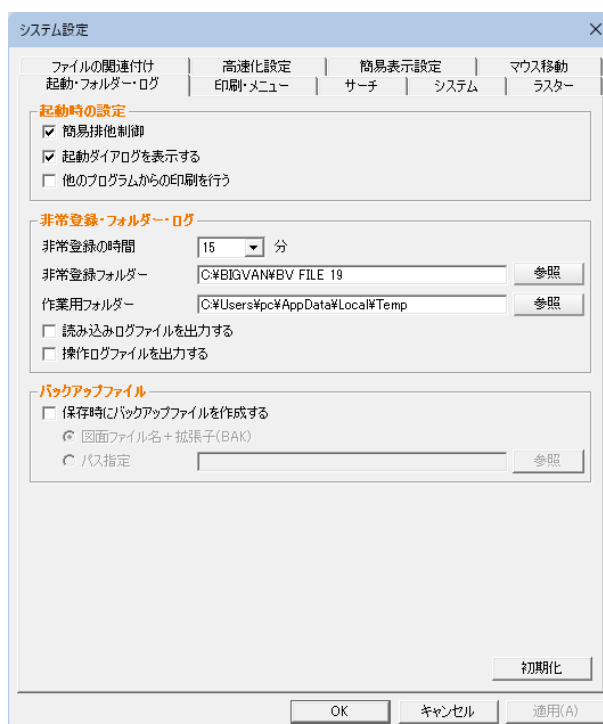
「起動ダイアログを表示する」チェックマークをオンにすると、「起動設定」ダイアログボックスが起動時に表示されます。「他のプログラムからの印刷を行う」チェックマークをオンにすると、エクスプローラーの右クリックの印刷が使用可能になります。

### 非常登録・フォルダー・ログ

非常登録の時間の▼をクリックし、ドロップダウンリストより時間を選択します。「なし」に設定すると、非常登録を実行しません。「非常登録するフォルダー」のテキストボックス内をマウスでクリックし、パス名を入力します。また、[参照]をクリックし、「フォルダーの参照」ダイアログボックスからフォルダーを選択してパスを表示させることもできます。「作業用フォルダー」のテキストボックス内をマウスでクリックし、パス名を入力します。また、[参照]をクリックし「フォルダーの参照」ダイアログボックスからフォルダーを選択してパスを表示させることもできます。

「読み込みログファイルを出力する」チェックマークをオンにすると、ログファイル(線種・線色・線幅の各名称が自動変更されたもの)を出力します。ログファイルは、ファイル名がBVCL0G.TXTで、作業用フォルダー内に出力されます。

「操作ログファイルを出力する」チェックマークをオンにすると、作業フォルダーに、CAD 起動～終了までの操作ログが出力されます。ファイル名はBVOPELOG.TXTでログ内容は ” 時間 ” + “メニューID 名” + “Seen 番号” です。初期状態はオフです。



- 非常登録は、15 分に設定されている場合、15 分以上同じ操作(コマンド)を実行した後に別の操作(コマンド)に切り替わった時に非常登録されます。同じ操作を 15 分以上続けていても非常登録はされませんのでご注意ください。

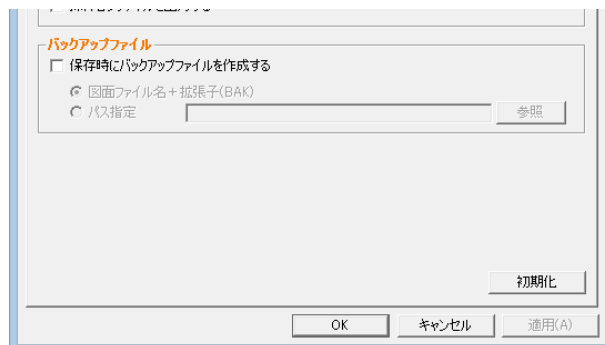
## バックアップファイル

「保存時にバックアップファイルを作成する」をオンにした場合、図面を上書き保存する際に、編集前の図面を同じパスまたは、指定したパス内にバックアップファイルを保存することができます。間違えて上書き保存した場合はこのファイルより戻す事ができます。

図面ファイル名の入力方法の選択が可能となりますので、いずれかのラジオボタンをクリックして選択してください。

「図面ファイル+拡張子(BAK)」で選択した場合、図面ファイル名に拡張子「.BAK」が付加されます。

「パス指定」を選択した場合、[参照]をクリックすると「バックアップファイル名設定」ダイアログボックスが表示されますので、ファイル名の指定を行います。設定後は、パスが「システム設定(起動・フォルダー・ログ)」ダイアログボックス内に表示されます。変更する場合は、[設定]をクリックしてパスを指定してください。



## 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

### ・ 編集中に非常登録を行う

日本語メニューツールボックス内のいずれかのメニューをクリックし、編集を行っている時に Shift+左クリックを押すと、非常登録を行います。非常登録の対象は変更されているすべての図面となります。

## ツール(T) → システム設定 ▶ 印刷・メニュー

## 印刷・メニューの設定を行う

印刷実行時の各種設定、および用紙を垂直水平の基準とするメニューの選択を行います。

- 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「印刷・メニュー」タブをクリックすると、「システム設定(印刷・メニュー)」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

## 印刷設定

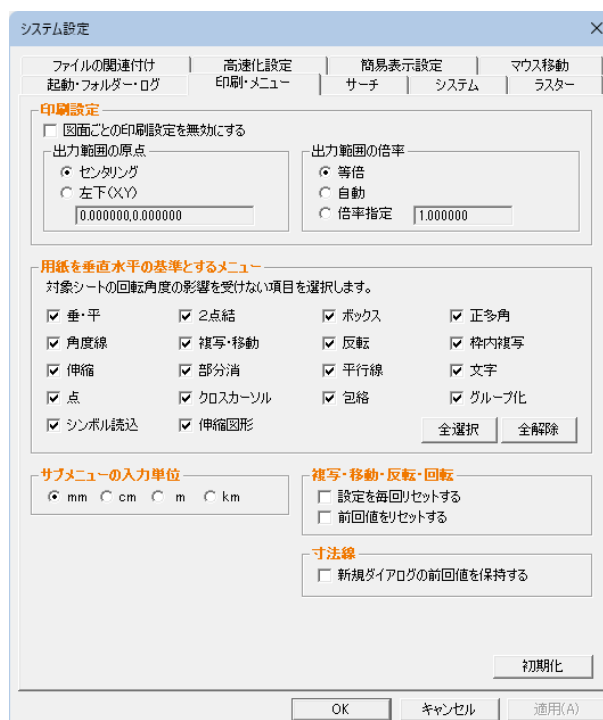
「図面ごとの設定を無効にする」チェックマークをオンにすると、出力範囲の原点および倍率の設定を、図面ごとではなく、このダイアログボックス上で設定したものにします。(初期状態はオフです)

「出力範囲の原点」を、「センタリング」、「左下」のいずれかのラジオボタンをクリックして選択します。「左下」を選択した場合は、製図範囲の左下端からの距離をテキストボックス内に原寸で入力します。

「出力範囲の倍率」を、「等倍」、「自動」、「倍率指定」のいずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

「等倍」は、設定した出力範囲の大きさで、「自動」は用紙全体が印刷範囲に指定されます。

「倍率指定」の場合は倍率をテキストボックス内に入力します。



### 用紙を垂直水平の基準とするメニュー

各種の作図処理には、垂直・水平方向の座標を用紙（角度なし）にする設定が可能です。チェックマークをオンにすると、その処理は用紙を垂直・水平の基準とします。

#### 【全選択】／【全解除】

表示中の項目すべてのチェックマークをオン、またはオフにします。

### サブメニューの入力単位

サブメニューの入力単位を設定することができます。初期状態はmmです。この設定値はシステム終了後も維持されます。

**用紙を垂直水平の基準とするメニュー**  
対象シートの回転角度の影響を受けない項目を選択します。

<input checked="" type="checkbox"/> 垂・平	<input checked="" type="checkbox"/> 2点結	<input checked="" type="checkbox"/> ボックス	<input checked="" type="checkbox"/> 正多角
<input checked="" type="checkbox"/> 角度線	<input checked="" type="checkbox"/> 複写・移動	<input checked="" type="checkbox"/> 反転	<input checked="" type="checkbox"/> 枠内複写
<input checked="" type="checkbox"/> 伸縮	<input checked="" type="checkbox"/> 部分消	<input checked="" type="checkbox"/> 平行線	<input checked="" type="checkbox"/> 文字
<input checked="" type="checkbox"/> 点	<input checked="" type="checkbox"/> クロスカーソル	<input checked="" type="checkbox"/> 包絡	<input checked="" type="checkbox"/> グループ化
<input checked="" type="checkbox"/> シンボル誘込	<input checked="" type="checkbox"/> 伸縮図形		

全選択 全解除

**サブメニューの入力単位**  
mm cm m km

**複写・移動・反転・回転**  
☐ 設定を毎回リセットする  
☐ 前回値をリセットする

**寸法線**  
☐ 新規ダイアログの前回値を保持する

### 複写・移動・反転・回転

#### 設定を毎回リセットする

「設定を毎回リセットする」チェックマークをオンにすると、

- ・複写の倍率、傾き、連続
- ・移動の倍率、傾き
- ・反転の垂直軸、水平軸、対象線（寸法値反転ON/OFF）の項目が1度処理を実行するたびに初期化されます。反転の軸の設定は垂直軸に設定されます。

#### 前回値をリセットする

「前回値をリセットする」チェックマークをオンにすると、移動・複写・反転・回転処理で倍率、傾きを入力した場合、前回値をクリアします。

- ・「前回値をリセットする」がオンの場合、「設定を毎回リセット」を選択することはできません。

**複写・移動・反転・回転**

☐ 設定を毎回リセットする  
☐ 前回値をリセットする

### 寸法線

#### 新規ダイアログの前回値を保持する

「新規ダイアログの前回値を保持する」チェックマークをオンにすると、寸法を新規に作図する際に表示されるダイアログの前回値を保持します。

#### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

**寸法線**

☐ 新規ダイアログの前回値を保持する

- すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

## サーチの設定を行う

各種作図コマンドの共通する設定を一括して行うことができます。

- 1 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「サーチ」タブをクリックすると、「システム設定(サーチ)」ダイアログボックスが表示されます。

各種設定を行います。

### サーチ半径

サーチ半径をいずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

#### 起動時の画面サイズに合わせて自動設定

「起動時の画面サイズに合わせて自動設定」を選択すると、本システムが起動したときの「ディスプレイ解像度の横方向／80」がサーチ範囲となります。

#### 手動設定

「手動設定」を選択し「ドット」入力欄内にドット数を入力すると、マウスでウィンドウ内のデータ（直線・円弧・文字・点等）をサーチする範囲が設定されます。

### サーチ設定

対象シートと異なる設定のシートを、サーチシートとして使用可能にする

「対象シートと異なる設定のシートを、サーチシートとして使用可能にする」チェックマークをオンにすると、対象シートと縮尺・回転角度が異なるシートも、サーチシートとして使用可能にします（初期状態はオフです）。ただし、縦横異縮尺のシートは例外とします。

#### サーチ表示の点滅時間

「サーチ表示の点滅時間」のテキストボックスをクリックし、入力します。データをサーチしたときに赤表示する時間を設定します。数値が大きいくほど長い時間赤表示します。単位は1000分の1秒です。

#### 選択サーチモードを使用する

「選択サーチモードを使用する」チェックマークをオンにすると、作図処理などで要素をサーチした時、サーチした順に候補を明示し選択サーチ確認ウィンドウが表示されるようになります。対象要素の場合は「はい」を、対象外の場合は「いいえ」をクリックします。（初期状態はオフです）

#### メニュー終了時に要素の選択を解除する

「メニュー終了時に要素の選択を解除する（Ver5.5形式）」チェックマークをオンにすると、

- 以下の関連メニューにおいて、メニュー切替時に要素の選択状態が解除されます。
- 複写／複写、回転、反転メニューでは、複写元の図形が選択状態となります。

チェックマークをオフにすると、

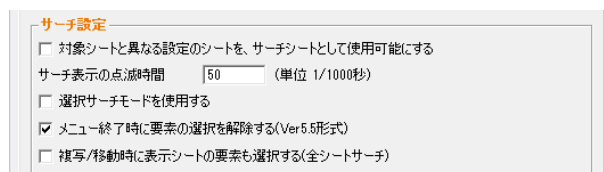
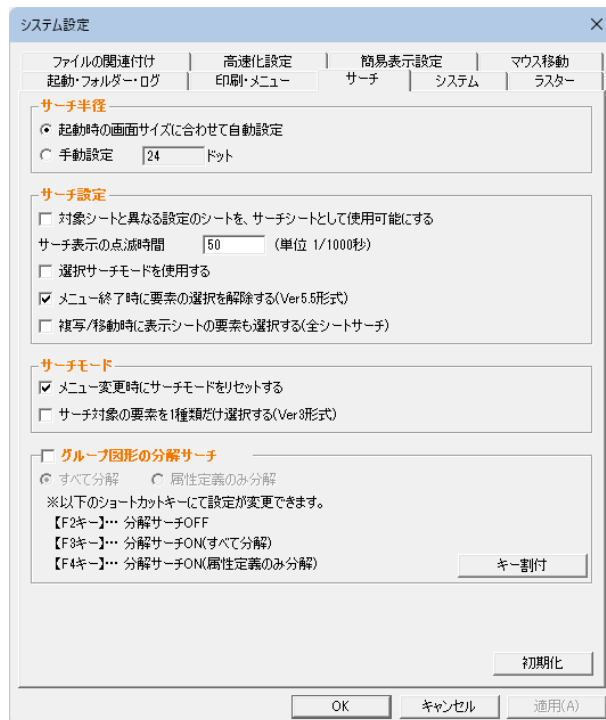
- グループ化保持となります。
- 複写／複写、回転、反転メニューでは、複写先の図形が選択状態となります。

（初期状態はオンです）

#### 複写／移動時に表示シートの要素も選択する

「複写／移動時に表示シートの要素も選択する（全シートサーチ）」チェックマークをオンにすると、

- 複写／移動コマンド時のグループ化で、非表示シート以外



の要素がサーチ可能になります。

- ・チェックマークオフの場合は、対象シートと縮尺が違うシートはサーチ対象外になります(初期状態はオフです)。

### サーチモード

#### メニュー変更時にサーチモードをリセットする

「メニュー変更時にサーチモードをリセットする」のチェックマークをオンにする事により、メニューを実行中にサーチモードを変更した場合は、そのメニューで行っていた処理を終了すると、全サーチ(すべての要素をサーチする)モードに戻ります。(初期状態はオンです)

#### サーチ対象の要素を1種類だけ選択する(Ver3形式)

「サーチ対象の要素を1種類だけ選択する(Ver3形式)」チェックマークをオンにすると、Ver3時のサーチモードツールバーの動作をします。単一要素のサーチ設定が可能です。チェックマークがオフの場合は、Ver4以降のサーチモードツールバーの動作をします。複数要素のサーチ設定が可能です(初期状態はオフです)。

### グループ図形の分解サーチ

「グループ図形の分解サーチ」チェックマークをオンにすると、「すべて分解」または「属性定義のみ分解」はラジオボタンをクリックして選択することができます。グループ図形に設定された要素でも、1要素単位でサーチして編集することができます(初期状態はオフです)。

- ・グループ図形の分解サーチ ON の状態でも、属性の全メニュー、グループの全メニュー、演算/データ内容、シート/シート移動、レイヤ/レイヤ移動のメニューでは以前と同じグループ図形単位でのサーチとなります。
- ・またグループ図形の分解サーチ中に名前を付けて保存や上書き保存、外部出力などをおこなった場合には、分解したグループ図形を復元し、現在実行中のメニューを中断してから保存および外部出力されます。

また、以下のショートカットキーにて設定方法が変更できます。

F 2キー：分解サーチ OFF

F 3キー：分解サーチ ON(すべて分解)

F 4キー：分解サーチ ON(属性定義のみ分解)

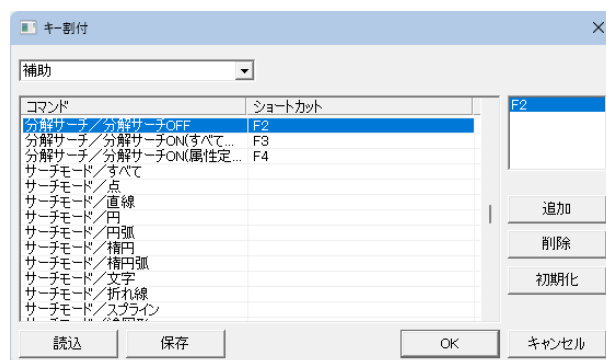
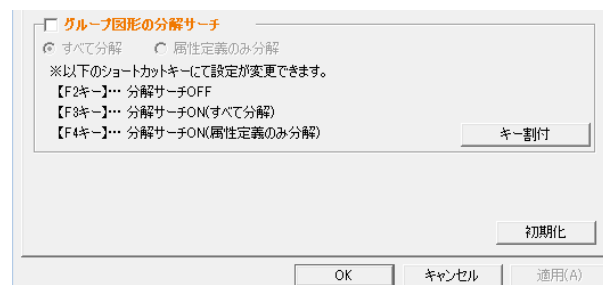
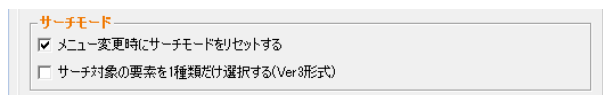
#### 分解サーチのキー割り付け

[キー割付]をクリックすると「キー割付」ダイアログボックスが表示されます。F2、F3、F4以外の任意のキーに割り当てることができます。また、分解サーチ OFF、分解サーチ ON(すべて分解)、分解サーチ ON(属性定義のみ分解)は、[補助]のプルダウンメニューからも切り替えることができます。

#### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2 すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。





## システムの各種設定を行う

システムの各種設定を一括して行うことができます。

- 1 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「システム」タブをクリックすると、「システム設定(システム)」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

### 拡大／縮小

#### 倍率

Page up キー（拡大）、または Page Down キー（縮小）、マウスホイールによる拡大縮小時の倍率を指定します。

「倍率」のドロップダウンリストより、倍率をクリックして表示させます。初期状態は 125% です。

#### マウス拡大モードを使用する

「マウス拡大モードを使用する」チェックマークをオンにした場合、図面ウィンドウ内でマウス両ボタンによる各種の拡大表示が行えるようになります（初期状態はオンです）。

**マウスホイール/キー拡大時、マウス位置を画面中央とする**  
「マウスホイール/キー拡大時、マウス位置を画面中央とする (Ver4 形式)」のチェックマークをオンにした場合、マウス位置を画面中央に移動して拡大/縮小します（初期状態はオフです）。

### 表示

#### 背景色と同じ色を反転する

「背景色と同じ色を反転する」チェックマークをオンにした場合、背景色と同じ色は反転表示されます（初期状態はオンです）。

#### Area\_Control の非表示の枠線を表示する

「Area\_Control の非表示の枠線を表示する」チェックマークをオンにした場合、タイルハッチングの「AreaControl」で作図または枠線のみを塗り図形を枠線非表示で作図した枠線が表示されます。ただし、チェックマークがオンでも印刷はされません（初期状態はオフです）。

枠線を表示する場合、表示するペンを指定することができます。

[枠線設定] をクリックすると「AreaControl 表示ペン設定」ダイアログボックスが表示されます。

線種、線色、線幅を選択し、[OK] をクリックすると「システム設定(システム)」ダイアログボックスに戻ります。

#### 色ごとに表示/非表示を設定する

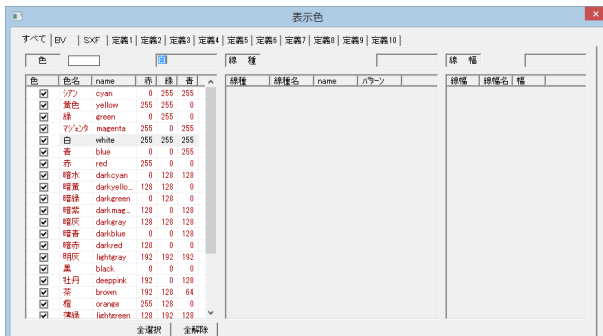
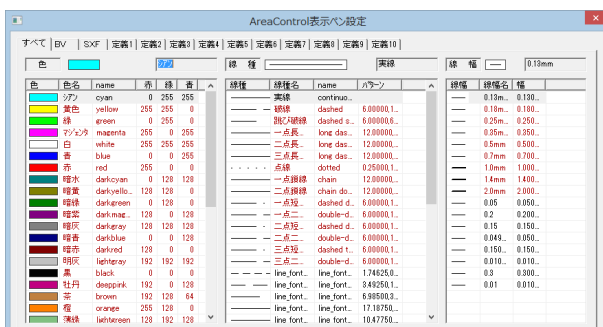
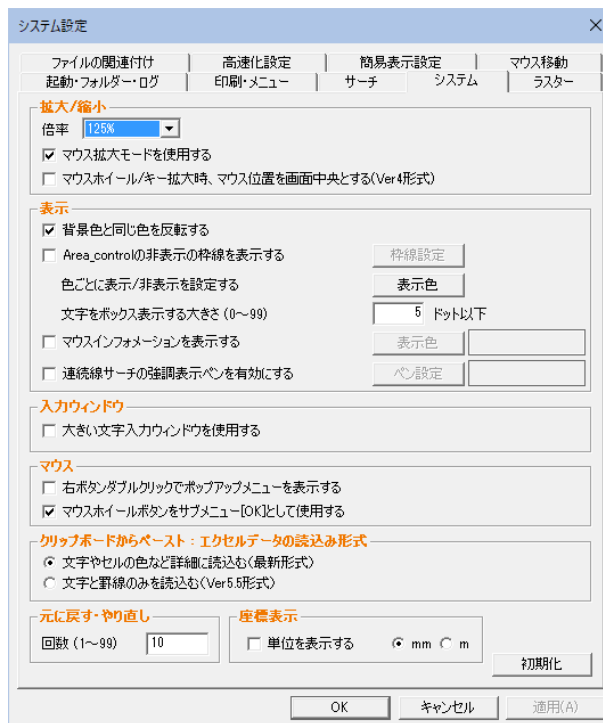
「色ごとに表示/非表示を設定する」の[表示色] をクリックすると「表示色」ダイアログボックスが表示されます。

チェックマークにより色を選択します。

#### [全選択] / [全解除]

表示中の項目すべてのチェックマークをオン、またはオフにします。

「表示色」ダイアログボックスで [OK] をクリックすると、「システム設定(システム)」ダイアログボックスに戻ります。





## 文字をボックス表示する大きさ

文字をボックス表示する大きさをドット数で入力します。最大数は 99 です。

## マウスインフォメーションを表示する

「マウスインフォメーションを表示する」チェックマークをオンにすると、各コマンド実行時に、サブメニューの文字をマウスカーソル横に表示します。[表示色]をクリックすると「インフォメーション色」ダイアログボックスが表示されます。「インフォメーション色」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、「システム設定(システム)」ダイアログボックスに戻ります(初期状態はオフです)。

## 連続線サーチの強調表示ペンを有効にする

各コマンド(塗図形、ハッチング、ラスタ/グラデーション、点/等間隔、演算/道のり、演算/面積、演算/断面性能)の連続線サーチ時の要素表示の線色・線幅が設定できます。「連続線サーチの強調表示ペンを有効にする」チェックマークをオンにして、[ペン設定]をクリックすると「連続線サーチの強調表示ペン」ダイアログボックスが表示されます。色と線幅を設定し、[OK]をクリックすると、「システム設定(システム)」ダイアログボックスに戻ります(初期状態はオフです)。なお、線幅については連続線サーチ中は指定した線幅で表示する為に、「線幅を細くする」は無効になります。

## 入力ウィンドウ

### 大きい文字入力ウィンドウを使用する

「大きい文字入力ウィンドウを使用する」チェックマークをオンにすると、文字入力欄を大きく表示します(初期状態はオフです)。

## マウス

### 右ボタンクリックでポップアップメニューを表示する

「右ボタンクリックでポップアップメニューを表示する」チェックマークをオンにすると、図面ウィンドウ内でマウス右ボタンをダブルクリックすると、ポップアップメニューが表示されます(初期状態はオフです)。

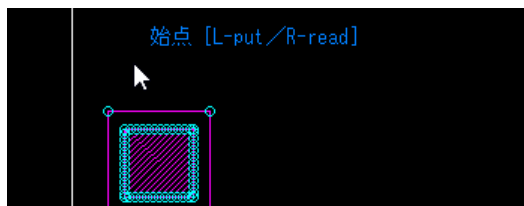
### マウスホイールボタンをサブメニュー[OK]として使用する

「マウスホイールボタンをサブメニュー[OK]として使用する」チェックマークをオンにした場合、マウスホイールボタンを押すとOK処理が実行されます。チェックが付いていない場合には、OK処理は実行されません。初期状態はオンで、CADシステムを終了しても変更を保持します。

文字をボックス表示する大きさ (0~99)  ドット以下

☐ マウスインフォメーションを表示する

☐ 連続線サーチの強調表示ペンを有効にする



文字をボックス表示する大きさ (0~99)  ドット以下

☐ マウスインフォメーションを表示する

☒ 連続線サーチの強調表示ペンを有効にする

連続線サーチの強調表示ペン

すべて | BV | SXF | 定義1 | 定義2 | 定義3 | 定義4 | 定義5 | 定義6 | 定義7 | 定義8 | 定義9 | 定義10 |

色	色名	name	赤	緑	青	線種	線名	name	ハッチ	線幅	線幅名	値
シアン	cyan	0	255	255	0	---	0.13mm	0.13000		---	0.13mm	0.13000
黄色	yellow	255	255	0	0	---	0.18mm	0.18000		---	0.18mm	0.18000
緑	green	0	255	0	0	---	0.25mm	0.25000		---	0.25mm	0.25000
マゼンタ	magenta	255	0	255	0	---	0.35mm	0.35000		---	0.35mm	0.35000
白	white	255	255	255	0	---	0.5mm	0.50000		---	0.5mm	0.50000
青	blue	0	0	255	0	---	0.7mm	0.70000		---	0.7mm	0.70000
赤	red	255	0	0	0	---	1.0mm	1.00000		---	1.0mm	1.00000
暗水	darkcy...	0	128	128	0	---	1.4mm	1.40000		---	1.4mm	1.40000
暗黄	darkyel...	128	128	0	0	---	2.0mm	2.00000		---	2.0mm	2.00000
暗緑	darkgre...	0	128	0	0	---	0.01	0.01000		---	0.01	0.01000
暗紫	darkma...	128	0	128	0	---	0.05	0.05000		---	0.05	0.05000
暗灰	darkgray	128	128	128	0	---	0.2	0.20000		---	0.2	0.20000
暗青	darkblue	0	0	128	0	---	0.15	0.15000		---	0.15	0.15000
暗赤	darkred	128	0	0	0	---	0.30	0.30000		---	0.30	0.30000
明灰	lightgray	192	192	192	0	---	1.70mm	1.70000		---	1.70mm	1.70000
黒	black	0	0	0	0	---	0.05	0.05000		---	0.05	0.05000
牡丹	deeppink	192	0	128	0	---				---		
茶	brown	192	128	64		---				---		

### 入力ウィンドウ

☐ 大きい文字入力ウィンドウを使用する

### ▼「大きい文字入力ウィンドウを使用する」チェックマークオフ

水平

あああ

文字スタイル

高さ   色 ☐ 白

間隔  幅  フォント  ☐ イタリック

### ▼「大きい文字入力ウィンドウを使用する」チェックマークオン

水平

あああ

文字スタイル

高さ   色 ☐ 白

間隔  幅  フォント  ☐ イタリック

### マウス

☐ 右ボタンダブルクリックでポップアップメニューを表示する

☒ マウスホイールボタンをサブメニュー[OK]として使用する

## クリップボードからペースト：エクセルデータの読み込み形式

編集/クリップボードからペースト時に“表として貼り付け”の処理方法を、いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

### 最新形式で読み込む

「文字やセルの色など詳細に読み込む(最新形式)」を選択した場合、Ver6以降の形式で行われます。

### Ver5.5形式で読み込む

「文字と罫線のみを読み込む(Ver5.5形式)」を選択した場合、Ver5.5形式(文字幅に応じて罫線の幅が変化します＝フィット)で読み込みます。

#### クリップボードからペースト：エクセルデータの読み込み形式

- ☒ 文字やセルの色など詳細に読み込む(最新形式)
- ☐ 文字と罫線のみを読み込む(Ver5.5形式)

## 元に戻す・やり直し

[元に戻す]、[やり直し]の回数を指定します。最大数は99です。

### 座標表示

「単位を表示する」チェックマークをオンにすると、単位を表示します。「mm」、「m」いずれかのラジオボタンをクリックして単位を選択します。

### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

<b>元に戻す・やり直し</b>		<b>座標表示</b>		
回数 (1~99)	<input type="text" value="10"/>	<input type="checkbox"/> 単位を表示する	<input checked="" type="radio"/> mm <input type="radio"/> m	<input type="button" value="初期化"/>
<input type="button" value="OK"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>		<input type="button" value="適用(A)"/>

- 2 すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

## ラスターの設定を行う

ラスター処理の各種設定を一括して行うことができます。

- 1 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「ラスター」タブをクリックすると、「システム設定(ラスター)」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

### モノクロラスター

#### グレースケール表示

「グレースケール表示」チェックマークをオンにすると、モノクロのラスターデータが（既存図面ファイル内のラスターデータも）グレースケールにて表示されます。

本システムをインストールした直後の初期状態では、本設定はオンです。（グレースケールの濃さ＝「5」）

#### 表示の濃さ

「表示の濃さ」のいずれかのラジオボタンをクリックします。

### カラーラスター

#### 表示の明るさ

「表示の明るさ」のいずれかのラジオボタンをクリックします。

#### スナップのしきい値

カラーラスターをスナップする場合は、どの色をデータ色と扱うのか、「しきい値」によって設定します。

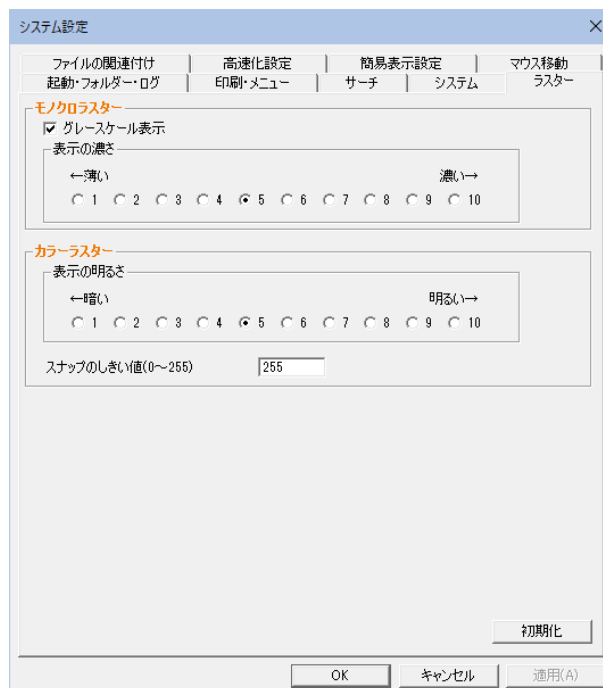
「しきい値」入力欄内に数値を入力します。しきい値が大きいほど薄い色のスナップになりますが、希望する位置がスナップできない場合があります。

#### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2 すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

- ・図面ファイルを保存すると、ラスターデータの配置位置と大きさは、オプションなしの状態と同じ設定で保存されます。



## ツール(T) → システム設定 ▶ ファイルの関連付け

## ファイルの種類を選択する

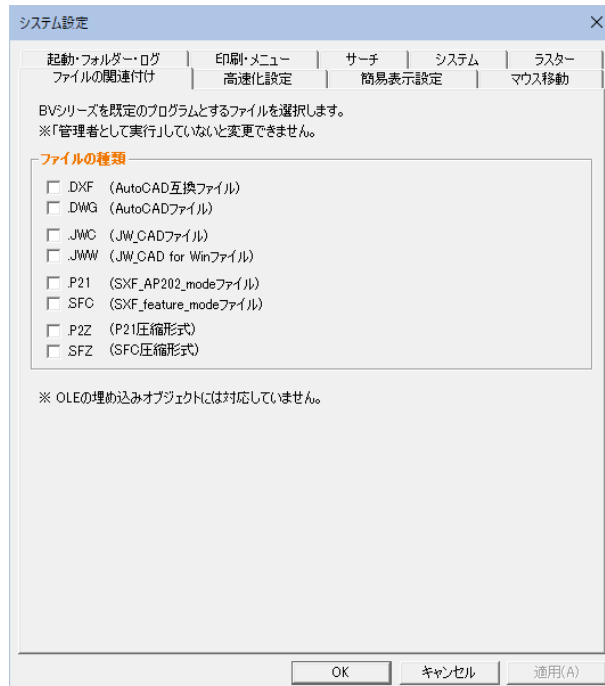
本システムを既定のプログラムとするファイルを選択します。システムを管理者として起動した場合のみ設定することができます。

- 1 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「ファイルの関連付け」タブをクリックすると、「システム設定(ファイルの関連付け)」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

## ファイルの種類

「ファイルの種類」の各種ファイルのチェックマークをオンにすると、本システムを既定のプログラムとするファイルとして選択されます。

- 2 すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。



## ツール(T) → システム設定 ▶ 高速化設定

## 処理の高速化を設定する

本システムの処理を高速化するための各種設定を行います。

- 1 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「高速化設定」タブをクリックすると、「システム設定(高速化設定)」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

## 高速化の種類

「高速化の種類」の各種処理のいずれかのラジオボタンをオンにすると、選択した処理で高速化処理が行われます。

## 詳細設定項目を表示する

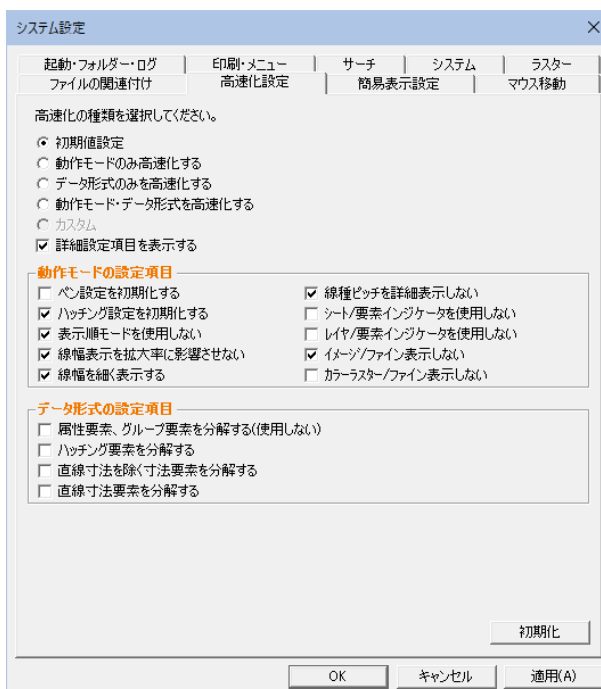
「詳細設定項目を表示する」チェックマークをオンにすると、詳細設定項目が表示されます。初期状態はオフです。

## 動作モードの設定項目（詳細設定項目 ON 時）

各種の項目のチェックマークをオンにすると、選択した各種の内容で高速化処理が行われます。

「ペン設定を初期化する」チェックマークをオンにすると、起動時にハッチングのパターン2設定およびタイル設定を初期値に戻します(初期状態はオフです)。

「表示順モードを使用しない」チェックマークをオンにすると、表示順モードを使用しません。要素数が多く拡大・縮小または再表示において時間がかかる場合、チェックマークをオン



にする事で解消されます。ただし、このチェックボックスのオン・オフを変更しても、有効になるのは次回CAD起動時からです。変更後、CADを終了せずにこのメニューを再度起動した場合は前回変更した内容ではなく、現在の設定内容となります。

「線幅表示を拡大率に影響させない」チェックマークをオンにした場合、画面表示の線幅を拡大率に依存せずに固定するモードになります。また、「線幅を細く表示する」チェックマークをオンにすると、画面表示の拡大率に依存せず太い線幅でも細く表示します(初期状態はオンです)。「イメージ/ファイン表示しない」チェックマークをオンにした場合、図面上に貼り付けた BMP ファイルを詳細表示しません。「カラーラスタ/ファイン表示しない」チェックマークをオンにした場合、図面上に貼り付けたカラーラスタファイルを詳細表示しません。

### データ形式の設定項目

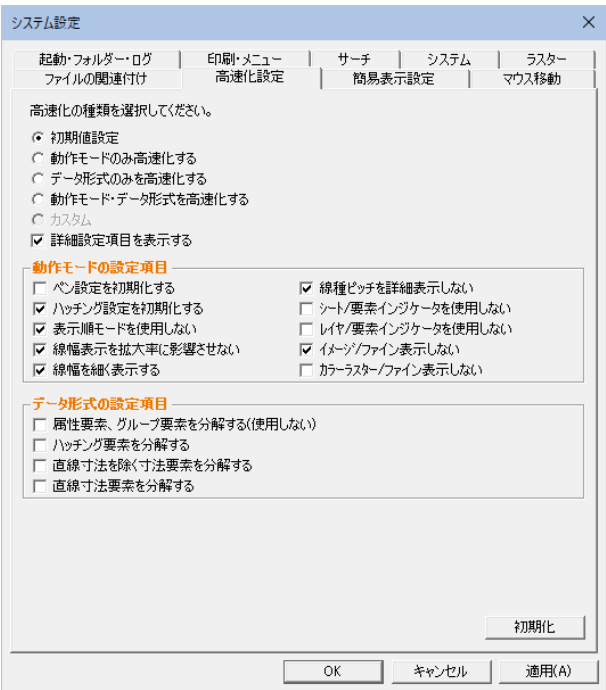
各種の項目のチェックマークをオンにすると、選択した各種の内容で高速化処理が行われます。

#### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- ・「ペン設定を初期化」チェックマークをオンにすると、CADシステムを次に起動する際に、ユーザー定義した各種のペン種および各定義タブに設定した定義グループをクリアし、システムの初期状態に戻します。
- ・次回も同様の各種定義を使用する場合は、「ペン設定を初期化」チェックマークをオフにしてください。

**2** すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。システムを再起動すると、現在設定した変更内容を有効にします。



## 解 説：線種詳細表示の短区間表現

高速化設定の「線種ピッチを詳細表示しない」OFF の場合、線種パターンの定義よりも短い線であっても線種表現が可能です。各線種パターンとは次のように実線部で終わるようにすることです。

- 点線： ...
- 破線： — —
- 一点鎖線、二点鎖線、三点鎖線： — — • — —
- 一点二短鎖線、二点二短鎖線、三点二短鎖線： — — — — • — —

## ツール(T) → システム設定 ▶ 簡易表示設定

## 簡易表示する要素を設定する

製図画面上で TAB キーを押しながら図面の再描画やズームを実行すると、簡易表示になります。簡易表示中は要素を一定のペンで作画するので、図面の描画が高速化されます。簡易表示するペンや表示要素を指定します。

- 1 本コマンドを起動、または「システム設定」ダイアログボックスで「簡易表示設定」タブをクリックすると、「システム設定（簡易表示設定）」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

## 表示する要素

チェックマークをオンにした要素が簡易表示の要素となります。

[全選択]をクリックすると、すべての要素のチェックマークがオンになります。

[全解除]をクリックすると、すべての要素のチェックマークがオフになります。

ただし、全てをオフにした状態の設定はできません。

## 表示ペン

簡易表示する時のペンの種類を設定します。

現在のペン種が表示されます。

## 表示ペンの設定

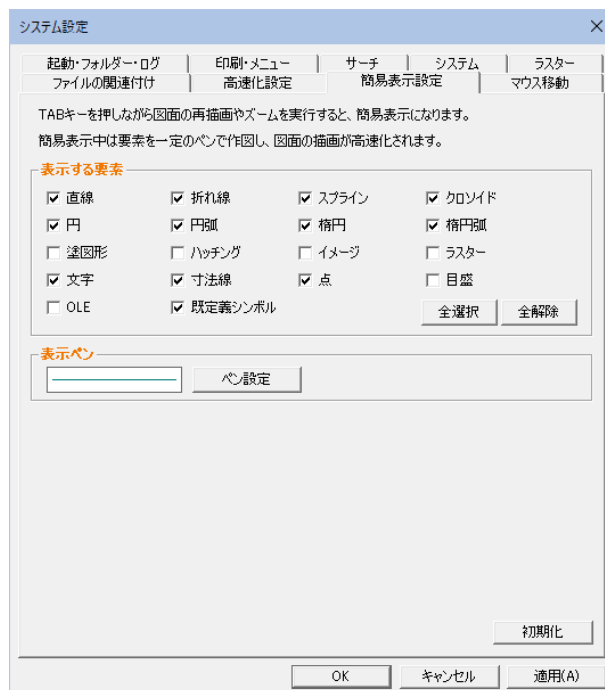
[ペン設定]をクリックすると、「簡易表示の表示ペン」ダイアログボックスが表示されます。

線種、線色、線幅を選択し、[OK]をクリックします。「簡易表示設定」ダイアログボックスに戻ります。

## 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2 すべての設定が終了したら、[OK]をクリックします。

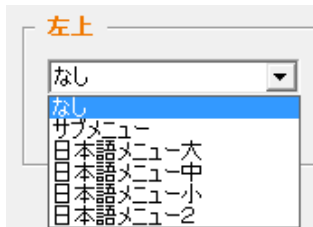


## 指定したウィンドウ位置に移動するマウス操作を設定する

マウス操作で、指定したウィンドウ位置に移動するように設定します。

- 1 「システム設定」ダイアログボックスで「マウス移動」タブをクリックすると、「システム設定(マウス移動)」ダイアログボックスが表示されますので、各種設定を行います。

左上、右上、左下、右下



ドロップダウンリストよりいずれかの移動先を選択します。

なし  
サブメニュー  
日本語メニュー大  
日本語メニュー中  
日本語メニュー小  
日本語メニュー2

「サブメニュー」を選択した場合は以下の項目が選択可能です。

左、中央、右

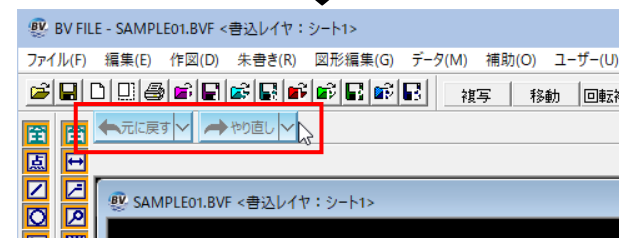
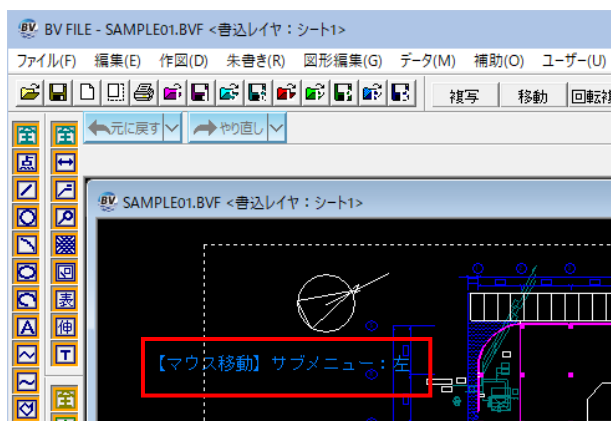
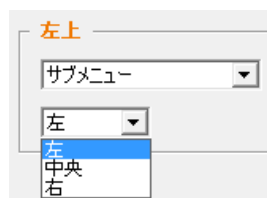
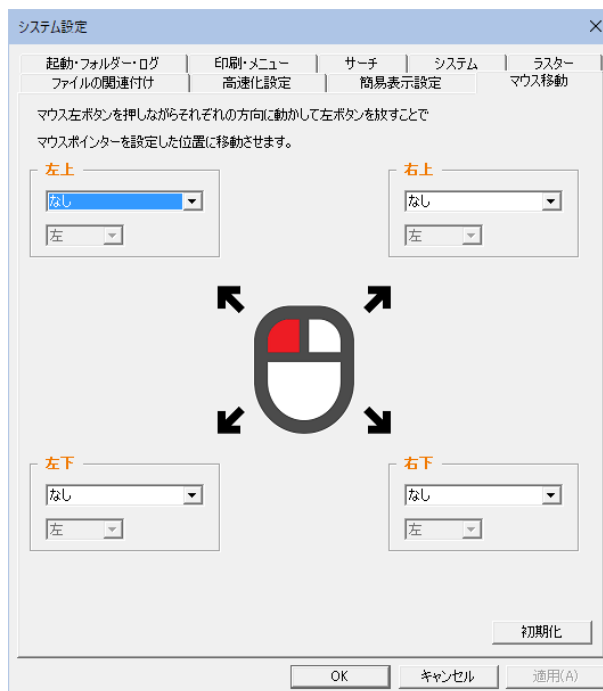
「日本語メニュー大、中、小、2」を選択した場合は、以下の項目が選択可能です。

上、中央、下

「なし」を選択した場合は、マウスの移動は行われません。

- 2 「システム設定(マウス移動)」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると、処理を終了します。

一部のディスプレイでは本機能が動作しない場合があります。



# 5 新規図面設定を行う

ツール(T) → 新規図面設定 ▶ 用紙

## 用紙の設定を行う

各種の用紙設定を行います。

- 1 本コマンドを起動すると、「新規図面設定 (用紙)」ダイアログボックスが表示されます。

### 用紙設定

#### サイズ

「サイズ」は、それぞれいずれかのラジオボタンをクリックします。「フリー」を選択した場合は、用紙サイズのテキストボックス内にサイズを入力します。

#### 向き

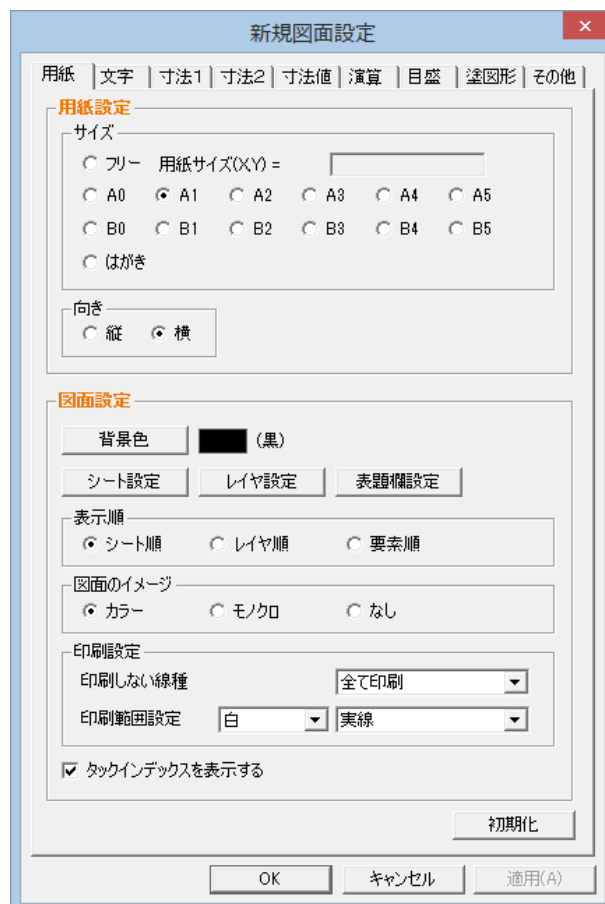
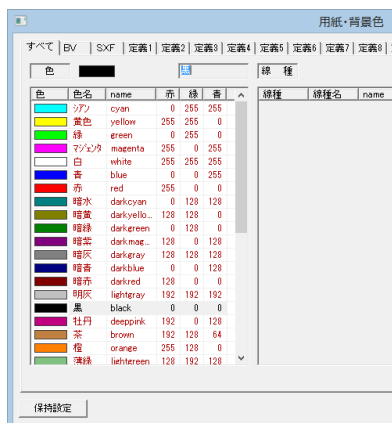
「向き」は、「縦」、「横」いずれかのラジオボタンをクリックします。

### 図面設定

#### 背景色

新規に作成する図面の画面表示上の背景色を設定します。

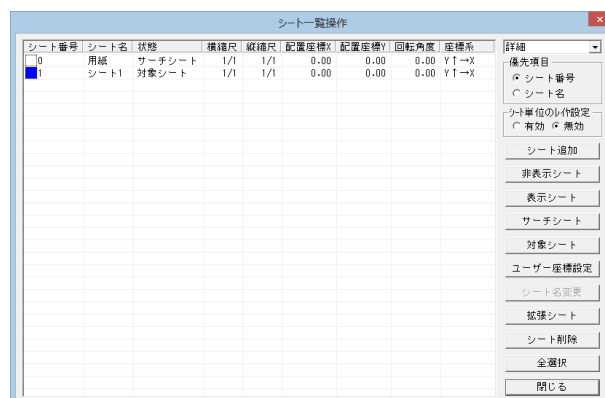
- ① [背景色]をクリックすると「用紙・背景色」ダイアログボックスが表示されます。
- ② 色の一覧から設定する線色をクリックします。
- ③ [OK]をクリックします。「図面設定 (用紙)」ダイアログボックスに戻ります。



### シート設定

新規に作成する図面のシートの各種設定を一覧ダイアログボックスで行います。

- ① [シート設定]をクリックすると「シート一覧操作」ダイアログボックスが表示されます。
- ② シートの各種設定を行います。
- ③ [閉じる]をクリックします。「図面設定 (用紙)」ダイアログボックスに戻ります。





## レイヤ設定

新規に作成する図面のレイヤの各種設定を一覧ダイアログボックスで行います。

- ① [レイヤ設定]をクリックすると「レイヤー一覧設定」ダイアログボックスが表示されます。
- ② レイヤの各種設定を行います。
- ③ [閉じる]をクリックします。「新規図面設定」ダイアログボックスに戻ります。



## 表題欄設定

新規に作成する図面に表題欄の生成の有無、および生成する場合の表題欄の設定を行います。

[表題欄作成]をクリックすると「表題欄作成」ダイアログボックスが表示されます。

「図面枠」、「表題欄」のタブをクリックすると、ダイアログボックスの表示が切り替わります。

### 【図面枠】タブ

#### 枠線

図面枠の有り／無し、いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

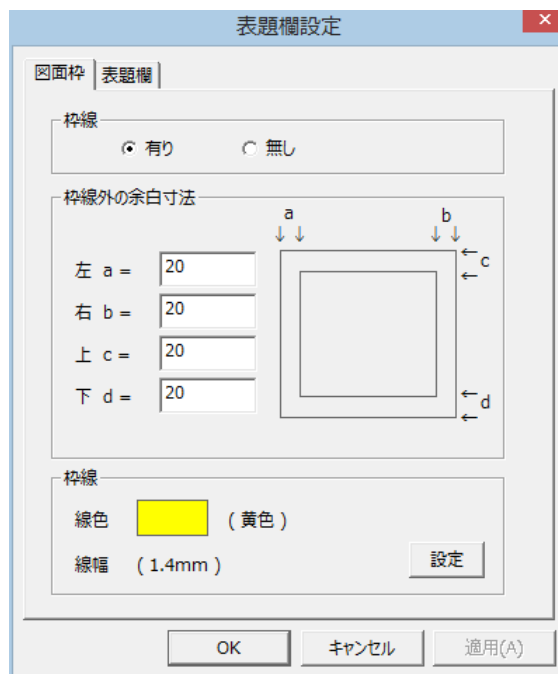
#### 枠線外の余白寸法

枠線外の余白寸法をmm単位で、各入力欄に数値で入力します。

#### 枠線

枠線の色、線幅を設定します。

[設定]をクリックすると「枠線設定」ダイアログボックスが表示されますので、色・線幅の一覧の中からそれぞれ選択し、[OK]をクリックします。「表題欄作成」ダイアログボックスに戻ります。



### 【表題欄】タブ

#### 表題欄

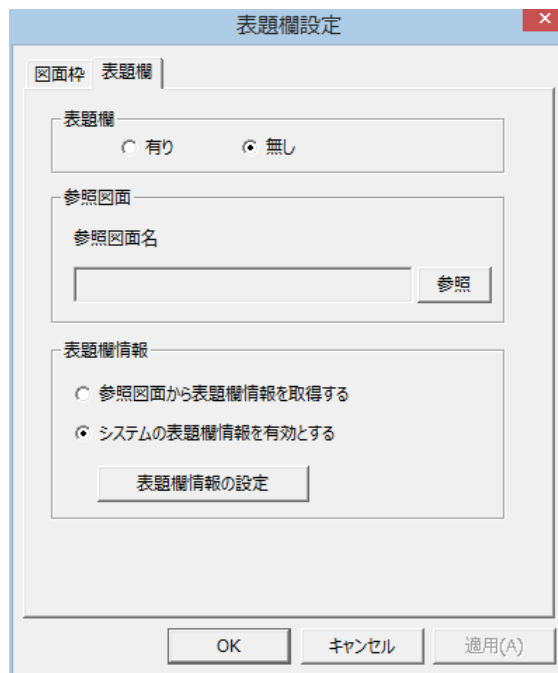
表題欄の有り／無し、いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

#### 参照図面

[参照]をクリックすると、「表題欄参照ファイル読込」ダイアログボックスが表示されますのでファイル名を選択し、[開く]をクリックします。「表題欄設定」ダイアログボックスに戻ります。



- ・表題欄の参照図面パスが無効な場合は表題欄の作成は行えません。また、表題欄設定ダイアログで表題欄パスが無効の状態ではOKボタンを押すと「指定された表題欄の参照図面が存在しません」というメッセージが表示されます。表題欄の参照図面では、BVF以外のファイルは選択できません。



### 表題欄情報

いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

[表題欄情報の設定]をクリックすると、「図面表題欄の編集」ダイアログボックスが表示されます。

各入力欄内をクリックし、文字列を入力します。

### 入力情報を全クリアする

[全クリア]をクリックすると、入力欄にのみ情報がある場合、「図面表題欄の情報をクリアします。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックするとすべての入力欄に入力された情報がクリアされます。

その他1～10の項目名称が変更されている場合、その他の項目名の処理方法を選択し、選択に従って情報がクリアされます。

[OK]をクリックすると「表題欄設定」ダイアログボックスに戻ります。

「表題欄設定」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると「新規図面設定(用紙)」ダイアログボックスに戻ります。

### 表示順

「新規図面設定(用紙)」ダイアログボックスで図面の表示順を設定します。

[シート順]、「レイヤ順」、「要素順」のいずれかのラジオボタンをクリックします。

シート順：シート番号の小さい順(但し用紙は一番奥)に表示します。

レイヤ順：レイヤ番号の大きい順に表示します。

要素順：要素順に表示します。

### 図面のイメージ

新規作成する図面のイメージ色を設定します。

[カラー]、「モノクロ」、「なし」のいずれかのラジオボタンをクリックします。

### 印刷設定

#### 印刷しない線種

ドロップダウンリストから全て印刷またはいずれかの線種を選択します。図面単位で印刷しない線種の指定は、[ファイル]→[印刷設定]で行います。

#### 印刷範囲設定

印刷する範囲の「色」、「線種」をドロップダウンリストから選択します。

#### タックインデックスを表示する

「タックインデックスを表示する」チェックマークをオンにすると、タックインデックスを表示します(初期状態はオンです)。

### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- [OK]をクリックすると、以降の新規作成図面に本設定が有効となり、「図面設定」ダイアログボックスに戻ります。



### 文字原点

[原点]をクリックすると、「原点」ダイアログボックスが表示されます。

1～9までの原点位置が表示されますので、いずれかをクリックし選択します。

[キャンセル]をクリックすると「図面設定(文字)」ダイアログボックスに戻ります。

### 離れ

「離れ」入力欄内に原点からの離れを入力します。



### 表示設定

#### 文字表示

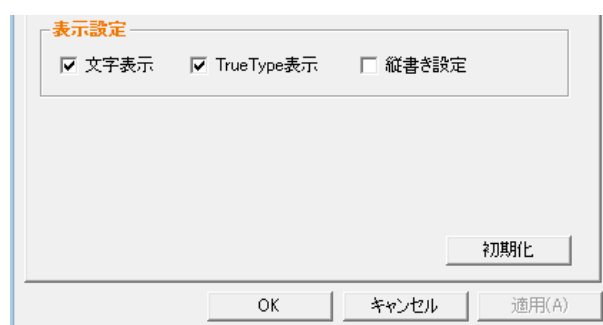
「文字表示」チェックマークをオンにすると、文字の表示が行われます(初期状態はオン)。

#### TrueType 表示

「TrueType 表示」チェックマークをオンにすると、TrueType 文字の表示が行われます(初期状態はオン)。

#### 縦書き設定

「縦書き設定」チェックマークをオンにすると、縦書き表示が有効となります。



### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2** [OK]をクリックすると、以降の新規作成図面に本設定が有効となります。



## 寸法矢印

「垂・平」、「2点結」、「角度」、「線変更」メニューの先端記号の矢印を設定します。

矢印種別の[ → ]をクリックすると「矢印設定」ダイアログボックスが表示されます。

「SXF仕様」、「BV仕様」のいずれかのラジオボタンをクリックし選択します。

### 大きさ指定

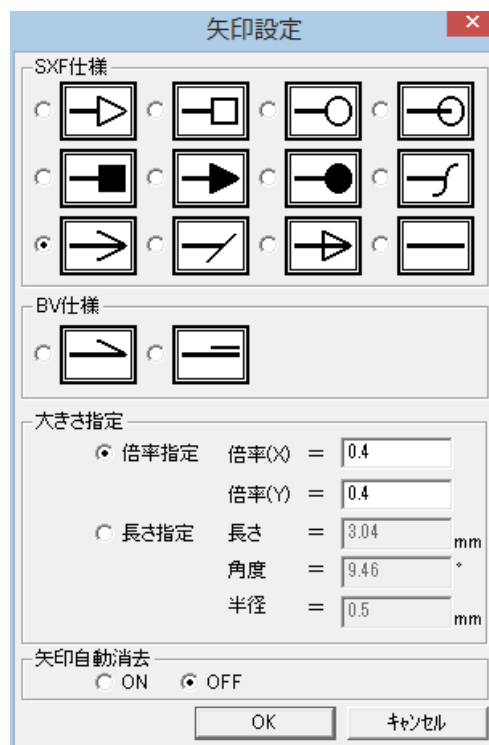
矢印の大きさを倍率指定で変更する場合は、「倍率指定」ラジオボタンをクリックし、倍率(X)および倍率(Y)テキストボックス内に数値を入力します。

長さ指定で変更する場合は、「長さ指定」ラジオボタンをクリックし、長さ、角度、半径テキストボックス内に数値を入力します。

### 矢印自動消去

「ON」、「OFF」いずれかのラジオボタンをクリックして矢印自動消去のON/OFFを選択します。

いずれかの矢を選択し[OK]をクリックします。「図面設定(寸法1)」ダイアログボックスに戻ります。



## 引出補助線

### 角度

「角度」の入力欄内には、寸法引き出し線の角度を入力します。「突出長」には、長さを mm 単位で入力します。

### 離れ

自動/入力のいずれかのラジオボタンをクリックします。

「自動」をクリックした場合のみ、引出補助線の始点位置の離れを「原寸 L」入力欄内に入力します。

### 引出補助線を直線要素とする

「引出補助線を直線要素とする」チェックマークをオンにすると、寸法線作成時に補助線を直線要素として描画します(初期状態はオフです)。

## 累進寸法

### 表示位置

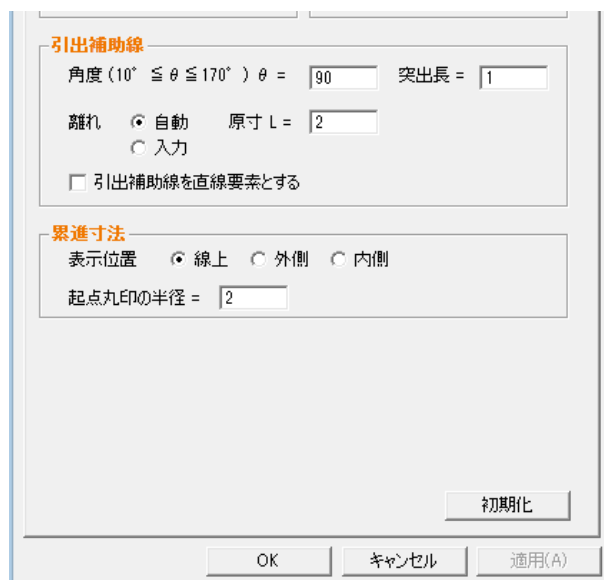
いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

### 起点丸印の半径

「起点丸印の半径」入力欄内に半径値を入力します。

### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。



- 2 [OK]をクリックすると、以降の新規作成図面に本設定が有効となります。

## 寸法線の設定を行う(2)

寸法2の各種設定を行います。

- 1 本コマンドを起動すると、「新規図面設定(寸法2)」ダイアログボックスが表示されます。

### 角度寸法

#### 角度表記

「10進」、「60進」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

「60進」を選択した場合は、「60進表示桁」のドロップダウンリストからいずれかの桁数を選択します。1桁は分まで、2桁は秒数まで、3桁以上は秒の小数点以下の桁数指定になります。また、「60進小数点以下0表示」チェックマークをオンにすると、60進表示の場合、小数点以下の0表示を行うことができます。

#### 角度記号

「半角」、「全角」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

#### 引出補助線を表示する

「引出補助線を表示する」チェックマークをオンにすると、引出補助線を表示します。

### 角度寸法・周長寸法

#### 寸法文字を円弧状に配置する

「寸法文字を円弧状に配置する」チェックマークをオンにすると、寸法文字を円弧状に配置します。

#### 表示位置

「標準」、「外側」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

### 引き出し線

「タイプ1」、「タイプ2」、「折れ線」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

「タイプ1角度」、「タイプ2角度1」、「タイプ2角度2」の入力欄には、引き出し線の角度を入力します。

#### 矢印種別

矢印種別の[→]をクリックすると、「矢印設定」ダイアログボックスが表示されますので、いずれかを選択し、[OK]をクリックします。

「引出線を文字に合わせて調整する」チェックマークをオンにすると、引出線の終点位置から文字長さ分を伸ばします。オフの場合は、文字が引出線の終点位置より長くても、引出線を自動的に延長しません。

### 自動表示補助線

「自動表示補助線」では、自動表示する補助線の間隔・本数を設定します。

「間隔」には、補助線間の原寸長さを入力します。「本数」には、基準線より前後に、それぞれ表示する本数を1以上100以下の範囲で入力します。

## 引出補助線の自動非表示

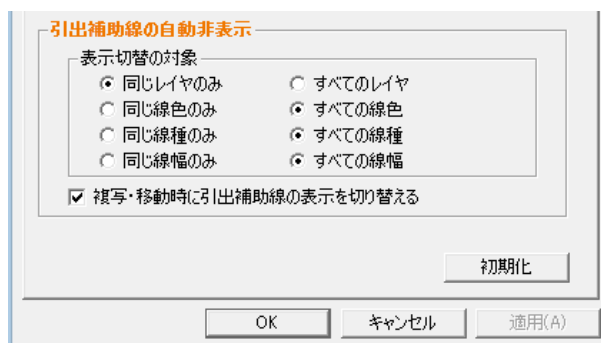
「表示切替の対象」のいずれかのラジオボタンをクリックして表示切替の対象を選択します。

「複写・移動時の引出補助線の表示を切り替える」チェックマークをオンにすると、複写・移動処理時に引出補助線の表示切替を行います。

## 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2** [OK]をクリックすると現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。



## ツール(T) → 新規図面設定 ▶ 寸法値

## 寸法値の設定を行う

寸法値の各種設定を行います。

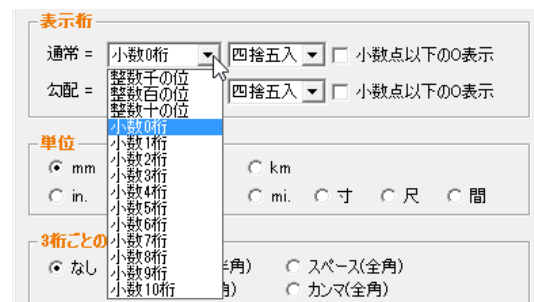
- 1** 本コマンドを起動すると、「新規図面設定(寸法値)」ダイアログボックスが表示されます。

## 文字高、公差高

「文字高」、「公差高」は、それぞれいずれかのラジオボタンをクリックします。

## 表示桁

「通常 =」、「勾配 =」はドロップダウンリストよりいずれかの表示桁数および、丸め方法(「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」)を選択します。



また、「小数点以下の0表示」チェックマークをオン、オフにして設定します。

## 単位

「単位」は、いずれかのタイプのラジオボタンをクリックします。

## 3桁ごとの区切り

「3桁ごとの区切り」は、いずれかのタイプのラジオボタンをクリックします。

## その他

## 寸法文字の寸法線からの離れ

「寸法文字の寸法線からの離れ」の入力欄内には、寸法線からの寸法値文字の離れを原寸で入力します。

## 寸法値

「寸法値」は「自動計算」または「キー入力」のいずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

## 表示

「表示」は「半角」または「全角」のいずれかのラジオボタンをクリックして選択します。





**初期化**

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2** [OK]をクリックすると現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

**ツール(T) → 新規図面設定 ▶ 演算**
**演算の設定を行う**

演算処理の各種設定を行います。

- 1** 本コマンドを起動すると、「新規図面設定(演算)」ダイアログボックスが表示されます。

**表示設定**
**単位**

いずれかのラジオボタンをクリックして単位を選択します。「単位を表示する」チェックマークをオンにすると、単位を表示します。

**表示桁**

「表示桁」はドロップダウンリストより、いずれかの小数点以下の表示桁数、丸め設定を選択します。

**配置設定**
**演算結果を図面に配置する、他**

各項目のチェックマークをオンにすると、各種の配置を行います。

**文字高**

いずれかのラジオボタンをクリックします。

**原点位置**

[左下(など)]をクリックすると、「原点」ダイアログボックスが表示されます。

1～9までの原点位置が表示されますので、いずれかをクリックし選択します。

[キャンセル]をクリックすると「図面設定(演算)」ダイアログボックスに戻ります。

**初期化**

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2** [OK]をクリックすると現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

新規図面設定

用紙 | 文字 | 寸法1 | 寸法2 | 寸法値 | **演算** | 目盛 | 塗図形 | その他

**表示設定**

単位

☒ mm ☐ cm ☐ m ☐ km

☒ 単位を表示する

表示桁 = 3 四捨五入

**配置設定**

☐ 演算結果を図面に配置する

☐ 2点間距離 斜距離を図面に配置する

☐ 2点間距離 LXを図面に配置する

☐ 2点間距離 LYを図面に配置する

☐ 座標 Z座標を図面に配置する

☐ 距離方向角 角度を図面に配置する

文字高

☐ A:2.50 ☒ B:3.50 ☐ C:4.00 ☐ D:5.00

☐ E:6.00 ☐ F:7.00 ☐ G:10.00 ☐ H:14.00

☐ I:3.50 ☐ J:5.00 ☐ K:1.00 ☐ L:3.50

原点位置 左下

初期化

OK キャンセル 適用(A)

## 目盛の設定を行う

目盛の各種設定を行います。

- 1 本コマンドを起動すると、「新規図面設定 (目盛)」ダイアログボックスが表示されます。

### 表示設定

#### 目盛を表示する

「目盛を表示する」チェックマークをオンにすると、メモリを表示します。

「基準点」のテキストボックス内に目盛の基準点の座標を入力します。

#### 通常・アイソメの選択

「通常」のラジオボタンをクリックした場合は、通常 (格子) のテキストボックス内に、座標を入力します。

「アイソメ」のラジオボタンをクリックした場合は、アイソメ軸からの角度およびアイソメ基準点からの間隔のテキストボックス内に入力します。

#### 単位

[単位] のいずれかのラジオボタンをクリックします。

### 色設定

色設定の [ピッチ間]、[ピッチ毎] をクリックすると、設定用のダイアログボックスが表示されますので、それぞれ色を選択し、[OK] をクリックします。「目盛の設定」ダイアログボックスに戻ります。

#### 色変更ピッチ

[色変更ピッチ] のテキストボックス内には色変更のピッチ数を入力します。

#### 常に用紙の目盛を表示する

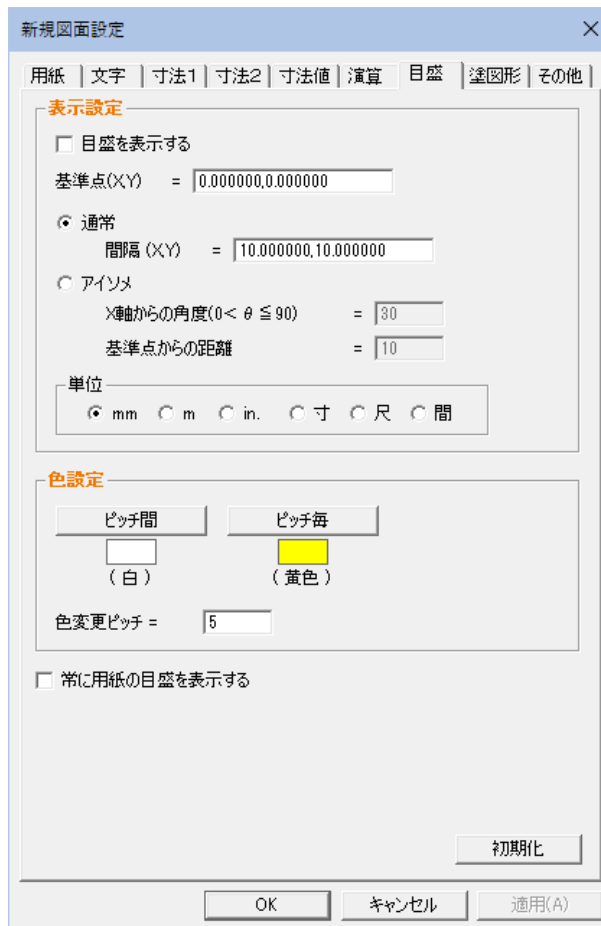
「常に用紙の目盛を表示する」チェックマークをオンにすると、用紙シートと同じ目盛を表示します。

オフの場合は、「対象シート」の設定値で目盛を表示します。初期値はオフです。

#### 初期化

[初期化] をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2 [OK] をクリックすると現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。



## 《目盛間隔と傾き角度》

目盛間隔をmmで指示し、その幅と縦線、横線の角度を 10Key から入力します。

幅 = 30

X軸からの角度 = 0

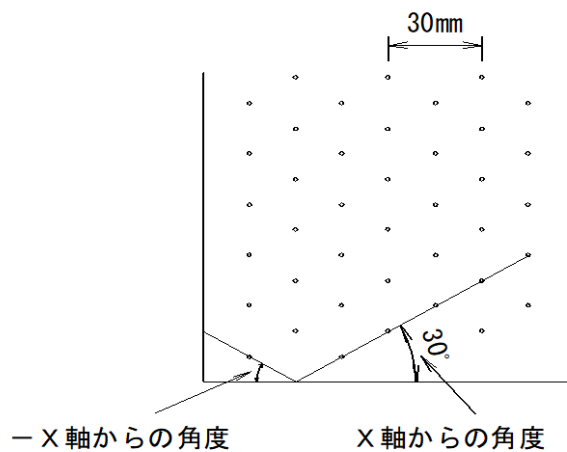
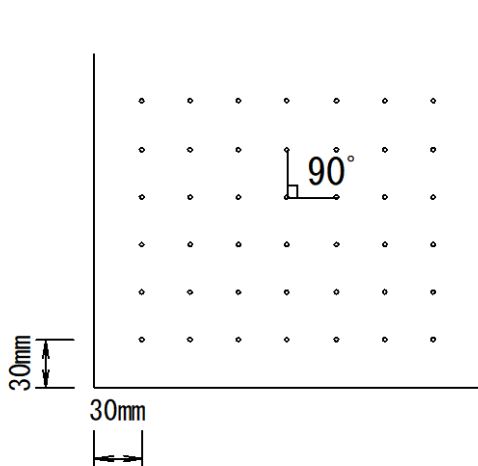
－X軸からの角度 = 30

この時、

X軸からの角度 = 30

－X軸からの角度 = 30

と入力すると、右図の目盛が表示されます。配管のアイソメ図を描くときに有効です。



## 塗図形の設定を行う

塗図形処理の各種設定を行います。

- 1 本コマンドを起動すると、「新規図面設定 (塗図形)」ダイアログボックスが表示されます。

### 塗図形

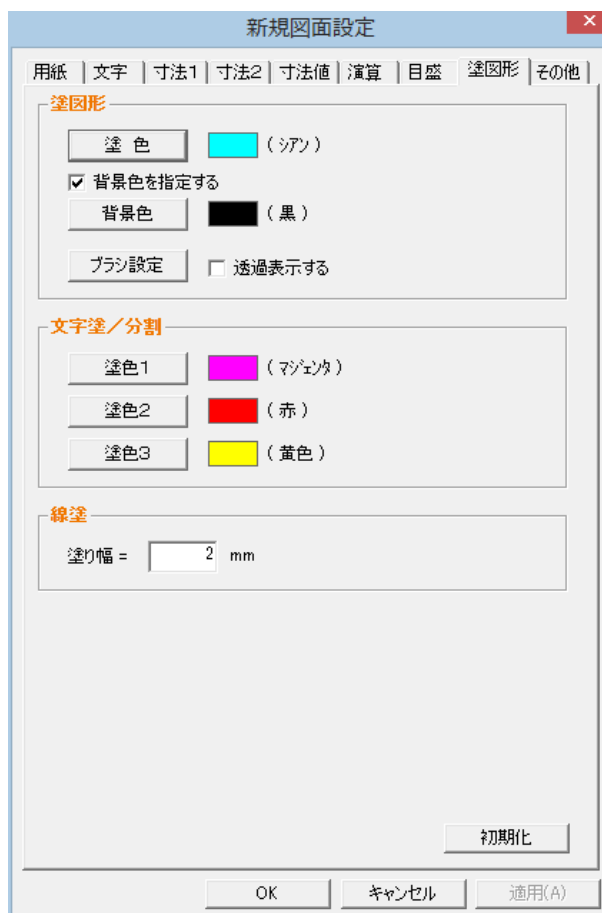
[塗色]をクリックすると、色設定用のダイアログボックスが表示されます。

指定する色をクリックし選択します。[OK]をクリックすると、「図面設定 (塗図形)」ダイアログボックスに戻ります。

### 背景色を指定する

「背景色を指定する」チェックマークをオンにすると、背景色の指定を行いことができます(初期状態はオンです)。

[背景色]をクリックすると、各色設定用のダイアログボックスが表示されます。指定する色をクリックし選択します。[OK]をクリックすると、「図面設定 (塗図形)」ダイアログボックスに戻ります。



[ブラシ設定]をクリックすると、「ブラシ設定」ダイアログボックスが表示されます。

いずれかのブラシをクリックし選択します。[OK]をクリックすると、「図面設定 (塗図形)」ダイアログボックスに戻ります。

「透過表示する」チェックマークをオンにすると、塗図形を透過表示します。



### 文字塗/分割

「文字塗/分割」の[塗色1]、[塗色2]、[塗色3]の各ボタンをクリックすると色選択用のダイアログボックスが表示されますので選択し、[OK]をクリックします。「図面設定 (塗図形)」ダイアログボックスに戻ります。

### 線塗

「塗り幅=」入力欄内に塗り幅を mm 単位で入力します。

### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2 [OK]をクリックすると現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

## スプライン、直線の設定を行う

スプラインの折れ線近似表示分割数の設定、直線の矢印種別の設定を行います。

- 1 本コマンドを起動すると、「新規図面設定(その他)」ダイアログボックスが表示されます。

### スプライン設定

「分割数=」入力欄内にスプラインの表示分割数を入力します。

### 直線設定

矢印種別の[ → ]をクリックすると「矢印設定」ダイアログボックスが表示されます。

### 初期化

[初期化]をクリックすると、設定を初期状態に戻します。

- 2 [OK]をクリックすると現在設定した変更内容を有効にし、製図画面に戻ります。

- ・DXF/DWG、SXFファイルを読み込んでスプライン要素を作成する場合に、その要素の分割数はここで設定した分割数になります。



## 6 その他の図面管理

ツール(T) → 起動ダイアログ表示

### 起動ダイアログの設定を行う

CADシステムを起動時に表示される「起動設定」ダイアログボックスを表示し、各種の設定を行うことができます。

コマンド起動方法

■プルダウンメニュー→[ツール]－[起動ダイアログ表示]

1 本コマンドを起動すると、「起動設定」ダイアログボックスが表示されます。

「次回から表示しない」チェックマークをオンにすると、次のシステムの起動から、「起動設定」ダイアログボックスは表示されなくなります。

また、[閉じる]をクリックすると、新規図面も既存図面も開かずにCADシステムが起動します。

このダイアログボックスでは、新規図面を開くか、既存図面を開くか、図面を開かないで起動するかを選択ができます。また、新規図面には、新規図面とアシスト図面があり、どちらも開く際の各種設定を行うことができます。

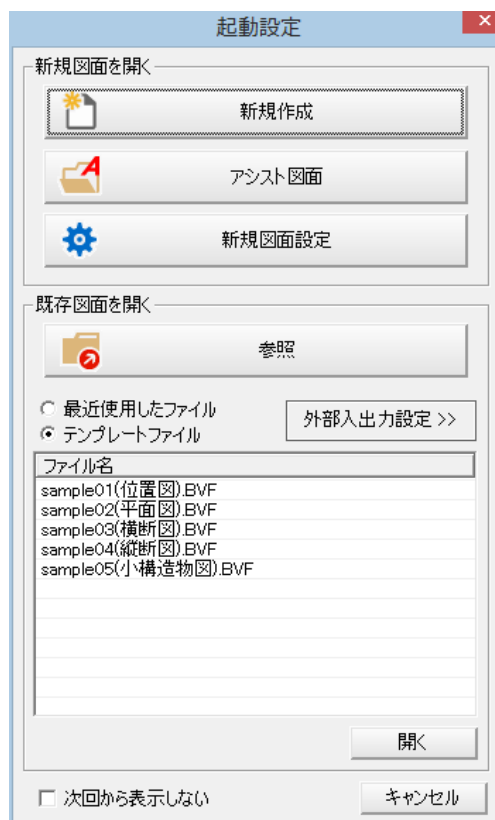
「新規図面を開く」内の各機能

- 新規図面を作成する
- アシスト図面を開く
- 新規図面の設定を行う

「既存図面を開く」内の各機能

- BV Finder で保存してある図面を開く
- 最近使用したファイルの一覧から図面を開く
- テンプレートファイルの一覧から図面を開く

以下、各機能について説明します。

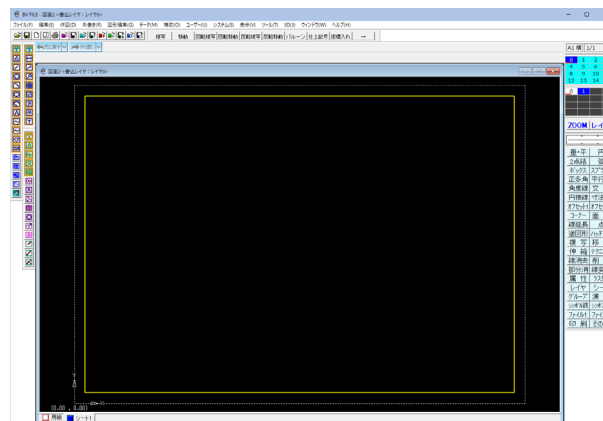


### ● 新規図面を作成する

■「起動設定」ダイアログボックスで[新規作成]をクリック

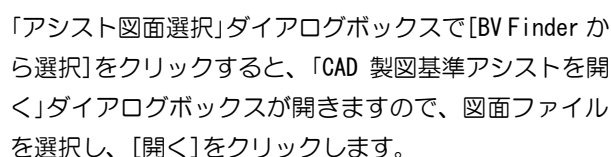
①新しい図面が開きます。

この時、[新規図面設定]機能で設定した条件で新規図面が開きます。

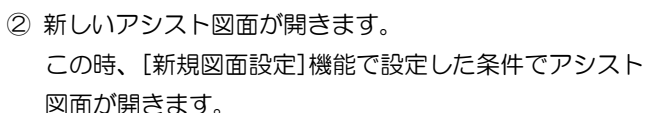


圖面管理

① 「アシスト図面選択」ダイアログボックスが開きますので、  
いずれかのアシスト図面を選択し、[OK]をクリックし  
ます。



The screenshot shows the CAD 2D/3D software interface. The 'File' menu is open, displaying options like 'Open', 'Save', 'Print', etc. The 'Project' dialog box is visible, showing a list of files and folders. The 'Project' dialog box has a 'Files' tab selected, showing a list of files and folders. The 'Files' tab shows a list of files and folders, including 'MEXICO', 'ANISTO 図面', '読取画像', '国土交通省', '国土交通省(機械設備工事)', '国土交通省(港湾)', '国土交通省(測量成果)', and '日本下水道事業団'. The 'Project' dialog box also has a 'Folders' tab, which is currently empty. The 'Project' dialog box has a 'Name' field, a 'Size' field, and a 'Date' field. The 'Name' field is empty, the 'Size' field is '0', and the 'Date' field is '2023/07/20 15:14'. The 'Project' dialog box has a 'Cancel' button and an 'OK' button.



- 「用紙サイズ」、「用紙向き」のみ有効

※その他(背景色など)はアシスト図面の設定が有効です。

- 
- The screenshot displays the TeXmacs 2.9.12.0 application window. The main editing area is a large black rectangle with a yellow border. The interface includes a menu bar at the top with options like 'File', 'Edit', 'Format', 'Window', and 'Help'. A toolbar is located below the menu bar, containing icons for various editing and formatting actions. On the left side, there is a sidebar with a file list. The status bar at the bottom provides information about the current document, including the file path and various statistics.

## ● 新規図面の設定を行う

### ■「起動設定」ダイアログボックスで[新規図面設定]をクリック

- ① 「図面設定」ダイアログボックスが開きますので、各種の設定を行います。
- ② [OK]をクリックすると「起動設定」ダイアログボックスに戻ります。以降、[新規作成]または[アシスト図面]をクリックしたときに[新規図面設定]機能で設定した条件で各種図面が開きます。

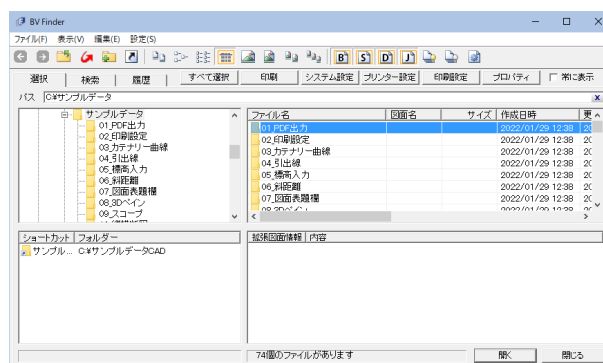
本ダイアログボックスの各種設定については、  
「5. 新規図面設定を行う」で解説しています。



## ● BV Finder で保存してある図面を開く

### ■「起動設定」ダイアログボックスで[参照]をクリック

- ① 「BV Finder」ダイアログボックスが開きますので、図面ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
- ② 図面が開きます。

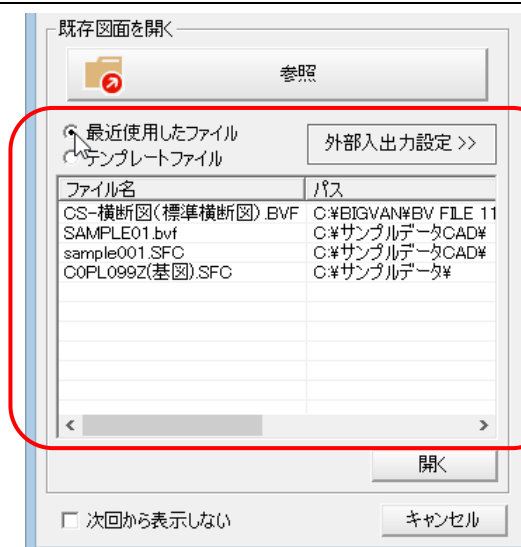




## ● 最近使用したファイルの一覧内から図面を開く

### ■「起動設定」ダイアログボックスで「最近使用したファイル」ラジオボタンをクリック

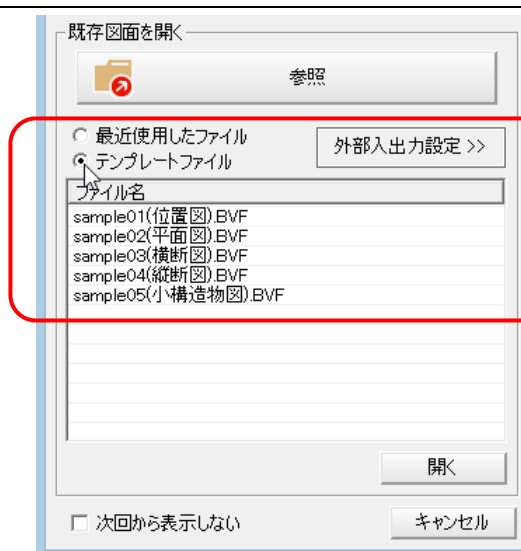
- ① ファイル名・パスの一覧内に最近使用したファイルが表示されますので、いずれかをダブルクリックします。
- ② 図面が開きます。  
DXF、DWG、JWC、JWW、SXF、SFZ、P2Z の各機能で入出力したファイルも最近使用したファイルの履歴に表示されます。



## ● テンプレートファイルの一覧内から図面を開く

### ■「起動設定」ダイアログボックスで「テンプレートファイル」ラジオボタンをクリック

- ① ファイル名・パスの一覧内にテンプレートファイルが表示されますので、いずれかをダブルクリックします。
- ② 図面が開きます。  
C:\BIGVAN\製品名フォルダー内の[Template]にある BVF ファイルが対象となります。  
標準添付のテンプレートファイルの他に、このフォルダー内にコピーして使用も可能です。



## ファイル(F) → 外部入出力設定 ▶ BVF

### BVF変換テーブル設定

BVシリーズの旧バージョン用の図面ファイル(BVF)の読み込み、および出力時の各種設定を行います。対象になるファイルタイプは、BV-6、BV-8、BV-A、BV-Cです。ここではそれらのファイルを総称して『BV-C以前の形式』と表現します。『BV-C以前の形式』（ダイアログボックス上はBV-A）ファイルを読み込む時の線種の設定を行います。

#### その他のコマンド起動方法

■ツールボックス（サブメニュー）→[ファイル1]（-[BVF 設定]）

■ツールボックス（ポップアップメニュー）→[ファイル1]（-[入出力設定(BVF)]）

- 1 本コマンドを起動すると、「BVF変換テーブル設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [入力設定]、[出力設定]のいずれかのタブをクリックして、それぞれのダイアログボックスで設定を行います。チェックマークで設定を行うものは、チェックされているものが有効となります。
- 3 設定が終了したら[OK]をマウスでクリックします。  
[適用]をクリックすると、本ダイアログボックスを終了させないで設定を保存します。  
[初期化]をクリックすると、各設定を初期状態に戻します。

**参 照** → 「解説：BVF変換仕様」

以下、各タブの操作について説明します。

### ●[入力設定]タブ

#### 設定有効

「設定有効」チェックマークをオンにすることで、線種の変換表の設定内容を有効にします。線種の変換表を変更するには、このチェックボックスをチェックします。

#### 初期化

[初期化]をクリックすることにより、設定内容を初期状態（図の状態）に戻すことができます。

#### レイヤ・シート

旧システムのレイヤ構造をレイヤに分解するのか、シートに分解するのかを選択します。レイヤ分解、シート分解のいずれかのラジオボタンをクリックして選択します。

#### 属性処理（BV-C 以前のみ有効）

「寸法・ハッチ以外の属性解除」チェックマークをオンにすると、属性（ユーザー属性、グループ属性）を解除して互換BVF、BVS読み込み時（BV-6以降）データが読み込まれます。

#### 線種処理（BV-E 以降のみ有効）

「同じ線種パターンをまとめる」チェックマークをオンにすると、図面読み込み時に同一の線種があった場合は新たに追加されず現在、ペンコントロールパネルに追加されている線種に設定されます。

#### 線種の変換

「BV-A」線種名にある線種を、本CADシステムのどの線種（「変換先線種名」、どの線幅（「変換先線幅名」）に変換するかを指定します。設定内容を変更する時は、変更したいBV-A線種名にマウスカーソルを合わせ右クリックします。「ペンコントロールパネル」ダイアログボックスが表示されますので、新しく設定する線種・線幅を選択し、[OK]をクリックしてください。

BVF変換テーブル設定

入力設定 | 出力設定

☒ 設定有効

レイヤ・シート

☐ レイヤ分解 ☒ シート分解

属性処理（BV-C以前のみ有効）

☐ 寸法・ハッチ以外の属性解除

線種処理（BV-E以降のみ有効）

☐ 同じ線種パターンをまとめる

線種の変換

変換元線種名 (BV-A)	変換先線種名	変換先線幅名
実線 1	実線	0.13mm
破線 1	破線	0.13mm
点線 1	点線	0.13mm
一点鎖線 1	一点鎖線	0.13mm
二点鎖線 1	二点鎖線	0.13mm
実線 2	実線	0.18mm
実線 3	実線	0.25mm
実線 4	実線	0.35mm
実線 5	実線	0.5mm
実線 6	実線	0.7mm
実線 7	実線	1.0mm
実線 8	実線	1.4mm
破線 2	破線	0.18mm
破線 3	破線	0.25mm
破線 4	破線	0.35mm
点線 2	点線	0.18mm
点線 3	点線	0.25mm
点線 4	点線	0.35mm
一点鎖線 2	一点鎖線	0.18mm
二点鎖線 2	二点鎖線	0.25mm

初期化

OK キャンセル 適用(A)

●[出力設定]タブ

BV-Cへの変換方法

原寸データで変換するか、用紙サイズで変換するかをラジオボタンにより選択します。

**原寸データ** : 実座標のまま出力します。  
そのため、シートの配置座標設定、傾き設定が行われていると、用紙上の位置が変わります。

**用紙サイズ** : シートの座標・傾きが設定されていると見た目を保持し出力します。

BV-G以降のハッチング設定

ハッチング設定の登録を、図面で使っている設定だけか、すべてかをラジオボタンにより選択します。

**図面で使っている設定だけを登録**  
: ハッチングの設定は、編集集中の図面だけに使用している設定を登録します。

**すべて登録** : ハッチングの設定は、システムに保持している全ての設定を登録します。

初期化

[初期化]をクリックすることにより、設定内容を初期状態（図の状態）に戻すことができます。



解 説：B V F 変換仕様

B V F 変換時の仕様を解説します。

● 要素別の分類

直線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、塗図形、bmp、OLE、ラスタ、ダミー点は維持します。

＜BV-C 以前＞	→	＜Ver19.0＞
旧属性図形	→	新属性図形
寸法線	→	新寸法線
旧システムハッチング 属性図形	→	新ハッチング グループ 図形
旧属性図形グループ	→	新グループ 図形
旧スライソ	→	折線

但し、旧属性図形を読み込むときには図形原点を構成要素の1番目の要素の座標を使用します。

## 図面情報を表示する

開いている図面の情報を表示します。

- 1 本コマンドを起動すると、「図面情報」ダイアログボックスが表示されます。

以下の内容が表示されます。

### BVF ファイル

BVF に保持しているタイトルやサブタイトルなど、

BVFinder (詳細表示) で確認できる内容。

### SXF ファイル

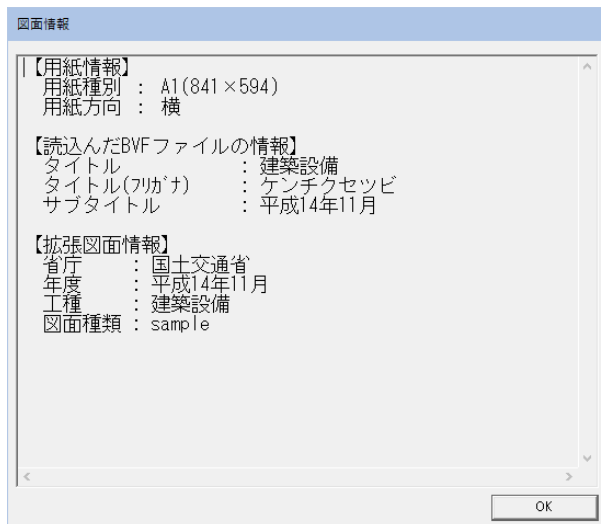
ファイルバージョン、トランスレータ名、共通ライブラリバージョン。

### その他のファイル形式

「用紙種別」、「用紙方向」のみ。

### クリップボードへコピー

必要箇所でマウス左ボタンを押したままドラッグし、選択状態にしてクリップボードにコピー (Ctrl+C キーのみ) することができます。



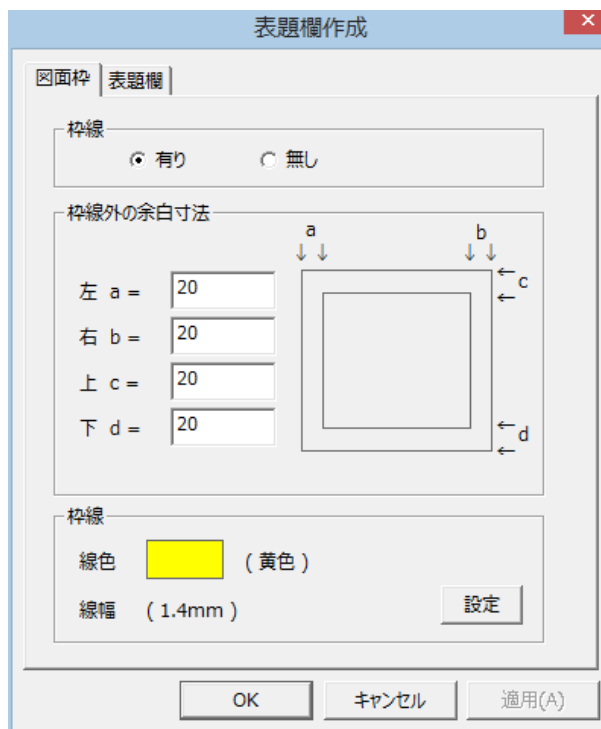
- 2 [OK]をクリックすると、「図面情報」ダイアログボックスの表示を終了します。

## 表題欄を作成する

各種の設定を行い、図面上に表題欄を生成します。

- 1 本コマンドを起動すると、「表題欄作成」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 各種の設定を行います。  
本ダイアログボックスの各種設定については、「5. 新規図面設定を行う」で解説しています。

- 3 [OK]をクリックすると、図面上に表題欄が作成されます。



## ファイル(F)→ 図面表題情報の編集

### 図面表題情報を編集する

図面に保持している表題欄情報の編集を行います。

- 1 本コマンドを起動すると、「図面表題情報の編集」ダイアログボックスが表示されます。

図面表題情報の編集ダイアログボックスのスクリーンショット。左側には「事業名」、「工事名」、「契約区分」、「発注会社名」、「発注事業者名」などの入力欄があり、右側には「図面名」、「図面種別」、「尺度」、「図面番号」、「図面総数」などの入力欄があります。下部には「作成年月日」の選択ボタンと「OK」、「キャンセル」ボタンがあります。

- 2 各入力欄内をクリックし、文字列を入力します。3行以上の場合はスクロールして入力することが可能です。

#### 入力情報を全クリアする

[全クリア]をクリックすると、入力欄にのみ情報がある場合、「図面表題欄の情報をクリアします。よろしいですか？」の確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックするとすべての入力欄に入力された情報がクリアされます。

その他1～10の項目名称が変更されている場合、その他の項目名の処理方法を選択し、選択に従って情報がクリアされます。

- 3 [OK]をクリックすると、図面上の表題欄の該当文字列も変更されます。

## ファイル(F)→ 表題欄一括編集

### 表題欄を一括編集する

複数の図面に保持している表題欄を一括して編集します。

編集の図面データが存在する場合、「表題欄一括編集」は実行できません。全ての図面を閉じてから行います。

- 1 本コマンドを起動すると、「表題欄一括編集」ダイアログボックスが表示されます。

表題欄一括編集ダイアログボックスのスクリーンショット。上部には「行/上移動」、「行/下移動」、「行/削除」、「自動採番」などのボタンがあります。中央には「編集対象図面のファイル情報」の表があり、下部には「参照表題欄情報」の表があります。

- 2 図面ファイルの選択

[ファイル選択]をクリックすると、BV Finderが表示されますので、表題欄の編集を行う図面ファイルを選択します。

BV Finderファイル選択ダイアログボックスのスクリーンショット。上部には「ファイル(F)」、「表示(V)」、「編集(E)」、「設定(S)」などのメニューがあります。中央には「選択」、「検索」、「履歴」、「すべて選択」、「印刷」、「システム設定」、「プリンター設定」、「印刷機設定」、「プロパティ」などのボタンがあります。下部には「パス」のリストと「ファイル名」、「図面名」、「サイズ」、「作成日時」などの表があります。

- 3** 「開く」をクリックすると、「表題欄一括編集」ダイアログボックス内の「編集対象図面ファイルのファイル情報」に選択したファイル名、フォルダー名、ファイルタイプが表示されます。
- 「編集対象図面ファイルの表題欄情報」の欄内に各種図面表題欄の内容が表示されます。
- CADシステム本体により開かれている図面ファイルは編集することはできません。

#### 図面表題欄情報の多段入力

リスト項目をマウスの左ボタンでダブルクリックすると多段入力用ダイアログが表示されます。

多段入力できない項目の場合は、項目が直接文字入力状態になります。

多段入力用ダイアログのリスト上でマウス右クリックすると、「追加」「削除」のポップアップメニューが表示されます。

「追加」はリストの最後に1行追加され、「削除」は選択している行を削除します。[OK]をクリックすると「表題欄一括編集」ダイアログボックスに戻ります。多段入力できない項目は、図面番号、図面総数、図面作成年月日です。

**表題欄一括編集**

行/上移動 行/下移動 行/削除 自動採番 ファイル選択 ファイル更新 ☒ バックアップを作成 ☐ その他の項目名を更新 終了

**編集対象図面のファイル情報**

No	ファイル名	フォルダー名
1	SAMPLE.BVF	C:\BIGVAN\BVF FILE 16\Sample\サン
2	SAMPLE01.BVF	C:\BIGVAN\BVF FILE 16\Sample\サン
3	SAMPLE03.BVF	C:\BIGVAN\BVF FILE 16\Sample\サン

**参照表題欄情報**

反映 参照図面名 参照

反映	項目	値
<input type="checkbox"/>	事業名	
<input type="checkbox"/>	工事名	
<input type="checkbox"/>	契約区分	
<input type="checkbox"/>	図面名	
<input type="checkbox"/>	図面番号	
<input type="checkbox"/>	図面総数	
<input type="checkbox"/>	図面種別	
<input type="checkbox"/>	尺度	
<input type="checkbox"/>	作成年	2021
<input type="checkbox"/>	作成月	8
<input type="checkbox"/>	作成日	27
<input type="checkbox"/>	受注会社名	
<input type="checkbox"/>	発注事業者名	

**編集対象図面の表題欄情報**

No	事業名	工事名	契約区分	図面名	図面番号	図面総数	図面種別	尺度	作成年	作成月	作成日	受注会社名	発注事業者名
1									0	1	1		
2									0	1	1		
3		○工事		○図	1	50		1/100	2006	10	31	○会社	○事業所

「編集対象図面ファイルの表題欄情報」では、各項目名をクリックすると、項目毎に昇順、降順で並べ替えを行うことができます。また、項目名上で右ボタンをクリックすると「オート・サイズ」が表示されますので、クリックすると、その項目一覧の幅が広がります。「編集対象図面ファイルのファイル情報」のヘッダー部分をクリックしても並べ替えることができます。

#### 4 行/上移動、行/下移動、行削除、自動採番

[自動採番]機能を実行する前にあらかじめ「行/上移動」、「行/下移動」で並べ替えておいてください。

[行/上移動]または[行/下移動]をクリックすると、反転表示されているファイル情報、および連動する表題欄情報の上または下への行移動が行えます。

[行/削除]をクリックすると、反転表示されているファイル情報、および連動する表題欄情報の削除が行えます。

表題欄情報の編集対象外にしたい行は「行/削除」で削除してください。「行/削除」は編集対象から外すだけで、図面ファイルを削除するわけではありません。

##### 自動採番

[自動採番]をクリックすると、「開始番号」ダイアログボックスが表示されますので、自動採番の開始番号を入力します。

**開始番号**

自動採番の開始番号を入力してください。

開始番号

OK キャンセル

[OK]をクリックすると、リストに表示されている図面ファイルの上位から下位方向に向かって入力した開始番号から図面番号を自動的に付加します。

#### 5 バックアップ機能

バックアップ機能を備えていますので、編集前の図面ファイルをバックアップファイルとして残すことが可能です。

「バックアップを作成する」チェックマークをオンにすると、バックアップを作成し、オフの場合は作成しません。

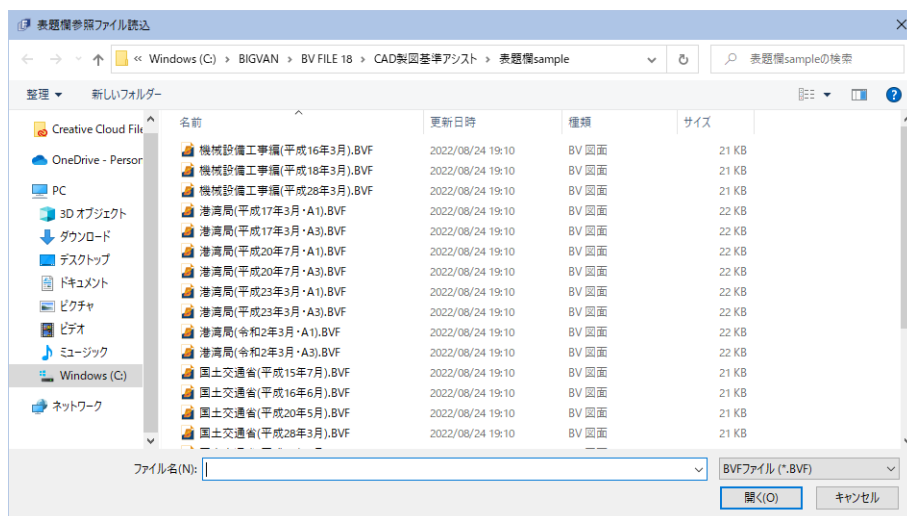
また、バックアップ先は、図面ファイルの存在するフォルダーにバックアップファイルを作成します。

## 6 その他の項目名を更新

編集対象図面でその他の項目名が変更されている場合に「その他の項目を更新」チェックマークをオンにすると編集対象図面のその他の項目を初期値「その他 1～その他 10」に更新します。オフの場合は更新せず、元の変更された項目名を保持します。

## 7 参照表題欄情報

参照表題欄情報で他の図面ファイルを指示することで、参照表題欄図面の表題欄情報を編集対象図面ファイルに反映させることが可能です。[参照]をクリックすると「表題欄参照ファイル読込」ダイアログボックスが表示されます。



参照図面を選択し、[開く]をクリックすると「表題欄一括編集」ダイアログボックスに戻ります。

反映する項目をチェックマークにより選択し、[反映]をクリックすると、参照図面の反映した項目の内容が編集対象図面の各項目に反映されます。

[反映]をクリックしてもファイルには反映されません。リストの項目に反映されます。反映のヘッダー部分をクリックすると、全チェックがON/OFFします。

参照表題欄情報の各項目の値を選択すると選択状態となり、反転します。ダブルクリックすると入力状態になります。編集対象図面ファイルの表題欄情報の各項目も同様です。

## 8 ファイル更新

[ファイル更新]をクリックすると表題欄情報が更新され、図面内の表題欄図形も変更されます。

## 9 [終了]をクリックすると表題欄一括編集処理を終了します。

- ・ 編集可能なファイル形式は、BV-G以降の BVP 形式と SXF(SFC,P21)Ver3、Ver3.1 形式です。これ以外のファイル形式は処理できません。
- ・ 編集できるファイルは、表題欄情報(表題欄属性)がついたファイルです。
- ・ 表題欄情報(表題欄属性)を付加するには、次項目の「表題欄属性付加」を参照ください。
- ・ BV-G 以降の BVP 形式のファイルで読み込み／書き込みパスワードが設定されている場合、パスワード入力を求められます。
- ・ 表題欄情報のその他1からその他10の項目については、BVP 形式のみ更新できます。SXF(SFC,P21)形式では更新できません。
- ・ SXF Ver2.0 形式の図面データを表題欄一括編集にて編集を行うと SXF Ver3.1 形式に強制的に変換されます。
- ・ バックアップファイルを利用する場合、拡張子を元の拡張子に戻し、使用します。  
SXF(SFC、P21)形式のファイルでラスターデータが貼り付けられている図面の場合は拡張子を元に戻した後にファイルを元の場所に戻し使用します。



# ファイル(F)→表題欄属性付加

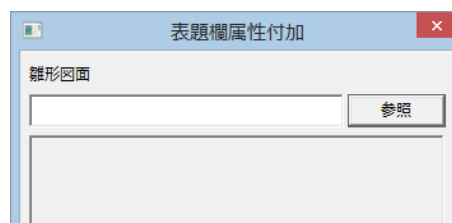
## 表題欄に属性を付加する

図面表題欄を自動認識して属性を付加します。

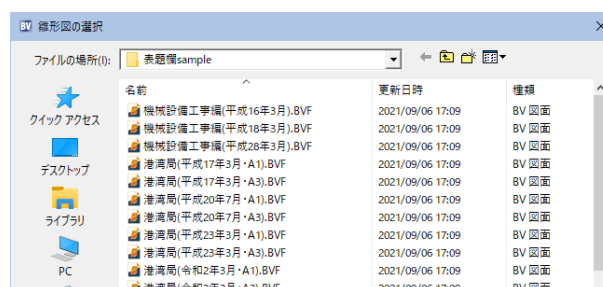
必ず本コマンドを実行する前に、全ての図面を閉じてください。

- ・既に表題欄情報が付加されている文字列が存在する場合は属性付加を行いません。
- ・表題欄テンプレートと同じ形状の表が存在しない場合は属性付加を行いません(文字列や文字の配置など)。
- ・選択するのは、BVF ファイルのみです。
- ・出力後、表題欄属性付加結果ウィンドウが表示されます。

- 1 本コマンドを起動すると、「表題欄属性付加」ダイアログボックスが表示されます。



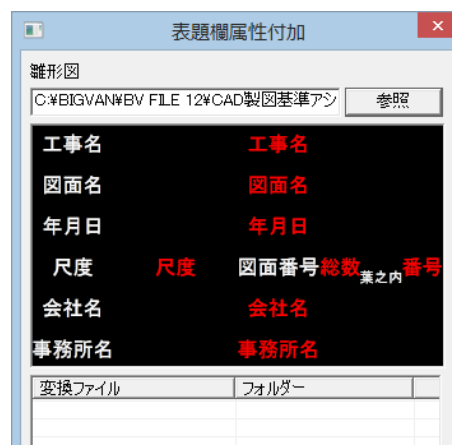
[参照]をクリックすると、「雛形図の選択」ダイアログボックスが表示されますので、いずれかの図面を選択し、[開く]をクリックします。



- ・雛形の選択で、オリジナルで作成することもできます。  
表題欄一括編集で編集したファイルの一つを雛形にして保存するとオリジナルの雛形図になります。  
その場合、用紙シート以外のシートは削除し、かつ表題欄に使用する最低限の文字や線だけにするのが有効です。

- 2 「表題欄属性付加」ダイアログボックス内のプレビュー欄に、選択した図面の表題欄が表示されます。  
マウスの「左クリック」「右クリック」同時押しで下記操作を行います。

- ・右上にマウスを移動すると左上と同じ全体表示を行います。
- ・左下にマウスを移動すると前回の表示に戻ります。
- ・右下にマウスを移動すると枠線が表示されボタンを離すとその部分が拡大されます。
- ・左上にマウスを移動すると全体表示されます。



- 3 変換ファイルの追加・クリア・全クリア  
追加

[追加]をクリックすると、「BV Finder」ダイアログボックスが表示されますので、いずれかのファイルを選択し、[開く]をクリックします。

属性付加を行う図面が一覧内に追加されます。

### クリア

[クリア]をクリックすると、選択中の図面を一覧内から削除します。

### 全クリア

[全クリア]をクリックすると、変換ファイル一覧内のすべてのファイルを削除します。



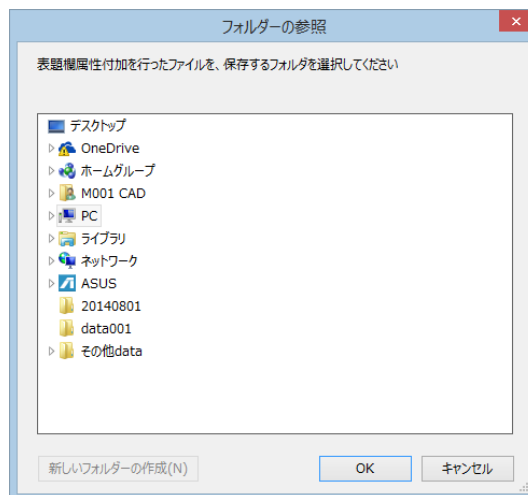


#### 4 出力先フォルダーの選択

属性付加した図面の保存先を指定します。

[参照]をクリックすると「フォルダーの参照」ダイアログボックスが表示されますので、いずれかのフォルダーを選択し、[OK]をクリックします。

指定したパスにフォルダーがない場合は自動で作成します。



#### 5 「表題欄属性付加」ダイアログボックスで[OK]をクリックすると以下のような結果のダイアログボックスを表示します。

- 正常に属性付加が行われた場合。  
「正常終了」
- 図面を開くことが出来なかった場合。  
「図面を開くことが出来ませんでした。」
- 図面内にデータが無い場合。  
「データがありませんでした。」
- 表題欄属性が付加されている文字列が存在する場合。  
「表題欄がすでに存在するため属性付加できませんでした。」
- 雛形図内に存在する属性付加されていない文字を検索し、存在しない場合。  
または、属性付加されていない文字の配置がテンプレートと異なる場合。  
「雛形図と一致する表題欄文字が無いため属性付加できませんでした。」
- 属性付加する文字要素がテンプレートの位置に存在しなかった場合。  
または、属性付加する文字列を取得した際、複数の文字列が取得できてしまった場合。  
「雛形図内の属性文字と同じ位置に文字が見つかりませんでした。」

- 雛形図に指定するファイル形式は「BVF」のみです。
- 雛形図に指定する図面内にレイヤ「TTL\_TXT」が存在しない場合はメッセージを表示し、開くことができません。  
「TTL\_TXT」内にある文字要素と表題欄要素を対象にします。
- 雛形図に指定する図面には表題欄属性が付加されている図面を指定する必要があります。
- プレビューに表示されている文字列で赤い項目が属性付加されている文字列です。  
白い文字列は表題欄の項目タイトルになります。  
同じ色同士の文字が重なっていると検索できない場合があります。  
プレビュー上で確認を行い、重なっている場合は位置や配置原点を編集する必要があります。
- 表題欄属性以外のグループ図形は分解されます。保存はされないため図面には影響はありません。
- 変換図面は、雛形図と異なり全レイヤの文字列から表題欄形状を検索します。
- 既に表題欄情報がある場合は属性付加を行いません。

## 表題欄の雛形を作成する

文字要素に項目種類で選択した表題欄情報を付加し、表題欄の雛形を作成します。

- 1 本コマンドを起動すると、文字選択モードとなりますので、図面から表題欄属性を付加したい文字要素を選択します。「表題欄形式の作成」ダイアログボックスが表示されます。

### 2 項目種類の選択

「項目種類」のドロップダウンリストからいずれかの項目名を選択します。

#### 現在の表題欄情報の一覧表示

「項目種類」ドロップダウンリストで選択した項目の情報が表示されます。

#### 選択した文字列

選択した文字列が表示されます。

#### 編集方法

「変更」、「挿入」いずれかのラジオボタンをクリックして選択します。初期値は「変更」です。

編集位置の行に、変更または挿入します。

#### 編集位置

「編集位置」ドロップダウンリストより何行目に編集するかを選択します。

表題欄形式の作成

項目種類: 発注事業者名

行	値
1	○事業所

選択した文字列: ○事業所

編集方法: ☒ 変更 ☐ 挿入

編集位置: 1 行目

OK キャンセル

例) 3 行目に選択した文字を挿入

表題欄形式の作成

項目種類: 受注会社名

行	値
1	○会社
2	○事業所

選択した文字列: 8495

編集方法: ☐ 変更 ☒ 挿入

編集位置: 3 行目

OK キャンセル



表題欄形式の作成

項目種類: 受注会社名

行	値
1	○会社
2	○事業所
3	8495

選択した文字列: ○事業所

編集方法: ☐ 変更 ☒ 挿入

編集位置: 1 行目

OK キャンセル

- 3 [OK]をクリックすると表題欄形式作成処理を終了します。

- ・ この図面をBVG以降のBVF形式で保存すると、表題欄形式ファイルとして利用できます。また、表題欄形式ファイルには、表題欄の文字以外の要素を描き加えることも可能です。

## 図面上に他の図面を貼り付ける

製図中の図面に他の図面を貼り付けます。（本処理を行える BVF のバージョンは BV-G 以降です）

子画面が貼り付いている図面を貼り付けることも可能です。

貼り付いている図面を編集すると、保存されている図面にもその編集が反映されます。

## その他のコマンド起動方法

■ツールボックス（サブメニュー）→[ファイル2]（←[図面の貼り付け]）

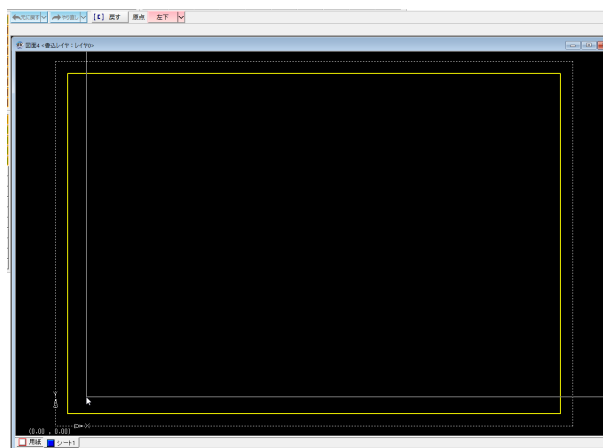
■ツールボックス（ポップアップメニュー）→[ファイル2]（←[図面の貼り付け]）

図面の貼り付けには、参照図面の読み込み処理と、既に貼り付けた図面の削除処理があります。

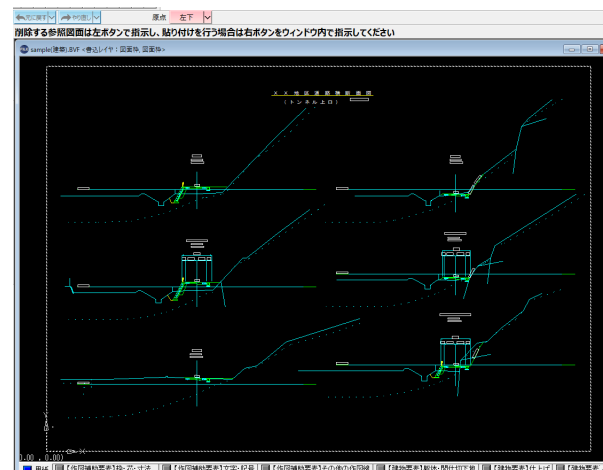
以下、それぞれについて説明します。

## ● 参照図面を貼り付ける

- 1 本コマンドを起動すると、サブメニュー欄に参照図面を削除する場合は、左クリック、参照図面を貼り付ける場合は右クリックと表示されます。  
[原点(左下)]をクリックすると、→[原点(右下)]→[原点(右上)]→[原点(左上)]と表示が切り替わります。いずれかを表示させて選択します。
- 2 右クリックすると、BV Finder が開きますので、貼り付ける図面を選択し、[開く]をクリックします。  
マウスの移動に伴い、図面データの仮想線が移動します。

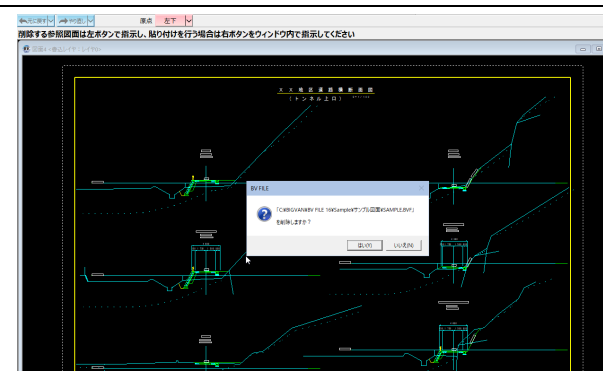


- 3 クリックすると、マウス位置に指定した原点で図面が読み込まれます。



## ● 貼り付けられた参照図面を削除する

- 1 本コマンドを起動し、既に貼り付けた図面上で左クリックします。確認メッセージが表示されます。



- 2 [OK]をクリックすると、クリックした図面が削除されます。



## 補助 (0) → 背景色

### 図面ウィンドウの背景色を変更する

図面ウィンドウの背景色を変更します。

その他のコマンドの起動方法

■ ツールバーメニュー →

■ ツールボックス (サブメニュー) → [その他] (←[背景色])

■ ツールボックス (ポップアップメニュー) → [その他] (←[背景色])

- 1 本コマンドを起動し、「背景色設定」ダイアログボックスより、背景色を指定します。

「色」の一覧内から変更後の色をマウスでクリックします。

- 2 [OK]をマウスでクリックします。

- 3 背景色が変更されます。

選択背景色を変更する場合は、サブメニュー欄の[色の設定]をマウスでクリックします。

- ・ 背景色の設定変更を行うと、同一図面のすべてのウィンドウの背景色を変更します。

